滿洲日報

A Few Words in Welcome of the League's Commission of Enquiry

The Commission of Enquiry and party from the League of Nations have set their first step on the soil of Manchuria to-day. In tendering our cordial welcome, let us avail ourselves of the present opportunity to give expression to our cherished convictions.

We highly appreciate, and are profoundly thankful for, the League of Nations' concern about, and endeavours for, world peace. However, it has been a source of deep regret on our part that the League of Nations is not thoroughly acquainted with Far Eastern problems. Naturally, the League's attitude to, and its interpretation of, the Manchurian Issue might be considered as not quite fair. It is admitted that, at one time, we felt something like righteous indignation.

What we expect of the Commission Members above all is that the naked truth of conditions obtaining in the Far East will be made clear to the League of Nations for the first time as the result of their inspection on the ground. At the same time, we believe that Japan's true intentions for securing peace in the Far East and consolidating the friendly relations among the different races, in order to contribute something to the promotion of welfare of mankind, in other words, her righteous and fair attitude will be reproduced in the right light. We believe that the fact that Japan's military operations are but the exercise of her right to exist and admit of no room for criticism by any party, will come to be fully appreciated. Then, the League's attitude towards the Far East will be more effectual, and the League itself will thus enhance its own prestige and do much more in the cause of world peace.

Here, we should like to point out that the report that the Enquiry Commission is going to prepare for presentation to the League of Nations will be made the basis, by means of which the League will handle Manchuria hereafter. The world, too, will look upon the district from the angle of the report. Naturally, the contents of the report have a grave bearing on the fate of the 30,000,000 Manchus, the peace in the Far East, and lastly the welfare of mankind. Should the Enquiry Commission be wrong in their grasp of truths, the consequences would be far-reaching. If we are allowed to speak our mind honestly, the Enquiry Commission's mission and responsibility will be of great moment.

The first requisite for the fulfilment of the mission is to have a clear understanding of Manchuria's position and its actual status. For this purpose, all prepossessions must be eliminated. Speaking more fundamentally, it is to have an insight into the essence lying veiled behind through objective facts. Needless to add, a minute and precise inquiry into the Manchurian Issue alone will be insufficient. A thorough study of the subject from racial, economical, geographical and historical angles is indispensable. Otherwise, it will be impossible for the League to accomplish its lofty aim to guarantee a permanent peace. Accordingly, should the Commission attempt, allow us to say, to judge the situation as it appears on the surface merely in a business-like and technical manner, nothing would be more deplorable.

We learn that the Commission's itinerary in Manchuria will extend over only three weeks. We might say that it will be hardly possible for the Commission to grasp the question of Manchuria in so brief a span of time. We leave everything open to the inspection of the Members and party of the Commission, in whose lofty ideas we repose full trust. In the Commission's work in Manchuria, the Japanese and Manchu Government institutions will heartily cooperate. We hope that the Commission Members and party, whom we look upon as Peace Envoys, will carry on their honourable mission with pleasure and profit.

聯盟支那調査委員一行 きのふ大連に第一歩を印した

【寫眞説明】(上)我軍艦上にて向つて左よりシユネー委員、パステユホフ書記、クローデル委員、吉田大使(中)星ケ浦散歩中の一行左端ディルクス大連ドイツ領事、二人目クローデル氏の副官シユブレー氏、三人目クローデル氏、五人目シユネー氏七人目金井接待員(下)リットン卿、顧維鈞の搭乘せる支那軍艦海圻甲板上の交驩、×印は挨拶を受けるアスター書記長

獨、佛兩委員一行先着 わが驅逐艦二隻に分乘 日本側要人の出迎裡に上陸

聯盟調査團滿洲入りの日、二十日委員一行を迎へるには絶好の春日和、空は明るく晴れて美しい、早朝からこれが接待について關東廳滿鐵等では種々打合せが行はれ歡迎に關しての手筈が整へられた、

聯盟委員クローデル將軍、シユネー博士

兩委員に 吉田參與員並に日本側隨員搭乘のわが驅逐艦芙蓉朝顏は廿日午後六時大連入港豫定の報に各方面とも急に緊張し埠頭は待合所貴賓室に少憩場をこしらへ、關東廳より林警務局長、河相外事、森本警務兩課長、小阪秘書官それに竹内民政署長、小川市長張本政華商公議會長、滿鐵から代表し山西理事、松本秘書、金井囑託並に新聞通信記者團が詰めかけ埠頭ベランダ、岩壁に堵列して歡迎の準備をすゝめる、かくて午後六時十分前先づ芙蓉が

春波を蹴 つて颯きかけた西陽を浴びながら入港する、續く朝顏が堂々とその後に續く、芙蓉は直に十番バースに横づけされたが、艦上を見ると寫眞で知りつくされてゐる深いまなざし、柔かい白い毛髮、ひきしまつた唇、そして端正な容姿のクロデル將軍がガッチりした體軀のシユネー博士と並んで立つてゐる、シユネー博士の胸からは双眼鏡が垂れて靜かな重い感じを體全體から受ける、そして隣りに線の太い眼鏡をかけた、これもドッシリした吉田參與員が帽子を振つてゐる、艦が岩壁にピッタリ着く頃、朝顏が重なつて芙蓉の外側に投錨する、艦上には日本側隨員、新聞記者團が頻りに帽子を振つて挨拶を交す、一方

出迎への 各方面知名士は艦内に兩委員を迎へ、更に三澤水上署長の先導にて待合所内にて名刺の交換が行はれる只默々と時折微笑を洩らしながら次から次に差しのべられる握手に對し一々固く握り返してゐる、かくて六時十分支關差廻しの自動車に分乘の上星ケ浦ヤマトホテルへ向つた

リットン委員長は 微恙で艦内に一泊 顧維鈞等も上陸中止

東北艦隊旗艦海圻によつて殆ど同時刻秦皇島を拔錨し入滿の途についた聯盟調査委員長リットン卿及び隨員アスター秘書、パルト氏、リエジョア氏、ロバーツ氏、並に支那側參與員顧維鈞以下隨員廿八名は

船脚遲く 遲れて廿日午後十時二十分漸く入港、これより先埠頭には星ケ浦ホテルにおいて晩餐を終つたクローデル將軍、シユネー博士及び隨員、日本側は吉田參與員外隨員をはじめ關東廳より河相外事課長、小阪秘書官、滿鐵より佐藤理事、松本總裁秘書、金井囑託、鐵道部員多數、市中よりは竹内民政署長、小川市長、各警察署長、英領事デニング氏、久保田海軍駐在武官、等通信新聞記者團と共に待合所で待ち構へる、海圻は豫定の如く第二埠頭十番バースに繋留したが、これに先だち同艦坐乘中の委員長リットン卿微恙を得て上陸不可能

艦内一泊 の旨無電をもつて報じて來たので、出迎への一同心痛甚だしく艦の横づけさなると共に、艦内に一同刺を通ずれば、リットン卿は既にベットに入り何人とも面會を謝絶し、支那側參與員顧維鈞も又船室に入つて顏を見せず、かくて折角船を訪れこれを迎へんとした一同はやむなく書記長アスター氏を通じ委員一行の來滿に對し敬意を表し空しく引揚げた、尚一部の隨員を除く外はいづれも艦内に一泊する豫定である

リ卿の容體 愛嬌を振りまく顧

武装いかめしい水兵に守られた支那軍艦海圻號の艦内は病床に横たはる委員長リツトン卿に敬意を表して慌たゞしい氣分の中にも靜肅が保たれてゐる、海圻が繋留されると同時に艦内に入つた一行隨行の軍醫シユブレー氏の診察を第一號室にて受けたリットン卿は唯先着のクローデル將軍、シユネー博士等の挨拶を受けたのみで一切の面會を謝絶したが、リットン卿の容態は

相當高熱 で、胃腸も非常に害してゐるため普通飲用水を用ひず、ヤマトホテルより特別にビッシー、ウオターを取りよせなどしてゐた、同行の支那側參與員代表の顧維鈞は、艦首の應接室にて各方面の出迎へ人と挨拶を交し、若々しい顏を輝かせてさかんに愛嬌を振り撒いてゐたが、應接室の表は陳艦長以下の支那海軍々人十數名によつて固められ警戒は嚴重を極めてゐた、新聞記者に對しても顧維鈞氏は心よく面會したが、質問に對しては何事も語らず、たゞ後にしてくれと答へるのみで寫眞班に對しては「マグネシユームは音が大きい、きたない〱」といふ陳艦長の言葉にさへぎられて遂に

キヤメラ に入れる事を得なかつたが、各社寫眞班も病のリツト卿に敬意を表して強て撮影せず退艦した、尚リットン卿及び顧維鈞は二十一日はヤマトホテルより輕い朝食を取りよせ、食事後上陸するの豫定

絶景を讃へつゝ 歡談の快い晩餐 星ケ浦に着いた一行

埠頭から星ケ浦ヤマトホテルへ向つた先着委員一行は市街をドライヴし途中沿道市民の歡迎を受けて頗る滿足の態であつた、午後六時半漸く暮れんとする星ケ浦に着く夕靄に包まれた海邊は全く夢の風景だ「おゝ麗しき海!絶景!」一行の眼は

一樣に輝 く、そして庭園へと早散策の歩を進める、黄昏の彌生の空に滿月一輪、水は銀、沖に浮ぶ小島、渚に戯れる小波、そして白堊のバンガロー、總ては詩の國だ、委員一同は柔かい芝生を踏んで懷しい故國の春を偲ぶ、隨伴の或る者はいふ「委員等の久し振りに踏む輕いステップだ」と、爽かな春の夕を心行くまで委員は彼方此方と散策を續ける――やがて水平線の彼方から夜の訪れる七時過ぎまで、かくして午後七時半ホテルのサロンに歸つた一行は次第に暗のソフトフオカスされる海邊を眺め波にくだける月光の囁きを樂しみつゝ歡談の

晩餐を認 める、重大使命を荷ふ彼氏等にこの和やかな團欒のあるのも一つの奇異だが戰場で鍛えたガッチリしたクローデル將軍も、溫厚な老紳士シユネー博士もよく微笑を浮べ、わが吉田大使等と語る等心持よき晩餐は刻々に及び午後八時半漸くにして星ケ浦をあとに再び暮れた大連の街を大廣場のヤマトホテルへ――

何も語らぬ委員 星ケ浦海邊の散策からホテルのサロンに歸つたクローデル將軍並にシユネー博士はすつかり寛いだ氣持になつてソフアに凭れながら交々語つたが、その口調は何れも人なつこい感じの中にも力強く威嚴をそなへてゐる

今日の航海は非常によい天氣に惠まれ愉快だつた、日本の軍艦に御厄介になつて大變感謝してゐる、旅順港近く寄つて種々日露戰役當時の説明等聞いたが日本軍の苦心の程を御察しするこの海邊へ來て全くのびくした心持になつた、私達の故國にも風景のよい處があるにはあるが、こんなに美くしく感じた事はない、素晴らしい處だ、夏はさぞよからうと思ふ、私達は奉天で他の委員等と一緒になつて夫々觀察調査する事にならうがその事については何も申上げられない、リットン卿も非常に疲れてゐられるさうだからこちらで御厄介になる事になつてゐる

なほ顧維鈞氏問題その他職務上の事については質問を發しても彼氏等は一樣に何事も語らなかつた

一行は公正を標榜 滿洲國に惡感情などは持たぬ 日本參與員 吉田大使語る

日本參與員代表吉田大使は委員と共に星ケ浦ヤマトホテルに入りサロンにおいて記者團と會見し次の如く語る

自分達は日本を代表して調査委員一行に隨行することになつた參與員で、一行の調査内容に關しては全然知らない、初め一行は漢口から北平に上る豫定であつたが、途中が危ないといふので浦口まで引返し津浦線で北平に上つたのだ

天津では 數時間停まる豫定であつたが、例の顧維鈞氏問題で今日まで延々となり海陸兩方面に分れて滿洲入りすることになつたのだ、この委員の分れたことに關して種々取沙汰されてゐるが、陸路入滿の委員は船のきらひな人や足の惡い人で、海路の委員は抽籤で日支の巡洋艦に分乘することになつたので、偶然リットン卿が支那軍艦海圻に乘ることになつたもので、決して計畫的なものではない、顧維鈞氏問題で調査員一行が滿洲側に對して惡感情を持つてゐる等を傳へられてゐるが、要するに噂に過ぎぬだらう、絶對公正を標榜してゐる一行が、感情問題を左右されるやうでは調査の公正は期し得ない筈だ

滿洲國を どう見るか、これに關しても種々いはれてゐるが總ては調査後だと一行は語つてゐる、一行が今どんな氣持でゐるかは諸君と共に自分も知りたい處だが、その氣持の動きは全然見當がつかない、兎も角も今日來連したクローデル將軍、シユネー博士の兩委員が帝國軍艦によつて無事入滿し得たことを非常に喜んでゐたことは事實だ

奉天にて 陸路班と合體の上一行の行動は正式に起されるわけであるが滯滿中の日程は約一ケ月位であらうと豫想される

けふ午後奉天へ 奉天着は夜八時廿分

廿日海路來連した國際聯盟調査委員一行は協議の結果廿一日十二時五十分大連驛發特別列車にて奉天へ向け出發する事に決定した、奉天には午後八時二十分到着の豫定である

來連した一行顏觸

二十日海路により來連せる國際聯盟調査員及び隨員、日支參與員及び隨員等の主なる顏ぶれは左の如し

芙蓉艦搭乘 クローデル將軍(佛委員)シユネー博士(獨委員)パシユチホウ氏(杉村公使秘書)ジユブレ氏(軍醫)吉田大使(日本參與員)澄田陸軍中佐、佐藤海軍大佐、貴富根囑託、ペペン氏、キニー氏

朝顏艦搭乘 森二等書記官、吉富事務官、木村書記生、江間滿鐵社員、新聞記者四名

海圻號搭乘者 リツトン卿(英國=委員長)アスター氏(書記長)ペルト氏(隨員)リーヂョアー氏(隨員)ロバーツ氏(書記)顧維鈞(支那側參與委員)以下二十八名

奉天の接待員 聯盟調査員接待員として關東軍より藤本少佐、滿鐵より押川奉天事務所文書課長が選ばれ兩氏は一行の宿泊するヤマトホテルに一室を取り一行の滯在中接待の任に當る筈【奉天電話】

附屬地外に出れば 顧維鈞を逮捕する 滿洲國の强硬な態度

顧維鈞の入滿に對し滿洲國政府は飽く迄阻止する意向であるが、既に一行と共に北平を出發した顧維鈞が大連上陸後、長春までの安全は日本官憲により保障されるが、北滿視察に際しては滿洲國は顧維鈞の隨伴を極力阻止し若し強て北滿に行く時は初めの聲明通り國法に照して逮捕すると意氣込んでゐる【奉天電話】

聯盟調査團を迎へて 吾人の所懷を述ぶ

國際聯盟から派遣された調査員の一行は愈々我が滿洲の地に其第一歩を印することゝなつた。吾人は茲に諸卿を歡び迎へて豫て久しく蘊したる滿腔の期待を披瀝するの機を得たことを欣懷とする者である。

吾人は國際聯盟が世界の平和に對する深憂と努力とに對して豫て共鳴し且つ感謝してゐるのである。併し乍ら聯盟が極東の事情に對して昏かつたといふことは吾人の最も遺憾とする所であつた。從つて滿洲事變に對する解釋乃至態度の如きも常に必ずしも正當であつたとは云ひ得ない。我等は或時はそれに對して義憤に似たものをさへ感じたことがある。

吾人の調査員一行に對する第一の期待はそれによつて極東の事情が初めて國際聯盟に明になるであらうといふことである。從つて我日本の心事、東洋平和の確立を計り民族共存の實績を擧げ以て人類文化の進歩發展に貢獻せんとする公明正大なる態度が初めて諒解されるであらうといふことである。滿洲に於ける我日本の行動が生存權の主張に基くものであり何人によつても些かも批難さるべきものにあらずといふことが承認されるであらうといふことである。それに依つて今後東洋に對する國際聯盟の態度がより適切となりより有効となり聯盟それ自身の權威をして更に重からしめその世界平和に對する貢獻をして更に大ならしめるであらうといふことである。

惟ふに調査員の報告は國際聯盟が今後滿洲に對する場合の鍵となるであらう。或はテキストとなるであらう。世界もまたこれに基いて滿洲を見るであらう。これに基いて輿論は導き出されるであらう。從つて報告の結果は直に滿洲三千萬民衆の休戚に關し東亞の平和に關し世界人類の幸福に關するのである。若し一行にして其認識を誤るならば其禍の及ぶところ蓋し測知すべからざるものがあるのである。調査員の使命と責任とは實に重且大なりと云はねばならぬ。

一行の使命遂行に就て最も必要なことは滿洲の地位及び實狀に對する正確なる認識を把握することであり、そのためには先づ先入主を清算することである。客觀的事實を直視することである。より根本的に云へば客觀的事實を通してその背後に横たはる實體を洞察することである。固より滿洲事件と云ふ如き事件の經緯を精細に調べるといふ丈けでは足りない。民族的に、經濟的に、地理的に、歴史的にといふ風に各方面から徹底的に研究せられることが必要である。それでなくては永遠の平和を約束するといふ聯盟の大目的を達成することは不可能である。從つて萬一一行が表面化した事態の一時的收拾を急ぎ事務的技術的に手際よく之を解決しようとする如きことがあるならば、それは極めて悲しむべきことである。

聞く所によれば一行の在滿豫定は三週間であるといふ。その短期間を以て滿洲の實體を把握することは困難である。併し吾人は諸卿の高邁なる識見に安んじて依頼しようと思ふ。また日滿各機關は全力を擧げて諸卿に協力することゝ信ずる。願はくば諸卿が平和の使節としての名譽ある責務を愉快になし終へて去られんことを(英文記事譯文)

陸路班昨夜山海關着 けふ滿洲國列車にて入滿

【溝幇子特電二十日發】聯盟調査員マッコイ氏、マレスコッテイ氏等陸路經由の一行は二十日午前十一時山海關に到着した、出迎へ列車は二十日午後七時山海關着の筈で、一行は山海關で滿洲國の出迎へ列車を待つて二十一日午前九時山海關發の筈

けふ錦州視察 明夜八時奉天着

【錦州にて藤井特派員二十日發】二十日午前十一時山海關に着いた聯盟員米マッコイ、伊マレスコッテイ兩氏等一行より、天津より乘車せる支那側列車をそのまゝ奉山線へ乘り入れたき旨山海關守備隊を通じて奉山鐵路宛申し込んで來たが、出迎へ途中の奉山鐵路總部はこれを拒絶、出迎へ列車の山海關着まで待たれたしと返電した、出迎へ列車は二十日午後七時山海關着、直に支那側と引繼ぎをなして調査員一行は列車内に一泊二十一日午前九時一行を乘せて山海關發午後五時五十分錦州着、一行は觀察後、車中に一泊して二十二日正午錦州發途中大凌河に下車視察の上、奉天着は二十二日午後八時の筈

陸路班の一行 長城を見物

奉山線を陸路入滿する一行十二氏は二十一日朝山海關到着、小憩の後長城を見物して錦州に向ひ一泊二十二日夜奉天に到着豫定【奉天電話】

【北平特電十九日發至急報】聯盟調査團リツトン卿一行は本日午後十時張學良以下多數の内外官民に送られて出發した、なほ南京政府より任命せられた支那側隨員は全部張學良等により取替へられた

修正考慮の餘地無く重大決意表明か

請訓と外務當局の態度

【東京二十日發】外務省は長岡大使の請訓に對して愼重考究の結果、一兩日中回訓を發する筈で、外務省首腦者間では十九國委員會の決議案なるものは、最早修正提議等の生優しき方法をとるに値せず、日本當初の主張通り十九國委員會が如何なる決議をなすも、それは合法的に日本を拘束し得るものに非ずとの立場より、全然之を無視せんとする態度をとらんとする強硬意見有力である、即ちその理由とする所は決議案四項目に對する反對のみならず、決議案全體がその根本的立場から支那側の主張のみを顧慮すると共に、小國の立場を尊重して作成されたもので、かゝる決議案により停戰交渉を繼續するといふが如きは到底日本の受諾し得る所ではないといふにある、よつて聯盟側が依然かゝる態度を繼續する限り日本としては愈々對聯盟重大態度を表明すべきではないかと觀られてゐる

決議案に反對を回訓

聯盟の深甚なる注意喚起

【東京二十日發】芳澤外相は十九ケ國委員會決議案に關する長岡大使の請訓に對し軍部側と愼重協議の結果、二十日深更長岡大使宛反對理由回訓を發し、特に左の點につき十九國委員會に深甚な考慮を促すやう訓電した

一、決議案は總括的に日本政府の同意し難きところである

一、決議案は現地交渉主義を承認しながら、進んで停戰協定內容に介入し之を改變せんとせるもので日本政府はかかる決議に全然同意を與へ難きは勿論之を無視するのほかない

一、委員會が日本の不同意を押し切り強硬に之が決議案を公開會議で採擇するにおいては委員會は停戰協定を成立せしめんとする誠意無しと見ればならぬ、依つて日本政府はこの點に關し特に委員會に深甚の注意を喚起せんとするものである

聯盟側は受諾を期待

【ジュネーヴ十九日發】聯盟筋では十九國委員會決議には支那は無論應諾すべく、日本政府も大綱において大なる反對なかるべしと見、問題の撤兵時期の多數決認定に對しては實際問題として英、米、佛、伊四國が撤兵時期の熟せぬ中に、日本軍隊に撤收を強要しその後の事態に關する責任を日本に負はす如き意思を有せぬ事はサイモン英外相の言明によつて明白であるから、實際上には日本軍の行動を束縛する結果になる事は絶對に無いと解釋し、日本が大局から觀察して之を受諾するものと期待してゐる

支那は決議案受諾

【南京二十日發】外交部要人は二十日午後新聞記者團に對し國民政府は繼續委員會の決議草案を受諾するに決しジュネーヴの顏惠慶代表に回訓を發した旨言明した

責任分擔に反對

米國務長官意見表明

【ジュネーヴ十九日發】廊下における立話の際、スチムソン米國務長官は

アメリカ政府は聯盟が上海交渉の解決に關し、アメリカを含む混合委員會の報告を基礎とし、何等かの行動を執る場合に、アメリカ迄その責任分擔になる事は喜ばぬ

旨述べたと傳へられてゐる

米國務長官 聯盟會議に出席

【ジュネーヴ十九日發】風邪全快したスチムソン米國務長官は、本日正午開會中の軍縮一般委員會の議場に到着、スペイン代表マダリアガ氏の長廣舌終るを待つてギブソン氏と同道議場に入る、アメリカ國務長官が聯盟會議に出席するのは之が初めてで議場の全注目を一身に集め、各國全權から握手攻めに遭ひ午後四時四十五分議場を退出した

各國代表と會談

【ジュネーヴ十九日發】スチムソン氏は正午グランヂ氏と午餐を共にしヨーロッパ問題につき密談し午後にはニュージーランド代表ウヰルフォード氏、南アフリカ代表ウオター氏と會見したが、共に極東問題につきスチムソン氏に懇請する處あつたものと見らる

長岡大使奔走

【ジュネーヴ十九日發】午前中ボンクール理事會議長イーマンス委員會議長を訪問した長岡大使は正午更にチエッコ代表ベネシユ氏及びドラモンド事務總長と會見し、上海問題に關し日本の說明を反覆說明し決議案の緩和につき最後の努力をなした

金本位制復活

近き將來に實現せず 英藏相、下院で聲明

【ロンドン十九日發】イギリス藏相ネヴイル、チエムバーレン氏は本日下院における豫算案說明に際し「イギリスは近き將來に金本位制に復歸する事なし」と聲明した

英國の財政々策

次年度豫算の內容

【ロンドン十九日發】本日の英下院で藏相チエムバーレン氏は一九三二年——一九三三年度豫算を發表したが、その要點左の如し

一、賠償金受領、戰債支拂は免がれまい

一、現行稅法による今年度の歲入並に歲出の見積は左の如くである

歲入	七六四三〇〇(千磅)
歲出	七六六〇〇〇(千磅)
差引不足	一七〇〇(千磅)

一、輸入關稅法に基き今秋末迄に新關稅を發布するが詳細は追つて發表する

一、爲替金庫勘定を創設し之がため政府に對し一億五千萬磅を出でざる額を借入れる權限を與へん事を望む

一、本年は所得稅の減額を行はず雇傭者に對して被雇者が月掛制度により納稅する事を援助せん事を望む

一、ビール稅は變更せず、新關稅外國茶一封度につき四片帝國產茶は同じく二片

一、砂糖に對する英帝國特惠關稅百十二封度について一志を增課す

一、絹輸入關稅は全部從價稅とす

一、爲替不安定のため直ちに金本位制の復歸は不可能である

一、新關稅政策により五百萬磅の增稅を得結果今年度豫算は七十九萬六千磅の剩餘を生ずる見込みである

劃一的規範軍縮は實際上不公正

佐藤代表わが提案を强調す 軍縮一般委員會にて

【ジュネーヴ特電二十日發】本日午前の軍縮一般委員會では漸進的軍縮決議案の採擇に引續きチエッコ、ノールウエ、スペイン、スエデンの四國代表の共同提案として軍備の漸次縮小の規範に關する左の如き決議案が上程された

一般委員會は軍備の制限並に縮小に關する諸規範を決定するには聯盟規約第八條の諸條項が適用せらるべく、從つて軍備は國の安全及び共同動作による國際義務の執行に支障なき最低限度まで縮小すべきことを決議す更に各國の地理的狀勢並に環境を考慮に入れんることが必要であらう、而してこれらの規範と方法の各國による適用に關しては後にこれを檢討するであらう

イタリー代表グランヂ氏は右決議案に對し規約八條による各國の立場を害せざるを要すると說き修正案を提出した、次いで佐藤代表は右決議案支持を聲明し特に各國の地理的狀勢を考慮に入れる必要を力說して曰く

軍縮の第一段階を實行するためにはその方法に關する日本の提案を採擇すべきであり、且各國の地理的狀勢を考慮に入るべきである

とし、更に勞農代表の提唱する比例的軍縮案には反對し・國際的地位の全く異る諸國に對して劃一的公定的な規範を强要することは公正でない、この故に日本は一國の軍備のうち一定武器の不充分が明白なる場合は軍縮條約の一部を特に修正し得る留保條項を提案したのであるとて日本の提案を敷衍强調し支那代表もまた各國の地理的狀勢並に安全保障の程度に隨つて軍備の縮小を行ふことが極めて重要なる旨を力說した、勞農代表リトヴイノフ氏は決議案に反對を表明し、特に規範の確立方法如何では軍縮にならぬと說き、最後にドイツ代表ナドルニー氏に對し、佛代表ボンクール氏は決議案並にイタリーの修正案に同意する旨聲明、一般の討議を終り委員會は決議案とイタリーの修正案を起草委員會に附託するに決し散會した、尙起草委員會は本日午後五時三十分より會議を開くこととなつたが、一方一般委員會は明日午前十時より續開の筈、尙米スチムソン氏は本日始めて列席した

草案第一條の修正案採擇

十九日の委員會にて

【ジュネーヴ特電二十日發】本日午前十時よりの軍縮一般委員會で一般軍縮條約草案第一條に關する修正案は全員一致を以て採擇された、右決議案正文左の如し

軍備縮小及び制限會議における討議に際し表示されたる各見解に鑑み、一般委員會は聯盟規約第八條に規定される軍備の縮小は現在の會議が一般的縮小の最初の決定的段階を與ふ限り低き水準に成就せしめたる後において適當なる間隔を置く逐次的階梯を行ふことにより漸進的に達成され得るものと思考す

右決議案の表決に當り勞農代表リトヴイノフ氏は聯盟規約第八條に關しては留保することあるべきを特に斷つて贊成の投票をなした

外相海相招待

【東京二十日發】芳澤外相は二十日午後五時四十五分海軍省に大角海相を訪ひ、日支停戰會議に關する聯盟十九國會議決議案の內容を報告し之に對する帝國政府の態度に就き種々協議を遂げた

小委員會開催期日 未だ決定せず

【上海二十日發】停戰會議小委員會の再開を極力斡旋中だつたイギリス武官は午後零時半遂に本日の開催を支那側が應ぜざる旨電話を以て我總領事館に通じて來た、支那側の再開を應ぜざるはジュネーヴの空氣が未だ決定せざるに一縷の望みをかけてゐるためで、小委員會開催期日は未だ決定に至らない

滿洲增兵具體化か

北滿の形勢險惡に鑑み

【東京二十日發】關東軍司令部の公電により北滿の形勢惡化しつゝあること判明せるため軍部中央部は去る十五日定例閣議で荒木陸相より非公式に諒解を求めた滿洲への增兵を愈々具體化す事に決定し荒木陸相の歸京次第、正式に閣議に附議する事となつた

滿洲、上海事件費

二億五百萬圓を要求 陸軍、臨時議會に提出

【東京二十日發】陸軍では臨時議會に昭和七年度追加豫算として提出する滿洲並に上海事變費二億五百萬圓の要求案を二十日午前大藏省に提出し、兩省事務當局の交涉を開始したが、右事變費は來る六月より明年三月に至る間の派遣軍に要する經費で、その中には更に滿洲に若干の增兵費が含まれてゐる、之に對し大藏省ではかゝる巨額の經費は公債發行によつて支辨せんとする方針で、その公債發行方法については相當苦心してゐるので議會に提出の最後決定案を見るのは來月初旬とみらる

荒木陸相の時局談

【東京十九日發】荒木陸相は十九日午後九時四十五分東京發飛行第三聯隊及び第四師團その他を視察のため西下したが車中語る

內田總裁は國家多事の際留任されると自分は確信するが、その期間は總裁の自由意思によつて決せらるべきものである、滿洲國も順調に建設事業が進んでゐるやうだが、之が對策には十分注意してゐる、上海方面の支那軍も最早軍事的敵對行爲には出でまい、上海派遣軍も既に半數を內地に撤退したが、邦人の安全が確保されると觀れば圓卓會議の結果等に拘泥せず派遣軍全部撤收を斷行する考へである、しかし具體案は未だ出來てゐない、北滿方面の情勢如何によつては更に若干兵員を增加せねばならぬので研究中である

露滿國境の狀勢重大化信じ難い

前駐日米大使の報告

【ワシントン十九日發】前駐日大使フォーブス氏は本日國務省に極東の狀勢を報告し、次でフーヴァー大統領を訪問した後左の如く語つた

最近傳へらるゝ露滿國境方面の問題から重大な結果が招來するものとは信ぜられない、日露兩國とも紛爭の惹起を極力回避してゐる東京でもロシア軍の行動を左程重大視してゐない

と述べ日本人の友誼心厚き事、アメリカに對しても一般に好感情を有する事を賞讚した

滿鐵未拂込の徵收を承認

增資案は通常議會に提出 きのふの滿鐵監事會

【東京二十日發】滿鐵は二十日正午監事會を開き大橋、原、馬越三監事外八田副總裁、竹中、村上兩理事大淵東京支社長、橋本總理課長出席資金問題につき左の如く承認を得た

一、未拂込株金二千五百萬圓(二十萬圓、一株につき十二圓五十錢)を徵收する事、徵收期は未定なるも大體九、十月頃

なほ增資案は五月の議會には提出せず大體通常議會に提出されるものと見らる

資金調達を交涉

竹中理事興銀總裁を訪問

【東京二十日發】竹中滿鐵理事は二十日午後興業銀行に結城總裁を訪問八月以降の滿鐵資金調達方につき交涉せうところあり併せて未拂込み徵收につき說明した

滿鐵重役會議

滿鐵では廿日午後四時より總裁室において重役會議を開催、大森、首藤各理事、山崎總務部次長、佐藤經調交通部主査等參集の上鐵道部關係並鮮農救濟に關する重要協議を行ひ同五時廿分散會した

金融團代表に資金諒解を求む

【東京二十日發】滿鐵では廿二日麻布理穴の社宅に銀行團生保證券の代表を招待し、滿鐵側から八田副總裁以下幹部出席し本年度事業資金約七千萬圓中の四千萬圓借入れにつき右金融團の諒解を求むることゝなつた

前副總裁挨拶

江口前副總裁の代理として秘書役八木氏は二十日來奉軍司令部に本庄軍司令官を、總領事館に森島領事を訪ひ江口氏在任中の厚意を謝し同夜長春に向ひ支那側要人に挨拶する筈【奉天電話】

八田副總裁旅程

【東京特電二十日發】八田滿鐵副總裁の出發は都合により變更され廿六日午前九時東京發急行にて西下、大阪に一泊、伊勢の大廟、桃山御陵に參拜、滿鐵副總裁に就任の御奉告を申上げ、さらに大阪財界の有力者とも懇談のうへ廿七日神戶出帆うすりゐ丸に乘船三十日着連の豫定となつた

奉山沿線に歡迎のポスター

調查員を迎へる喜び

【錦州にて藤井特派員二十日發】聯盟調查員を迎へる奉山線一帶は既に歡迎氣分横溢してゐる、二十日午前奉天を出た迎へ列車が日本側案內役木內奉天領事、滿洲國民政部外事課長等を乘せ山海關へ赴く途中驛々には警戒嚴重なる滿洲國警察隊の佇立する中に滿洲國民の貼り出した歡迎ポスターが色鮮かに春光を浴びてゐるは和やかである、曰く「ウエルカム、エンボイス、オブ・ピース(平和の使徒歡迎)ドーン、フロム、イースト、ピース、フロム、ジエネバ(曉は東より、平和はジエネバより)等々滿洲の眞相を世界に披瀝することによつて東洋の平和を齎らす重大な使命を持つ調查員一行を迎へる喜びはポスターの一字一句にも溢れてゐる

調查團に歡迎文

滿鐵社員會から手交

國際聯盟調查團一行の來滿を迎へて滿鐵社員會では今回左の如き歡迎文(原文英文)を起草し郡幹事長より一行に手交することゝなつた

國際聯盟調查員諸卿を迎ふ

國際聯盟調查員來滿せらるゝ八萬の家族を擁する二萬社員の結合團體たる我滿鐵社員會は、熱誠を以て諸卿を歡迎し、併せて玆に率直にその所見と希望とを披瀝せんとす

今回の事變に對する聯盟の態度には極東に關する認識不足甚だしく吾人をして問題の解決は到底聯盟に期待する能はざるの感を懷かしむるものありたり、然りと雖も卿等此度の實地踏查は問題の解決に對する聯盟の態度が一進境を示現したるものと認め卿等の任務に唯一の期待を掛くるものなり

吾等は滿鐵社員として、交通其他各般の文化事業の實際的方面に從事し、滿洲今日の隆昌に資する傍三千萬民衆と均しく生活の基礎を築かんとして、過去二十五年間原始未開にして政情又野蠻なる此の地に於て營々努力し來りたるものなるが、如斯我等が國際平和と住民の福祉とを基調とする滿洲國の出現を欣喜し且之が隆昌を冀ふこと切なる事實を充分認識あらんことを希望す

風波無く絶好の航海

小林司令語る

帝國軍艦芙蓉を訪へば第十六驅逐隊司令小林中佐は委員一行の動靜について左の如く語る

今日は全く風波なく絶好の航海日和だつた、一行は秦皇島へ今朝十時(廿日)に到着し委員長リットン卿等は支那の軍艦海圻に乘艦、午前十一時過ぎ出港、わが艦は午前十一時半に幾分遲れて出發したが、こちらは二十三四節の速力で來たので先についた、途中一行は頗る元氣で皆甲板に椅子テーブルを出して熱心に海洋を見てゐたが、旅順では特に港灣近く沿ふて過ぎし日露役の封鎖の狀況その他戰蹟を說明したが實戰の經驗深いクローデル將軍は勿論、シュネー博士等非常に感激してゐた、兎も角無事に任務を果して幸ひである

因に芙蓉、朝顏兩艦は二十日港內に碇泊二十一日旅順へ廻航の筈である

四月中旬貿易

入超は前年程度

【東京二十日發】四月中旬の貿易は(單位千圓)

輸出	三三、八三三
輸入	五四、二八四
合計	八八、一一七
入超	二〇、四五一

一月以降の入超累計は一億九千六百七十五萬五千圓となつてゐる、本旬貿易は前年同期に比し輸出一千六十五萬七千圓輸入一千百五十萬圓をそれぞれ增加し輸出の主なるものは生絲の四百餘萬圓綿織物二百五十餘萬圓等にして輸入增加の主なるものは棉花六百三十餘萬圓羊毛二百七十餘萬圓銑鐵百三十餘萬圓等である、而して入超は前年同期と略同樣で千九百五十二萬八千圓となつた

昨日の爲替市況

【大阪二十日發】本日の對外爲替はクロス二仙半安、米日六仙四分の一安に內地市場は軟調に寄り付き賣手の接近と共に一齊に弱含みとなつたが、午後半休に賣買双方共氣乘り薄く見送り勝にて對英九片、對米三十三弗と辛うじて關門を維持し中旬貿易入超の巨額を入れたが案外反響薄く却つて東京市場の三十三弗十六分の一乃至八分の一の賣手出現に入電待の市況で頗る凡調の儘閑散に終る

東拓總裁滿蒙視察

【東京二十日發】東拓高山總裁は二十五日東京驛發朝鮮經由滿蒙視察に赴く筈

人事

▲內田莊一氏(工兵大佐鐵道第〇聯隊長)着任挨拶の爲め二十日各方面訪問

▲十河信二氏(滿鐵理事)廿一日午前八時着列車で歸連の筈

大觀小觀

上海停戰に關するジュネーヴの十九國委員會決議草案の修正案として小國側から出された二つ▲一つは日支兩國代表を混合委員に加へない事、一つは上海の正常狀態認定權を混合委員會に與へる事▲これで何が纏まるものか、小國なるものはこれ程に認識不足である▲此手合が跋扈する間は我國は宜しく敬遠す可し▲日本の國體は一君萬民で、最高目的は道德の遂行にある、その爲めに國力の充實が必要で、從つて尙武の精神が必要▲これ國本社社長としての平沼男の聲明、これは古來我國の精神でファッシズムではないと說く▲中央滿蒙協會では、官私各大學國際問題支那問題關係の教授連を招待し、東洋固有の思想道念に立脚して、世界平和の新經綸を立案されてはどんなものだらうと挨拶した▲學者が何でもかんでも西洋主義を振廻し、それを生徒に教へ込み、其生徒が社會に出て各方面に働く▲其結果が西洋人の東洋無視となり、國際聯盟の對東洋認識不足となり、今の日本の難局を釀した▲滿洲國の東洋思想的建國が、日本の思想界にセンセーションを起したことは爭はれない▲此東洋復歸の思想が中華民國にも是非及んでいかねばならぬ。

本日廳報及廳報附錄を添ふ

市況(二十日)

株式 初め軟弱 引際急騰

內地後場寄は大阪定期大株一圓安、鐘紡一圓八十錢安、同短期東新九十錢安、東短東新八十錢安にて當市五品定期八九十錢安なりしも內地後場引は日銀利下氣構と中野の煎れで急騰し東新大阪短期四圓七十錢高、東京短期四圓高を報ぜしため當市延東新も引際二圓擱み急騰した

後場 ◇定期(單位十錢) ◇延取引 [illegible]

特產 銀價の鞚りで大豆軟調

後場の定期は何等特異の材料はないが銀價の鞚りで大豆、高粱は軟調を呈し豆粕、豆油は保合を示し閑散裡に大引した

◇定期後場(銀建) ◇現物後場(銀建) [illegible]

錢鈔 鈔票保合

後場は材料なく保合凡調

◇定期後場 ◇現物後場 [illegible]

商品 麻袋變らず 綿糸軟弱

大阪三品後場は前場引に比べ各限金一圓內外安を入れて當市小手合せあり、麻袋は氣配變らず

奧地市況

現物 ▲奉天票 ▲奉天大洋 [illegible]

市場電報

神戶特產 / 東京株式(長期) / 東京株式(短期) / 大阪株式 / 橫濱生糸 / 大阪綿糸 / 東京期米 / 大阪期米 / 神戶期米 [illegible]

家庭

春へかけての家庭衞生（Z）

大自然に親しみ心をおだやかに保て

滿鐵公醫　脇屋次郎氏談

★…私が精神神經科の看板を揭げてゐてもこの方面で相談に來られる方は殆ど稀ですが、實際には變質さかヒステリーさかいふ精神神經系の患者は鉍る所にありますが醫者には連れて來られないが私共が專門的に見てこれはあぶないと思ふやうな人もザラにあります、男の人はよく「うちの家内はヒステリーだから」とごく簡單に片附けてゐますがこれは餘程氣をつければなりません、婦人は月經中或は月經前後になるといちぢるしく精神狀態に異狀を來すのが常です、これなどもたゞヒステリーだと簡單に取扱ふのは間違ひです。

★…男が女の月經時の生理的變化をよく理解し同情すれば女も所謂ヒステリーを起さずにすむのですが現在日本の大方の男は女はいつも男の御機嫌をとつてくれるものだといふ舊い觀念で月經時の女にもこれをあてはめやうとする所から家庭の不和を招く場合が屢々あります、一方女自身も月經時に無暗に腹が立つたり感情が鋭くなつたりする自分の異常を自覺してある程度まで自制することが大切です、夫のよき理解と妻の自制を缺くところにおそろしい夫婦生活の悲劇の根が巣喰ふのです、現代人に多い神經衰弱は不攝生な生活に原因する場合が多いやうです。

★…神經衰弱といひますが決して神經だけが衰弱するのでなく神經と共に身體も弱つてゐる所謂心身衰弱ともよぶべきものです暴飮暴食は胃腸をそこね胃腸が弱れば氣分までわるくなります夜ふかしから來る睡眠不足もまた神經衰弱のもとです、何時も明朗なすがすがしい頭腦をもつためには攝生と同時に平穩な生活が要ります、一日一日を平穩に暮せる事は何より幸福でそのためには每日の仕事の豫定を拵へて豫定の仕事を豫定の時間内に片附け多少の時間の餘裕をつけておく事です。

★…さうしますと何時臨時の仕事が突發してもあはてる事がなく始終仕事に追かけられるやうなあくせくした氣持でゐなくてもすみます、力めて大自然に親むことも心をおだやかに保つ上に大切で「戶外へ戶外へ」の標語はこの點でも大變よい標語です（をはり）

素人園藝家の

花壇を賑はすダリアとカンナ

植込のシーズンが來ました

立派に咲かせるには

花の華麗なのと花期の永いので每年素人園藝家の花壇を賑はしてゐるダリアと、あの見るからに威勢のいゝカンナの植込時がまゐりました、中央公園の一隅に每年美しい花を咲かせてゐる平岡興平治氏はその長い體驗からダリアとカンナの上手な仕立方を敎へて下さいました

＝ダリア＝　は實生のものもありますが球根から仕立てた方が好結果を見るやうです、店で買つたものも貯藏して置いたものもそろそろ發芽する時分ですが本植をする前に一度假植をして發芽の具合を試します、普通の肥料氣のない土に球根を並べて[illegible]がかくれる程度に土をかけて每日一回づゝ灌水すれば五月中旬には大概芽が出揃つて早いのは四五寸にも伸びますから豫定地へ本植えをいたします、三尺乃至四尺の

＝間隔を＝　置いて直徑一尺二寸深さ一尺位の穴を掘りその穴へ一穴に對し油粕一合、藁灰又は木灰を移植鏝で二杯、その上にたとへば骨粉五勺、過燐酸石灰五勺、腐葉土又は馬糞を乾して粉にしたものを一升を混ぜ合はせてこれを畠土に混ぜて拵へた肥料土を四寸敷くのです、その上に普通の畠土を一寸かぶせ、穴の中央にステッキ大の長さ五尺位の支柱を眞直に立て、この支柱にそへて發芽した芽を支柱から五分ほど離して莖を橫植ゑにします、その上に畠土を二寸ほどかぶせて中の芽が成長する從つて土を少しづゝかけてやります、これは球根や芽に太陽光線のあたゝか味を充分受けさせてその成長を速かにするためです

＝素人は＝　支柱をあとで立てますが、あとで立てますと必ず根を切つたり莖を傷けたりしてダリアの成長を害しますから必ず最初に立てることを忘れてはなりません、灌水は芽が一尺にのびる迄は始終土に濕氣がある程度にし、一尺以上になりましたら上の土を少し掘つて見て中に濕氣がある程度にやれば十分で、あまり水をやりすぎますと根を枯らしたり葉ばかり茂つてよい花がつかなくなつたりします、かうして花が咲くやうになりましたら一週に一回位づゝ追肥をやります、追肥は油粕一升を一斗の水に溶いて腐熟さしたものを

＝最初は＝　二十倍に薄めて一株に五勺位、段々大きくなるにつれて四杯五杯と增てやります、八月頃にもなつて花が澤山つきましたら十倍位に薄めた稍濃いものをやります、蕾が出る時には必ず一ケ所から三つづゝ出ますから小さいうちに眞ん中一つだけ殘して他はかぎとり、一ケ所からは一つしか咲かせてはいけません、

＝支柱を＝　四本立てこれを上の方で眞ん中の支柱に全部一まとめにします、ひろがつた枝もそれぞれ支柱に結びつけて置きますとどんなに風が吹いても倒れたり枝が折れたりするうれひがありません、咲き終つてきたなくなりましたら片はしから枝のつけ根の上から鋏で切ります、これをそのまゝ放つて置きますと實を結ぶために養分がそちらにとられて後の花がわるくなります、カンナはダリアのやうに支柱や摘心もいらず肥料も少くてよいのですから大變樂です、はじめやはり假植をして芽が出ましたら適宜に根莖を切り分けて植こめばよいのです、他の手入はダリアと同樣にすれば見事な花や葉が見られます

＝肥料は＝　ダリアの半分位もやればよいのですが、同樣にやつたならば見事なものが出來ます

晴雨勝手次第

今年のパラソルの變り種

▼▼…去年は二重張全盛でしたが今年は更に三重張レースをあしらつた四重張などが現れた一方には、すつきりした一重ものがかなり見受けられます、骨數は十二本、十四本、十六本、それに細かい十八本ものもありますこれは勿論のこと、あまりあくどい色や、けばけばしい色をお避けにならなければいけません何故つて、陽の光がパラソルをとほしてお顏へ映る影の色彩が折角のお化粧を臺なしに見せる場合がよくありますから、パラソルだけの色調よりも、おさしになつてからの效果を考へなければいけません。

▼▼…今年の新しい傾向としてはスタンドパラソルと稱する一呎位の短いものが文字通り野球見物用として東京で賣出されたり三段におりたゝめる晴雨兼用の傘が、ドイツから輸入された事などでせう、今まで骨と生地がバラバラになつて小さくおりたゝめるパラパラ・パラソルがありましたが、今度のは、そんな手數がなく、柄と先を引出しさへすれば、普通のものになります、そしてサックに入れると、ハンドバッグへ入るといふ便利さです、夜まで外出なさる時や天候のあぶない時にはもつてこいです

滿日婦人團茶話會

けふ午後一時から本社講堂で

奮つてご參集下さい

今午廿一日午後一時から本社三階講堂に於て昨朝刊にお知らせした通り滿日婦人團の總會を開き映畫を見、懇親の茶話會をいたすことにしました、團員諸姉は萬障お繰合せ御參集下さい

少年よみもの

父と子（三）

政本いさむ

それから又いつとはなしに月日が過ぎました。玉明は一度お父さんに會つた事が却て苦みの種でありました。それから晝となく夜となくお父さんを忘れる折とてはなかつたのです。お母さんも玉明にまさる思ひでありました。二人は何度もお父さんを訪れて行かうと思ひましたが、お父さんの言葉を思ひ出すと、さう輕卒には會はれないやうな氣がして、つひそのまゝになりました。

× ×

ある日の夕方でありました。一人の病人が玉明のうちに擔ぎ込まれました。それはお父さんでありました。お父さんは長い間妻や子に會ひ度いために體を弱くして、それでも佛道の修行によつて一時でもそれをまぎらさうとしてゐたのでありましたが、一度玉明の顏を見てからはもう每日のお勤めさへおろそかになる程苦みました。何といふ因果な身の上だらう。すぐ目の前にゐながら親と子が會はれないといふことは、とうとう李明は病の床に就きました。病がだんだん重なるにつれて夢のやうに現のやうに玉明の名を呼びつゞけました。坊さん達は何か事情でもあるのだらう、早くあの玉明醫院に連れて行かう、と相談して四五人の坊んで、やつと玉明のうちへ擔ぎ込んだのでありました。然しお父さんはもう助からなかつたのです。嬉しい親子の對面が永久の別れでありました。二人は固くお父さんの手を握つたまゝ別れて行きました。李明のお墓はお祖父さんの李厲のお墓のそばに埋めて、玉明母子は其後もとの李家のあつた場所に歸つてお父さんを弔ひました（終り）

婦人倶樂部

五月號　二大附錄つき

第一附錄　和食・洋食・支那食　家庭一品料理カード

萬人が美味い！と舌鼓打つ料理法—

▲魚介類の料理四十六種（應用料理百八十六種）
▲肉卵類の料理十八種（應用料理七十五種）
▲野菜類の料理五十二種（應用料理百三十七種）

〜三錢から二十錢まで出來て榮養美味經濟三拍子完備！〜どなたにも手輕に出來て來客用によし家庭用によし！

第二附錄　家庭按摩術急所圖解

素人に出來る縞入寫眞入說明　姑に仕へる嫁女の寶典です

◇神經衰弱◇ヒステリイ◇神經痛◇ロイマチス◇つかれ◇頭痛◇耳鳴◇肩こり◇齒痛◇不眠症◇脚氣◇冷え性◇腰痛◇消化不良◇便秘◇身體の弱い人◇運動不足◇貧血症◇夜尿症◇めまひ◇咽喉カタル◇水腫◇ニキビ◇うちみ◇顏面筋痙れん等此外數種素人でも不思議に効果ある按摩法の急所發表

▲新婚の旦那樣ばかりの座談會
數名の新婚男子は語る…結婚第一に語つた事は何か、女の氣持をどう知つたか、奧樣への注文と感謝、其他萬般包まぬ打明け話面白くて有益！

▲中村福助氏と花柳壽美さん　訪問接客應對実演画報
障子やふすまの開け方から茶菓の作法お辭儀の仕方等一切實演！之を見れば忽ち立派な作法がわかる、婦人には特に値打ある畫報です

▲お子樣を良くする急所秘訣 名家十三
神經過敏を直した秘訣、投げやりの癖を直した話、噓を云はせぬ秘訣、子供が伸び〳〵育つコツ等育兒熱心の名家が秘訣發表見逃せぬ名記事

髮から はき物迄　初夏の新流行画報
全卷目も覺める美しい色刷、着物から髮形、帶の新柄裝身具、洋裝の色々、パラソルや草履の新流行等々、一面に新様日常の御參考、買物の御參考になり又見るだけでも實によい氣分の畫報です、流行と同時に經濟的な新案物も取入れてあります

▲噂の婦人その後物語（佐藤千夜子さん・芥川ふみ子夫人・御子柴和子さん・溝口伯令孃）
▲栗島すみ子さん實演の　單衣の上手な着こなし方
▲毛の色澤をよくする家庭手入法（實驗發表）
▲色黑の人も斯うすると早く垢拔ける
▲貴女の月經にはこんな異狀はありませんか？（福井博士）

母になる頃の心得帖
よい赤ちやんを生んで下さい 樣々な姙婦心得が締ときでよくわかります、ぜひ御覽下さい

▲良人の破倫に泣く婦人へ……米田和歌
▲嫁入準備學問
▲女中さんの心得二十ケ條
▲御飯蒸しして出來る柏餅と粽作り方
▲煎茶番茶の美味しい入れ方
▲たやすく出來るレース手藝三種

▲女手で出來る小商賣座談會
◇文房具店◇ツエッペリン◇おでん屋◇實物品店◇菓子小賣店◇子供洋服店◇喫茶店◇洋品店◇玩具店
現在上記の小商賣で親兄弟を養ひ、或は良人なきあとの子女を教養し、又は失業した良人への手助けとして立派に成功してゐる方々の實驗談で、場所の選び方、客足を繁くする方法、資本の額、宣傳法、客扱ひ品扱ひ、儲かるコツ等一同非常な參考となる名記事

新考案男子用手藝七種
◇ツエッペリン型の胴着◇おでんの胴衣◇ポケット用のカフス鈕◇携帶用の洗面用具入◇簡單な口紅を寄せ或は愛する人へ心をこめた贈物の出來ます◇ポケット用紙入◇ビーズ應用のカフス釦◇便利なナイトキャップ◇便利な椅子カバー◇布製ポケット靴ブラシ等々手藝大家の新考案

▲人柄に合はせる化粧と着附（川崎弘子）
▲姿よく働きよい婦人仕事着
▲子供の喜ぶ軍服式上っぱり
▲お料理物しり帖
▲藏界今昔ばなし
▲漫畫—田河水泡
▲實用手藝グラフ
▲產前產後一刻を爭ふ病氣の手當法
▲子供の爲の母親醫學（竹内博士）
◎傳記「德富蘇峰先生」…澤田謙

父性愛小說　父と子　池田宣政
死をも怖れぬ父親の愛の純情には何人も泣かされる、世界的名聲ある傑作の日本版權を獲得せる

▲戀愛小說 良人ある人々 菊池寬
▲戀愛小說 不滅の像 加藤武雄
▲時代小說 いざよひ砧 子母澤寬
▲純愛小說 悲しみの天使 中村武羅夫
▲滑稽小說 僕の結婚 滑川哲朗
▲傳奇小說 美しき獸人 福田正夫

新柄夏帯一千本の大懸賞
ハガキ一本で誰方も出せます。詳細は五月號を御覽下さい、同號には千慾品擧です

定價五十錢　送料五錢　全國書店にあり　東京本郷　大日本雄辯會講談社（振替東京三九二〇）

蜂ブドー酒

血を增し肉を肥す
美味と滋養の此一杯

請近藤利兵衛商店

7-22

補血強壯增進劑　フルトーゼ

活力ある榮養素

フルトーゼは實に我醫學界待望の的たりし消化蛋白と有機鐵の結合體である故に胃腸を勞せず吸收同化せらるゝや消化液の分泌を昂めて食慾を增進し榮養を佳良にし精力を旺盛ならしむ亦有機鐵は容易に骨髓を刺戟して造血機能を亢進し、補血作用を營み虛弱體質を變じて強健なる體軀に改善する活力ある強壯劑である

適應症　食血諸症の人・胃腸の弱い人・小兒虛弱の人・病中病後の衰弱

單味（半ケ月分一圓〇〇・一ケ月分一圓八〇）
アゼル（半ケ月分・一ケ月分）
キヨードン（半ケ月分・一ケ月分）
コアール（半ケ月分・一ケ月分）

活動の源泉（小冊子）申込次第無料進呈

大阪道修町　株式會社　藤澤友吉商店

B23

滿日案内

◎三行一回金九拾錢　◎五行一回金壹圓五拾錢　◎十行一回金參圓　◎十五行一回金四圓五拾錢　◎二十行一回金六圓　◎被雇慶金六拾錢　◎姓名在社は一回金三拾錢增

廣告部電話は三六九五・四四九一番です

雇入

寫眞　新天地を開拓せんと欲する青年技師二名採聘要履歷書奉山線打虎山　原寫眞館
見習　入用十四五歲迄市內要確實保證人但馬町六　木村時計店　電二二六三四
外交　に手腕のある方を募集します、詳細は面談の上　姓名在社
女中　入用十七八歲より三十五歲迄本人來談　連鎖街電車通備後商會電四六一四
女中　急用十五六歲ヨリ二十八歲迄吉林食道樂淡月本人來談但馬町五番地　多田洋行
外勤　招聘經驗有無不問年二五以上地方住居者可履歷書持參又郵送大連山縣通安田生命
弟子　入用和洋結髮　大山通二丁目三三　末廣美粧院
女子　二名入用　春日町四五番地　理髮美容院
女給　さん數名入用住込み希望本人來談あれ三河町　日ノ出カフエー電二一三四〇
和服　裁縫仕込見習募集本人來談十五、六歲より廿歲迄　磐城町二六　富田裁縫所

教授

圍碁　會費月二圓初心者歡迎清水三段指導三河町　日本棋院大連支部電話八六七五
習字　速成教授　三河町　池內　電八六・七五番
琴古流　尺八指南　大連二葉町一五峯天溟町一六　名和榮次郞
ピアノ・聲樂教授　能登町十一　中川　電五〇四四
ミシン　子供服學生服婦人服ミシン刺繡出張、自宅教授　但馬町六九　能勢
邦文タイピスト　短期養成　大連大山通　小林又七支店
邦文　タイピスト養成午前・午後・夜間　山縣通日本タイプライター會社
タイ　ピスト英文及邦文短期養成速成的英語教授並印書　近江町映樂館横電四三〇八　英學會

貸家

住宅　向貸家楓町一八番地貫百廿圓御希望の方は山縣通二二五濱崎商店電五五一八
貸家　山城町二南向スチーム水便電話等設備完全　貫四十二圓　電六四七七
大勉　強二三階騷擾事務室朝夕賄附一月廿三圓洋室同上一室八圓賄付數室有電三六九〇
貸家　信濃町一三五番アパート六、四半其他種々スチーム水便完備　電七〇八七
貸家　平和臺停留所前二、六、八湯殿、本床付、日當良　貫廿二圓　電三三八七番
貸家　二階建高級外貫十圓以上平家數戶詳細は電話五八二一番郊外土地
貸家　八幡町四一八幡アパート各種水便瓦斯風呂スチーム設備　電五七三〇
南向　櫻花臺一五一番八、六、六賃二七圓　電二二四四三番電二一八八五
住宅　老虎灘電車終點北入約一丁日當良浴室水便溫水煖房付　電五〇〇九
貸家　文化臺七一洋八、七、二和八、八、六地下室物置三室溫水水便　電五二七六

貸間

貸間　滿鐵本社に近く閑靜なり六疊、八疊を會社員の方にお貸し致します薩摩町九五久保
貸室　宰料四十圓以上各種食料八圓以上應需電話六六五〇番　嶺前莊

讓店

讓店　場所能登町飲食店希望の方は電話二一四五三番へ問合乞
讓店　西廣場附近目拔の場所目下盛業中カフエー都合により至急讓りたし電話四七四八
讓店　連鎖街銀座通　カンノ家具店迄來談を乞ふ商品なし、希望者は至急
工場　讓有望な仕事最新式タイヤ修繕機御希望の方は春日町四五番地　中島電器研究所

賣買

賣土地　安電車停留所一丁黑礁屯五〇、七五坪御用の方は　電七七八〇へ

雜業

裝飾　提灯が參りました最新式櫻花書入ボンボリ電話七七一四番　膠膳堂
ミシン　賣買格安品有ます常盤橋河島ミシン店電六六八四
塵紙　懷中に家庭向德用の生漉改良の三山鳥紙發賣元　拓茂洋行紙店
白帆　高級お化粧紙は出印に限る
天帆　高級紙生漉お使紙は出印に限る
算盤　の御用は拓茂洋行　電話五四三八番
古本　高價買入、御報參上市內但馬町二〇　文光堂
債券　來月籤債券多數有り四千圓ひろひもの新聞月三錢大連市西通三五番地大連案內社
商券　勸業債券賣買並に金融三越商品券五分引買入西通三五電車通四階　大連案內社
刀劍　研白鞘鑑定賣買自家製止打粉油有　大連市磐城町五八南海堂研磨所

貸衣裳

貸衣裳　日隆町　三浦屋　電話22645番
貸衣裳　婚禮用葬儀用　日隆町　さかひや電五四三七番

不用品賣買

古着　其他御不用品は他店より特別高價買受けます　日隆町エベスヤ電二二二五九五
古着　古道具高價買入御一報參上　日隆町　たじまや電六六〇一番

電話と金融

質貸　出し勉强します電話二一六〇四番　西公園町越後町入紀ノ國屋質店
貸電話　小川洋行　電六七三〇
金融　小口貸出西通三八、東京カフエー横入　大同社
金融　小切手割引郵便貯金通帳拂出殘高買入若狹町交番一つ西辻北入電六〇二三　東陽商會
簡易　保險即時立替前借失効其他御相談に應ず二葉町六紀ノ國屋質店横　大洋社電三三六一
金融　信用貸社員公官吏電話立替手輕に御相談に應じます　聖德街一丁目二一四　田中
電話　金融賣買は何と云つても確實だ名義變更せずとも貸出す　電話五五五七番
恩給　御安く最も永く立替致升　大連市淡路町三番地ノ五　永島　電二一六七八
金融　信用貸◎恩給西通り一七交番裏入り來記號　電七六九一番
恩給　電話債券賣買金融　西通三五電六六六三大連案內社
電ワ　無斷で名義變更する不正直屋有り恩給電話の金融賣買は大連案內社に限る

醫院

日野　齒科醫院　信濃町市場正門前（木村屋隣）
鶴見　齒科醫院　西公園町六九　電話八二〇三番

治療

ホネツギ　若狹町二三一（ミドリ溫泉下車）山田行正（電三二七八九）
家傳　お灸ハリ灸專門療院　濱速町二〇一番電車停留所西

名藥

中風　腦溢血の妙藥順氣湯病前の一服は病後の百服に勝る大連沙河口大正通　三共商會
淋病　調合藥、特製大博士あり不思議に良效くお試しあれ大連沙河口大正通八五　三共商會
クサ　及胎毒の特効藥有ます大連劇場隣根本藥局電七八六二

印刷と寫眞

寫眞　大連寫眞館晝夜撮影男女支那服の準備有日本橋際　電話二三五八四番
實印　の御用命は吉野町一萬堂　電話七八五九番
邦文　タイプライター印書應需　大連市大山通り　小林又七支店

旅館

一圓　トマリ、ベットの設備あり大勉強は名古屋旅館大連市吉野町六電六三二一

下宿

宿料　食事夜具共月廿七圓の割合百事吟撰永滯在向勉強美濃町登府廣場前鑄南館電三五六六
下宿　朝鮮銀行村山電八一〇〇番
下宿　族的御世話を求む素人下宿八疊以上家
下宿　徹底的値下大連一大勉强二食風呂付金二十圓より山城町二　自修寮　電二一六六九
下宿　閑靜衛生住室內改裝注意地良宿所格安懇相談西公園町二〇七　紅葉館電六三九七
低價　高等下宿食事モットーとして自二十四圓至四十圓迄丹後町四　光明館電五五一五

食料品

牛乳　バタークリーム　大連牛乳株式會社電四五三七番
牛乳　バタークリーム　滿洲牧場　電話六一三四番

諸商業

麻雀　設備、高尚、閑靜、理想的麻雀俱樂部（公學堂北側）銀雀電二二六四九　土佐町五四
古服　の修繕を始めました袖裏の取換ワイシャツ等致します　連鎖街丸金アパート高野キクエ
ピアノ調律修繕致します　大連福音洋行電三八一二　調律師　大越勇喜
門札　瀨戶物へ彫り込み　三河町池內電話八六七五番

雜件

防彈　一具ピストル實彈試驗濟一具十五圓特約店募集　發賣元名古屋市南外堀町鈴木商行

教授

寶生流謠曲　懇切に手ほどき致します　西通九三滿電クラブ前　五賀會

家畜

犬　ヂステムパー狂犬病豫防注射施行入院實費其他家畜類診療　近江町電停前電話二一〇四七番　石井家畜病院
犬　賣る番犬、警察犬、獵犬、愛玩犬、各種仔犬並に種付仲介　大連大江町四電話呼出八六七九番　籾田畜犬商會
犬　狂犬病。ヂステンパー。豫防注射。入院實費。　春日町（大タク前）電呼四七〇六番　太田家畜病院

家政婦

家政婦（通勤入込派遣）附添婦　西公園町二一五　電二二四九〇　岡部紹介所
家政婦　一日泊込一圓より共濟寮　家事一切病人附添產婦炊事即刻派遣　西公園町五七　電三六六三番
家政婦　附添婦　派遣　派遣多忙會員募集中　大連市乃木町六角堂前　ミツワ附添婦會　電話三九九三番
通勤家政婦　家事一切病人附添乳兒姙婦實費にて御預り致します　一日一圓也　產婆　安信會主　淺野靜子　美濃町五七番地電話二一八六六

印刷と寫眞

不二膽寫版及謄寫版、美術印刷　大連市榮町二番地榮町ビル二五（東比須町停留所前）　大氣堂　電話四二四九番

食料品

おいしくあま酒　値下一升卅錢　二十餘年の經驗と獨特の製法に依る美味と滋養に富む好飲料迅速配達致します　大連市二葉町一〇四　製造元　片岡糀店　電話三六六一番　沙河口販賣所　電話九七五五番

醫院

早川齒科醫院　大連市西通九三常盤橋附近　電話三九七一番　治療時間朝八時—夜八時迄

名藥　醫學士福原正義先生創製　強力治淋新藥　得利格諾賓（トリゴノビン）Torigonobin　藥價三十球壹圓五拾錢　六十球參圓　發賣元　大連市信濃町四四　日本橋藥局　電話八三六二　振替大連四四九七

熱性感冒流行　油斷大敵倒れぬ先きに　四ツ目印にんにく葡萄酒を　常に召せ萬病撃滅、健胃整腸、貧血、冷症、腰病、神經痛、婦人病に効果偉大　大連市山縣通　發賣元　鈴木商會　電話五八四九番　著名藥店食料品店にあり

特價販賣　特製豆入大福餅　祝餅赤飯　明治軒　磐城町六七電話三四四九番

治療　家傳お灸　淋病、睪丸、關節、痔、ロイマチ婦人病、內膜、喇叭管、卵巢炎、胃腸、センソク、神經痛、脚氣、健康は國家興隆の基本なり　大連市濱速町五丁目二百一番　家傳ハリ灸專門療院　信濃町通濱速町電車停留所

電氣・一般マッサージ　乳もみ、鍼灸、熱氣、光線療法●適應症●顏面神經痲痺、小兒痲痺、脚氣、中風症、關節炎、直腸神經痛、ロイマチス、胃腸病、乳はれ、乳ふそく　專賣特許●東京理學療院●創製

ラヂウム溫灸器　販賣並治療　滿洲總販賣元　大連市西公園町百五十三番地　玉橋保健治療院　電話三四四四番　振替大連三二二三

雜件　易斷　通信御心配事？　通信易斷料一件金一圓也　旅順市大津町二九　日雲堂易斷所　申込用件及生年月日明記の事

電氣器具　舶來オスラム瓦斯入球米國エパレデー電燈電熱器及スタンド類　濱速町　山形洋行　電三〇一五・八六八八番

建築並小修繕請負　御一報次第參上致します　改工舍　大連市壹岐町三丁目六九　電話呼出　二二五一三番

蓄音器の修繕は專門のヤナギヤへ　電話七九〇三番に

吉川式　洋食竈ストーブ　冷藏庫鐵板製　風呂釜巡罐式　銅鐵、鉽力、鑄物細工　御注文に應ず　大連市信濃町一二四　製造販賣　吉川商店

質　寫眞機＝レンズ＝　小型活動寫眞機　交流ラヂオ　ミシン機蓄音機　絕對的多額貸出速金買入も致升一般質物何でも特別勉強　大山通宅の店裏小路　萬壽屋質店　電話八四九八番

吉光金庫　御一報次第現品供覽　大連市伊勢町　佐井田洋行　電話四五五二番

擧國
一致
味の素（登錄商標）
使っては
經費と時間の節約
食しては
美味く健康の増進
是非を論ずる
時代既に去る・
家毎に洩なき
御愛用を祈る・

宮内省御用達 味の素本舗 鈴木商店

多門○團の凱旋兵 きのふ宇品へ向ふ 同胞の萬歳聲裡に

十九日午後大連に到着した多門○團の凱旋除隊兵約八百名は生死を賭した第二の故郷滿洲に最後の夢を結び二十日午後二時より御用船あいだ丸に乘船を開始し、同二時半解纜一路宇品へと向つた、○團の第一次歸還兵を送るべく市役所民政署、滿鐵、警察各代表、各團體、各學校生徒、一般市民を以て埠頭は埋められ打鳴らす太鼓の音に交つて萬歳の聲、軍歌は絶え間なく兵士またこれに和し別れを告げる、二時半船は靜かに離れる、怒濤の如き萬歳の裡にあいだ丸は凱旋の途に上つた

士氣彌よ高し 凱旋の多門○團 長春通過、遼陽へ向ふ

多門○團司令部及び第○隊主力は二十日午後三時着臨時列車でハルピンより長春市內各學校生徒その他萬歳聲裡に意氣揚々と晴れの凱旋をなして來た、多門中將は幕僚と共に驛の貴賓室で白井鐵道事務所長、橋岡地方事務所長、眞淵郵便局長、田中民會長その他の挨拶を受けてのち滿洲屋旅館に入つたが八ケ月餘に亘る各方面の轉戰にも拘らず些の疲勞の色をも見せず頗る元氣である、因に○團司令部は二十日十時發の列車にて又○隊主力は十二時二十分發列車にて原隊地遼陽に向け出發した【長春電話】

山田一等兵も 凱旋

第○團第一次凱旋除隊兵として八百名餘が二十日あいだ丸にて出發したが、この內に曩に大興の戰鬪に於て騎兵第○聯隊吉澤中尉(當時少尉)指揮の下に斥候に出で單身匪團を破つて任務を果さんとして不幸捕虜となつた山田騎兵一等兵も目出度く凱旋した

奇ッ怪な新事實 取調べにつれ續出 わが軍用列車妨害事件の嫌疑者 王長春探偵局長

【ハルピン特電二十日發】わが軍用列車妨害事件に關する嫌疑者として引致された路警署探偵局長王長春は引續き取調べを受けてゐるが同人の行動については續々奇怪な新事實が發覺取調べの進むにつれて意外な進展を見ぬとも限らぬ去る十六日東支東部線よりの列車中においてトランクに手擲彈百三十一個を詰めて密送した東支印刷所勤務員ザナコフを當時路警署員が拘引したところ王は當方にて取調べると稱して一旦同人を引取りそのまゝ逃がした件、わが列車妨害の嫌疑者として引致した某ロシヤ人をこれまた取調べると稱して逃亡させた件、官職を利用して盛に收賄し且某方面から買收され巨萬の富を藏してゐたなど札つきの强か者である

邦人上海復歸 四千三百五十名

【上海十九日發】事件終結五十七日目迄に當地に歸還した避難民は四千三百五十名で現在の居留民總數一萬七八千である

支那正規兵が 我斥候狙擊 戰死一名、負傷二名

【上海二十日發】軍司令部發表、本日午前十一時頃嘉定駐屯の步兵第○○聯隊第○中隊より敵狀偵察のため派遣されたる高橋下士斥候以下數名が、嘉定西方外岡鎭東方百五十米の地點に達したる際、突如約五、六十名の支那正規兵の狙擊を受け戰死一名、負傷二名を出した、所屬中隊よりは直に兵を出して敵を追擊せしめたが敵は巧に蹤跡を晦まして了つた

福井中尉奇禍 落下傘突如開き

【上海二十日發】軍司令部發表、朝來飛行練習中だつた第六十五號は野村軍曹操縱、福井中尉同乘で午前十時二十分頃當地飛行場上空を飛行中、福井中尉の落下傘が突如開いたゝめ中尉は機外に吊出されその際機體後部に激突卽死し、機も又故障を生じて操縱不能に陷り浦東方面に不時着陸して操縱者無事なる見込みなるも目下搜査中尚福井中尉の死體は黃浦江中に墜落した

殊勳輝く 横須賀部隊

【上海二十日發】横須賀特別陸戰隊約五百名は太田少佐引率の下に來る二十三日能島丸、鳴戶丸で內地歸還の途に就く事となつた、この部隊は四明公所、八字橋等に非常な奮戰を爲し同方面の決定的勝利並に殊勳に輝く部隊で損害も相當にしてゐる

城子疃方面 出動部隊 きのふ某地へ

城子疃をこえて遠く州境一帶の匪賊を完全に鎭壓した步兵○○聯隊○○名及騎兵聯隊○○名は輝く武勳を飾つて廿日午後一時五十五分及四時廿四分金州着の金福線にて在住民數百名に歡呼に迎へられて到着接待の湯茶、菓子等に疲れを慰めて同五時五十分再び北滿警備の重任に着くべく某地へ向け北行した【金州電話】

滿洲國の 建國運動 上級班先づ 大連に向ふ

滿洲國施政局で計畫の第二回建國宣傳運動と協調し民間においても民族融和、樂土建設をスローガンに大々的に宣傳を開始することゝなり奉天においては高子明氏が中心となり民間委員二十餘名をあげ元交通委員會跡に事務所を置き半月前より宣傳員訓練中であつたが二十日迄に訓練を終つたのでこれを上、中、下の三班に分ち上級委員は智識階級を、中級委員は男女中等學校生徒を、下級委員は無學農民の勞働者等を相手に二十一日より宣傳を開始する筈で上、中二班は演說、講演、下級は大同藝人覗き眼鏡、講談等にて民衆に王道善政の建國精神を鼓吹徹底せしむべく上級班は先づ大連より宣傳を始める筈で二十日夜奉天發大連に向つた【奉天電話】

勞農商業機關 滿洲を引揚げか 在庫品片端から處分

北滿在住の勞農商業機關が東支從業員その他赤露人の本國引揚げと共に五月中旬迄にストック全部を整理して閉鎖し全部引揚げに決したとのハルビン特電が赤色テロの策動なぞと關連し時節柄世人の注意をひいて居る折から在奉天ソウエート商代表は十八日木材のストック六百車を營口において一時に處分したとの情報あり、これが信ぜられるものとすれば北滿在住の赤露人に呼應し南滿在住の赤露人もいよ〳〵近く本國へ引揚げを開始する準備とも想像され彼等の動靜は大いに注目されてゐる、尚在大連のソウエート商業機關も石油大豆のストックを既に全部處分したと【奉天電話】

白系露人が 反勞農宣傳

【ハルピン特電二十日發】二十日東支從業員一齊罷業が行はれるとの噂が傳はつたので、當地官憲は非常警戒をしたが何事もなく終つた、然し列車の運行は依然不圓滑である、管理局の如きも缺席者續出の有樣で事務は澁滯し社員は不安にかられてゐるが、この虛に乘じて白系露人は盛に反勞農宣傳を飛ばしルディ局長秘書が拘引されたとか赤系從業員何百名引致されたとか根も葉もなき宣傳に憂身をやつしてゐる

東支退職者 なほ騷ぐ 滿洲國に嘆願

【ハルピン特電二十日發】十八日東支本社を襲つて暴行を働いた東支退職社員は引續き每日本社前に集まつて騷ぎ立てゝゐるがその數は益々增加し代表者は新京政府に嘆願することゝなり一方特區警察及び露警察署に了解運動をなしなほ一週間待つて解決せねば考へが有るといきまいてゐるが右退職社員の運動は漸次政治的白系運動の傾向を帶び來るので當局は注意してゐるが彼等が政治的又は暴力的行動に出れば徹底的に取締るとの事

共匪厦門に迫る 中央軍を擊破して

【厦門十九日發】廣東省境より北上した共產軍の進軍ぶりは頗る急速を極め龍岩、漳中方面で中央政府軍を擊破し漳州に迫り厦門を一擧に拔かんとする形勢に在るので當地の人心は洶々として居り一方漳州からの避難民はその後も續々增加してゐる

厦門の形勢

【東京二十日發】二十日海軍省着電によれば厦門の情報左の如し

一、當地市黨部よりの電請により福州より應援隊として陸戰隊一營、機關銃隊、迫擊砲隊各一隊が十七日到着、上海より張貞宛武器七十八個も同日到着した

二、米領事は張貞に對し米人漳州復歸を照合せし處復歸せしめざるを可とする旨回答あり

三、漳州その他奧地よりの避難民は約一萬五千なりといふ

四、漳州附近の戰況張貞軍に不利にして、十九日午後二時三十分公安局は各國領事に對し漳州は午後二時陷落の旨通知あり、直接の敵は孫達仲軍約二萬にして廣東軍と連絡あり

海軍提督を夢みた露人の果

廿日入港の河南丸で生活苦にやつれた一露人が醫師法違反の事由により警視廳の手で送還されて來た同人はニコライフエドロウイツチストロジコフ(三)といひ一九一七年露國軍艦アイオウ號乘組員として天晴れ海軍提督を夢見てゐたが同號の長崎寄港中、同僚五名と共に艦を脫走して東京に赴きロシア大使館に傭はれ其後再び職を失したが苦學して慶應大學で醫科を勉强しその後日雲礦山株式會社の北樺探檢隊に加はりカムチヤツカを去る二千哩北のウランゲル灣において漁撈に從事して一儲けして東京に歸り、入京と共に震災に遭遇し又復無一文となりやむなくその後法網を潜つて醫師を開業してゐたもので永い間の勞苦に報ゐる家すら失つた同人は水上署でしよげ切つてゐた

放送時間變更

大連放送局では來る二十二日より定時放送中午後零時三十分よりの相場ニユースの放送は午後零時十分開始に變更することゝなつた

州內體育聯盟 愈よ設立に決定す 學校體操主任會議で

關東州學校體育聯盟設立に關する州內各中等學校、初等學校、公學堂の各學堂長體操主任協議會は二十日午前十時より旅順一中講堂にて開催、出席人員百餘名栗林視學官、山本研究所主事市川視學より夫々挨拶並に草案に對する說明を爲したる結果、本聯盟の設立は

萬場一致 可決を見、次で聯盟目的の一つたる第一回體育大會開催について建國記念聯合大運動會を擧行する事となり、正午一先づ休憩、午後一時より更に校長室にて聯盟規則に關する細部案其他の分科會を開催した、右草案による建國記念聯合大運動會は五月十八日を以て一齊に擧行し、旅順にては午前九時より日滿國旗の掲揚合同體操以下十三組の競技を行ふ

大連では 同運動場にて午前八時五十分迄所定の位置につき國旗掲揚式後放鳥、飛行機の慶祝飛翔の後、十三組の合同競技を開催、更に金州、普蘭店、貔子窩にては日滿生徒兒童聯合大運動會として建國記念聯合大運動會同樣の趣旨の下に擧行するものである、因に右分科會協議終了後、六月十一、二日頃擧行豫定の州內中等學校運動會實施方法について打合を爲した

オレゴン州白人 排日運動を起す 在米邦人に大衝動

【オレゴン州ベーカー發】當地東方イーグルベーカー・ヴアレイに十六日白人の排日運動起り日本人農夫三名は農場から追出された、之がため在米邦人間に異常なセンセイシヨンを與へてゐる

新滿洲國の 視察に 小野遞信局監理課長來連

遞信省管理局監理課長小野猛氏が廿日入港ばいかる丸で來連したが同氏は新滿洲國の視察を主とし、命令航路たる大阪商船の增配に對する諸種の調査、大汽その他內地各汽船會社の滿洲航路の飛躍に對する考察等多忙な旅程であるが船中語る

約廿日 の豫定でハルビン邊まで行つてくる、何分當地は初めてなのだから出來るだけ廣く深く見聞して行くつもりだ、大阪商船の定期船の獨占航路に對する輿論はどうか知らないが獨占航路は何處へ行つても橫暴だといはれてゐる、大阪商船では四月からうすりい丸、あめりか丸を增配したが從つてそれが貨物、旅客等にどんな具合に違つて來てゐるかといふことも見て歸く必要がある

補助金 (今までは十六萬[illegible])圓位出してゐたが自然增額せねばならないだらう、この問題は商船の方から話があつたが緊縮豫算のため沙汰止みとなつてゐるが、いづれ實現するだらう、大汽の割込、そんな話は聞いたが實現はむづかしいだらう、どうも大汽が內地で船腹のダンピングをやるので內地船舶業者は恨んでゐる

岡本海務局長その他船舶關係者多數に出迎へられ上陸した

舞踏場の出現で 營業方針の轉向 凋落を憂ふカフエ界

さきに許可された四軒のダンスホール經營者間に早くもダンサーの爭奪前哨戰が演ぜられ、時局柄打擊を受けてゐる上海方面から優秀なダンサーを引拔くべく二、三經營者間では競爭が始まつてゐる、ホールの開設は遲くとも本年中に蓋が開けやうと準備を急いでゐるので八、九月頃には續々大連に種々雜多なダンサーが現れるものと見られてゐる

警察方面におけるダンサー取締は、さきに發令した舞踏手取締命令規則を嚴重に適用しダンスに對する一般の惡い風紀的觀念を未然に防ぐべく嚴選主義をもつて臨み身元調査の結果いかゞはしい者は全部オミツトする方針であると語つてゐる

なほダンスホールの出現によつて打擊を豫想されてゐるのは市中のカフエーで、これを一轉機としてカフエー凋落の原因となるのではないかと考へられ當業者間では早くも方向轉換を企てステージ附カフエーを計畫するものが多數あり近く出願を見ようとするもの既に三軒に達してをり、正にカフエー界轉換の兆を示してゐる

五月祭の 初練習 けふ社會館

うらゝの五月、咲きみだれた百花さめざめる新綠の天地に春のよろこびを歌ひ舞ふ女のまつり恒例の五月祭は既報の通り來る五月廿二日午前十時から大連運動場に於て華々しく擧行されるが、その皮切りとして二十日午後零時から一般婦人の五月祭舞踊の第一回の練習が大連市社會館講堂に開始されたが會する者百五十餘名、吉井正子女史指導の下に一年ぶりに若やいだ氣分にかへつて一時間熱心にその講習を受けた、二十一日は正午から一時まで滿日講堂にて櫛木德二郎氏指揮にて一般婦人の舞踊講習[illegible]

見送りませう 第二師團凱旋勇士を けふ午後二時乘船開始(九番バース)

武德大會代表決定

來る五月五、六日の兩日京都武德會本部にて開催さる武德大會に滿洲を代表し出場する柔劍道は各五名宛にて左の如く決定した

▲柔道 大木師範、目黑教師、伊藤四段(以上旅順)前田教師(大連)白鳥四段(長春)

▲劍道 小關師範、安齊教師(以上旅順)岡田教師(大連)池田四段(沙河口)淵田三段(本溪湖)

英濠新記錄へ

【ロンドン十九日發】英國飛行界の花形ウイリアム・スコット氏は英濠間の飛行新記錄を樹立すべく十九日午前五時英國ライム飛行場發一路壯途に向つた 因に現在の英濠間記錄は八日と二十二時間二十五分で濠洲のモリソン氏が保持してゐる

ヌルミ選手を 拒めば オリムピックに芬蘭不出場

【ヘルシングフオルス十九日發】フインランド陸上競技聯盟主事は今日左の如く聲明した

國際陸上競技聯盟がヌルミ選手のアマチユア資格を認めず國際競技會出場を拒むならばフインランドは恐らく今回のオリンピツク大會には參加しないであらう

籃球リーグ戰 一中とイーグル勝つ

大連籃球聯盟主催の籃球リーグ戰第四回目の大連一中對南滿工專及びYMCA對イーグルの兩試合は二十日午後四時半より大連一中講堂にて開始、一中及びイーグル勝つ戰績左の如し

▲大連一中三二―一五南滿工專

一中 32 {二五 七}{六 九} 15 工專

黑田森田兩氏審判の下に午後四時三十五分開始工專三分西久保の野投成つて二―〇とリードしたが一中柴田東等の野投極り一五―六で前半を終る、後半一中やゝ調子を下げたがしばしばチヤンスを作つて得點せるに反し工專側のシート定まらず徐々に引き離され遂に三十二對十五で一中大勝した

工專 山田 西久保 相澤 福井 松木 (F C G) 得點 6 2 3 1 3 反則 3 0 1 2 0 計 1215 FG 12 FT 3

一中 柴田 竹中 今村 小丸 宗像 三吉本 金東 松 (F C G) 得點 6 0 8 0 10 6 0 2 反則 2 0 2 0 2 1 0 0 計 732 FG 23 FT 4

▲イーグル三二―二二YMCA

原田龍川兩氏審判午後五時四十秒イーグル森田の反則に富田の自擲なつてYM先取したが後YM富田奧田イーグル領左領森田岩瀨の野投成り七―七後十―九十三―一〇、十五―十四とクロスゲームを續け十七―十四イーグルリードで前半を終へる、後半直ちにYM龍山富の野投成つて十八―十七とリードしたがYM側練習不足の結果野投及び自投入らず遂に三二對二二でYMCA敗退した

(イ) 田 岩 瀨 佐 美 上 須 水 安 盛 (F C G) 反則 2 0 1 3 3 得點 13 7 8 2 2 計 329 FG 0 FT 12

(YM) 田古原 奧須 黑千 今富 山龍 村田 中山 (F C G) 得點 6 0 1 1 0 9 1 4 反則 3 0 0 0 0 2 4 3 計 1222 FG 1 FT 4

長春の日滿運動會延期

滿洲國建國記念のため長春において日滿聯合大運動會を西公園グラウンドにおいて二十六、七の兩日にわたり盛大に擧行することは既報したが二十日これが諸準備の都合上止むなく來る三十一日五月一日の兩日に變更された【長春電話】

醫學會例會講演

大連醫學會では二十二日(金曜)午後三時より大連醫院にて例會を開催左の講演ある由

一、「アトフアン」內服に依る胃及十二指腸圓形潰瘍に就ての一考察 町井秀成君、傳元煊君

二、代償性眼球震盪に及ぼす植物性神經系の影響に就ての實驗的研究 吉武惟揚君

三、金屬膠質の體外培養組織の發育に及ぼす影響 吉田六郎君

球磨青島へ向ふ

東港碇泊中の第二遣外艦隊球磨は二十日青島に向け出港した

あめりか丸船客

【門司特電二十日發】二十二日大連入港豫定のあめりか丸主なる船客諸氏

白川友一、遞信技師高橋三郎、遞信官吏田中敏郎、辯護士秋山高三郎、小林翠一

本社見學

寺井謹治氏引率滿電新入社員十五名は二十日午後本社を訪問工場その他を見學した

安樂椅子

東都學生有志の滿洲國祝賀使節一行が執政溥儀氏に贈つた名刀一口は正使節馬郡健次郎氏が懇望して貰つた海軍某將軍(特に名を秘す)が秘藏してゐたもので銘は「大和大正藤原正助」とあり、鑑定家の云ふ處に依つて見ると五六百年は經てゐる業物である。

……◇……

殊に劍身に「龍」が卷いてゐる彫刻がある、日本の古刀で劍身に彫刻のあるのは珍しく、昔から「龍」等をよろこぶ滿洲國にこの彫刻は誂へ向き。

……◇……

さてこそ贈物に恰好だが、古來妖魔を拂ふと傳へられる名刀、然も「昇天の龍」を配したこの古刀――さぞ溥儀執政も大滿悅の事だらう。

ア代表狙擊犯人に判決

【東京二十日發】昨年三月ソウエート通商代表アニキエフを狙擊した佐藤信勝に對し京都地方裁判所小林裁判長より懲役一年六月の判決言渡があつた

區長推薦任命

大連市役所では區長中補缺を要するものあるので今回左記の人々を推薦任命した

▲埠頭區長隅田虎二郎▲嶺前第二區長中川衛平▲嶺前第二區長宮本嘉之助▲連鎖街區長桑野彌一郎▲春日町區長落合周市▲同區長代理者岡島勘

BKの趣向調査 「大阪落語」が首位

【大阪十九日發】大阪放送局施行の聽取者趣向調査は約一ケ年の日子を費し完了したが右結果を列擧すれば「大阪落語」「浪花節」「ニユース」「喜劇」「野球」「義太夫」「東京落語」「映畫」其の他の順となつて居る

關東州野球大會主將會議

本社主催關東州野球大會は愈々來る二十九日の天長節の佳節をトして開始するが、二十日申込みを締切り二十一日正午より本社樓上にて參加チームの主將會議を開催の上抽籤する筈

曙の鐘（262）

倉田潮　河野想多畫

凱旋（二）

よもぎは公判の日から、仕事に精神がはいらなかつた。

いろ／＼な方法を考へて、春木と駒太郎とを救ひ出さうと、毎晩床の中で思ひ悶えてゐた。時には天から落ちて來たやうに妙想が心に浮んで、その方法によれば忽ち二人の無罪が證明されると我知らず跳び起きることなぞもあつたが翌朝冷に昨夜の思ひつきを取出して見ると、到底實行の出來ない空想であつたりした。

幕があく前にはまた毎日必ず平津の家を訪れて、探査の模樣をきかなくては落ちついてゐられなかつた。が、平津はこの頃殆ど苦心が報いられないので、失望しきつてゐるやうだつた。

或る日午後の一時頃によもぎが平津の家から歸つて來ると、マリアが扮裝のまゝ走りよつて、

「今あけみさんが見物に來てゐるわ」

と驚きに眼を輝かした。

「あけみさん？何うしてなの」

「何う云ふ譯かよく解らないのよ。でも、仲居のお夏さんやお露さんと今棧敷に來てゐるわ」

「あいさつに行つたの」

「鳥渡行つて來たのよ」

マリアはあけみが今日小舍に來たことに別に不審も持つてゐないやうだつたが、よもぎにはそれが痛々しい皮肉に思はれるのだつた。勝つた者が負けた者の家に來るのは、勝つたことを誇るより外には解釋出來なかつた。にが／＼しく思ひながらも、職業意識から彼女も手すきの折りを見はからつてあけみの棧敷に顏を出すことにした。

あけみは孔雀のやうに美しく着飾つて、うづらのはしに坐つてゐた。その側にはお夏が奧樣風の黑つぽい着附けで薄笑ひを浮べながら舞臺を眺めてゐる。よもぎは話には聞いたがまだ逢つたことのないお夏を、あけみと比較してみたが、お夏の年增姿は立派だつた。誰の眼にも二人は母と娘とより外には映らないだらうと思はれるほど二人に比べるとお露は柄も顏も劣つて、全く仲居としか見えなかつた。

「よくいらつしやいましたのね」

とよもぎはあけみと顏を合せると、氣持よく笑つて見せた。あけみも裁判のことは忘れたやうに、

「この人が」とお夏を指さして愛嬌のある笑ひ方をした「この人がマリアさんの藝を見たいと云ふものですから」

「もう御らんになつたのですか」

「ええ、見ましたの」とお夏が話を引きうけて「うまいわね。全く淺草のサンタ・マリアだわ」

「ほんとに」とあけみも言葉をそへて「おはこの坊主くさいお說敎より何んなに增しだかしれないわ」

よもぎも調子を合せて、三人は一緒に笑つた。

それを機會によもぎは敵意をかくした會話を打ち切つて樂屋に歸らうとした。すると、あけみが呼びとめて、

「よもぎさん、たえ子さんがいよ／＼壯三と結婚することになつたのよ」

「さう、何時ですの」

とよもぎは顏には出さないが、心の中では驚きあきれた。たえ子が春木をすて、壯三と結婚する―そんなことがあり得るだらうか。

「まだはつきり日はきめないのですわ。たゞ口約束だけしたのよ」

「さうですつてね」

とお夏が言葉をそへた。よもぎは驚きながらも、まだそれをそのまゝ信ずることが出來ないので、思ひ切つて疑ひの言葉を投げた。

「本當なの」

「嘘なんか云はないわよ。たえ子さんに訊いてごらんなさい」

とあけみはつひに露骨な敵意を言葉にあらはして答へた。

「何う云ふ譯だらう」

とよもぎは樂屋にかへりながら考へて、烈しい侮辱と共に、味方に裏切られた失望を感じた。

滿日俳壇

春の宵　島田青峰選

點滅の廣告塔や春の宵　大連　高木春蔭
春宵や明るき街を行き戻り
春宵や頰紅濃き支那娼婦
春宵やネオンサインのなまめきて
あか／＼と窓洩るゝ灯や春の宵
恙ある娘一人や春の宵
春宵や風生ぬるく頰を撫づ
春宵や人だかりせる辻騙珠
大連　田中九牛
灯の下に過る花籠や春の宵
溫室や玻璃戸曇りて春の宵
佛壇の灯のかぼそさや春の宵
カナリヤの出し抜けに啼き春の宵
春宵の溫泉宿色めき女客
春宵の霧立ちこめし汽笛かな
失名氏
春の宵黑々と月の山かたち
春宵の潮滿ち來し戎克かな
春の宵櫓の音遠き汐路かな
他愛なく眠りし妻や宵の春
海城　島谷麗子
粧ひて灯火明き春の宵
春の宵小雨降り來て留守居かな
庭下駄をはけば月あり春の宵
琴の音に足はこびけり春の宵
春の宵セルの縞柄選びけり
大連　宇都宮嵐翠
春の宵艦に笛吹く人のあり
春の宵笛吹いて舟下りけり
春の宵湯上りを吹かれ行く女
春宵や胡弓流るゝ戎克船

（建國祝賀）
春の宵町辻々の大纛
大連　花崎翠峰
屋臺船たつゝみて暮るゝ春の宵
川下にはひよる靄や春の宵
式臺に車寄せかり春の宵
高樓の電飾明く春の宵
東京府　小松乙英
懶ましき淺草の灯や春の宵
野芝居に社頭賑ふ春の宵
春宵の溫泉壺靜かに溢れなり
町行けば笑ふ聲あり春の宵
大連　芳洲
娘の唄に母も唄ふや春の宵
食草や皆頰ほてり春の宵
春宵や机の花のほろと散る
大連　一碧
伴奏の音もれ來るや春の宵
高殿の灯ほのかなり春の宵
支那街や店閉ざしたる春の暮
普蘭店　河本鏧夢
春宵や舟ばた叩く水の音
大川の水の流れや春の宵
周水子　古川青蛾
谷川のせゞらぎ聞こゆ春の宵
號外の鈴の音きこゆ春の宵
大連　北斗
春宵の灯の流れけり合歡大樹
春宵や潮ふくれくる星が浦
本溪湖　牛島獨舟
春宵の障子に映る松の枝
大連　遠藤春海
公園の忠靈塔や春の宵
小岱　素子
新聞を拾ひ讀みすや春の宵
失名氏
春の宵重ねし衣の袖だたみ
興安嶺　西作句王
春の宵思ふ氣まゝに步きけり
大連　岡藤嵐雪
春の宵そことも知らず月の下

滿日俳壇募集規定

▲句數無制限▲用紙半紙型のもの▲各題別紙に住所雅號をも記入の事▲締切五月七日▲封筒に「滿日俳句」と明記▲投稿先、東京市牛込區若松町八二島田青峰宛

次回課題「蟄」「蛙」「豆の花」

けふの放送

大連　JQAK　四月二十一日

▲午前六時三十分　ラヂオ體操
▲午後六時十分　ニュース
▲滿洲工業講座「通信」日下部鉦次郎
（以下內地中繼七時）
▲パイプオルガンと獨唱及合唱（東京市本鄕區聖テモテ教會より）國產パイプオルガン完成披露會演奏場（一）オルガン獨奏イ、前奏曲と遁走曲、ヘンデル何曲、ロ、ベネデクタス、レーガー作曲（二）テナー獨唱、勝利のキリスト、ヨーン作曲（三）合唱、聖なる處女マリアの頌、ハリス作（四）アルト獨唱、主ありて憩へ、メンデルスゾーン作（五）オルガン獨奏、英雄詩フランク作、オルガン獨奏及伴奏木岡英三郎、テナー湯淺永年、アルト野田滑子、合唱聖公會神學院聖歌隊、オルガン伴奏赤間尙義
▲義太夫「廓文章」淨瑠璃豐竹團司、三味線豐竹猿糸
▲講演（奉天より）未定
（以下大連放送局より）
▲ラヂオ體操「初心者練習」柳本龜二郎
▲職業紹介事項
▲氣象通報
▲ニュース

（明治卅八年十二月十五日第三種郵便物認可）

聯盟調査團海路班は今夜十時迄に大連着
けふ午後秦皇島を出發

確報によれば聯盟調査委員一行は二十日午後一時秦皇島より、一部は日本驅逐艦『刈萱』に一部は支那軍艦『海圻』に乘艦、刈萱は廿日午後六時に、海圻は同十時にそれ〴〵大連に入港し午後十時半大連發特別列車にて奉天に向け北行すると

陸路班に日支不參加
日本記者連同行を拒まる

【北平十九日發】本日午後十時廠々正陽門驛から張學良、張學銘、王以哲、張作相、萬福麟その他支那側要人及び在北平外國外交團の盛大なる見送りを受けて調査團一行は學良が特に改造して仕立てた特別列車に乘込んで一路秦皇島へ向つたが、海陸とも二十一日奉天にて落ち合ふ筈であるが、アメリカ委員マッコイ將軍とイタリー委員アルドロヴアンデッチ伯は二十日秦皇島でリットン卿その他の委員と別れ、山海關で奉山線に乘替へ陸行して沿線各地を實地調査する、一行には日支からは一名も參加せず、總て滿洲國政府及び關東軍に一任する事となつた、なほ陸行組は日本記者連の同行を拒絶した、米、伊、兩國委員が他の委員と別行動を執り陸行する事は種々な意味で注目され、フランスのクローデル將軍がわが驅逐艦に便乘するに對し伊、米兩國の滿洲問題に對する關心と行爲の反映であるといはれる

調査團天津通過

【天津二十六日發】調査員は本日午前二時天津通過十時秦皇島に到着、リットン卿、顧維鈞及び隨員は支那軍艦に、佛、獨、日三國側は全部日本軍艦にて大連に向ふ筈米、伊兩國側は滿洲國の特別列車の到着を待つて二十一日朝秦皇島驛發錦州より奉天に向ふ筈

滿鐵の接待役員

國際聯盟支那調査委員に對する滿鐵側の接待役員は左の如く決定した

一、會社事情説明および質疑應答 總務部金井囑託（主任者）外事課長、調査課長、岸田囑託、小島憲市▲鐵道部 營業課長（正）工務課長、聯運課長（副）▲地方部次長（正）地方課長、武田胤雄（副）▲奉天事務所 押川一郎（通譯）角田壯次郎

二、大連市内における接待一般 總務部林顯藏、鐵道部旅館事務所長

三、大連市内における迎接同乘 リットン卿附（總指揮總務部金井囑託）アルドロヴアンデー伯附（上海事務所江間江守）クローデル將軍附（鐵道部聯運課長）マッコイ將軍附（地方部武田胤雄）シユネー博士附（總務部調査課長）アース氏附（奉天事務所押川一郎）

四、社内線列車乘組（運輸關係を除く）總指揮▲總務部金井囑託、小島憲市▲鐵道部聯運課長、營業課長、旅館事務所長、木暮寅▲地方部武田胤雄▲奉天事務所押川一郎、渡亮之助、助手總務部長谷川泰造、鐵道部角田壯次郎、上海事務所江間江守、寫眞班總務部佐藤政吉、當理正司、西島寅五郎、芥川光藏、早川一郎、伊藤順三、小川亮三

四、軍部關係 鐵道部小谷重一、

五、連絡係調査課長、總務部渡邊諒

五、社外線列車乘組（運轉關係を除く）總指揮▲總務部金井囑託▲鐵道部聯運課長、營業課長、角次郎、關係各顧問、寫眞班

六、連絡係（奉天に本據を置く）總務部調査課長、渡邊諒、奉天事務所押川一郎

七、本社連絡係 總務部外事課長、星菊治、菊池清

八、大連方面新聞係 總務部宮本通治、大宰松三郎

支那側隨員顏觸

確聞する處によれば秦皇島より支那軍艦にて大連へ向ふ支那側國際聯盟調査團隨行員顏ぶれは左記二十三名であらうと

顧維鈞、劉公使子楷、佩某、景斌、殷雨璋、蕭繼榮、ドナルド、ヒユージー、鄒恩元、陳立庭、才公振、鮑靜安、張偉斌、沛、揚康衍、旋秘書、李秘潭、顧川孫、游强堅、顧儀、陳宜根、顧執中、謝恩增

尚右人員より或は減ずるやも知れずと

奉天記者團
山海關へ向ふ

奉天に待機中の記者團十餘名は二十日午前六時半發、奉山線にて木内領事、軍部關係者その他と共に聯盟調査員一行出迎へのため山海關に向つた【奉天電話】

關東廳の接待
事務開始

聯盟調査員出迎へのため關東長官代理として小坂秘書官その他河相外事課長、日下内務局長、森本警務課長、御影池文書課長、田邊調査課長などが二十日午後一時旅順發來連するが、大連ヤマトホテルの一室を借り受け事務室を設けて聯盟調査員一行の接待に關する事務を執る、既にその先發として早朝御影池文書課長、森本警務課長が來連した、なほ委員一行の旅順行は奥地の調査終了後に豫定されてゐる

海路組着連
遲延事情

聯盟調査團一行の來連遲延の原因は左の二點によるものと見られてゐる

一、北平十九日午後十時廿五分發の調査團特別列車が天津を通過したのは廿日午前二時廿五分で非常な緩速力でありこの調子の速力を以てしては秦皇島に到着するのは早くとも廿日午前十時ごろになる、またその時刻に到着するとしても食事荷物の積卸を加算すると出發は當然午後ならう

もし一行の列車が山海關まで行し同地で三班に別れるとすれば奉天から出迎への特別列車到着時刻が廿日午後六時ごろになる豫定であるため海路班陸班をホームに置き去りにして秦皇島に向ふとは想像されず出列車の到着を待つものとすれば依然海路組の出發は豫定より遲れることゝなる

米國公使南京へ赴き停戰會議續開を勸告
多分廿二日再開の運び

【上海二十日發】ジユネーヴの特別委員會の決議案に對し支那側はなほ之に對し反對を表示する模樣であり、之がためランプソン公使等四國公使は會議續開の遲延を慮り協議の結果、ジヨンソン公使に對し南京に赴き、南京當局に勸説する事に決し、ジヨンソン公使は昨日非公式南京入りをなつた譯である、之がため二十日續開を豫想された本會議も尚一、二日の延期の已む無きに至つたと觀らる、而してジヨンソン公使は本日中歸滬するか否か不明である

【南京二十日發】米公使ジヨンソン氏は昨日午後當地着と同時に羅文幹を訪ひ停戰會議續開を勸告しランプソン公使より依賴されたと同樣勸告を取次いだが、**羅文幹は之に答へ既に郭泰祺が上海に赴いたから近く續開されるものと思ふ**若し日本が國際聯盟の精神を遵守して撤兵の時期を明示さへすれば問題はない譯だ、之をランプソン公使にも申し傳へられたいと述べた

【南京十九日發】アメリカ公使ジヨンソン氏夫妻は飛行機で突如上海から當地に飛來し國民政府要人を訪問し停戰會議に關する南京政府の眞意を聽取し意見の交換をなした、同公使は明日か明後日上海に歸るが**停戰會議再開は二十二日**になるだらうと語つた

日本軍撤收時期
混合委員會で決する
聯盟委員會決議案可決

【ジユネーヴ十九日發】十九國委員非公開會議は本日午後四時四十五分開會、本日の起草委員會で脱稿された決議案、**即ち日本軍の撤兵時期は日支兩國代表を含む混合委員會にて多數決でこれを決する旨**を滿場一致可決した

コムミユニケ發表

【ジユネーヴ十九日發】非公開會議後委員會より左のコムミユニケが發表された

聯盟臨時總會によつて任命された特別委員會は起草委員によつて提出された決議案草案に同意しイーマンス委員長は右草案を紛爭國代表に通達するやう命令せられた、なほ右決議案草案は十九國委員會公開會議において檢討せらるべきものなり

停戰問題決議案内容

【ジユネーヴ十九日發】本日午後四時半より開かれた十九ケ國委員會は起草委員會より回附された上海停戰交渉に關する決議草案を全員一致で採擇し午後五時半閉會した、委員長イーマンス氏は右決議案を直に日本代表長岡大使支那代表顏氏に提示した、決議案左の如し

一、特別委員會は日支停戰交渉は飽まで總會の決議に從つて行はるべく、當事國のいづれの一方もこれ等の決議と牴觸する權利を有せざることを強ひるの權利を有せざることを考慮して停戰條項を審議し、これ等條項は總會決議の精神に適ふことを認め、特に本委員會は日本政府が上海租界外に占據した位置に撤退を實行することに同意せることを明記し、近き將來に撤退を行ふことを宣言し、一、三月四日總會決議は**日本軍が完全に撤退を終つた時においてのみ初めて遵守せられたるもの**と認むることを宣言す

一、提案された協定は混合委員會を設定を條件さするもので混合委員會は日支兩國軍隊の相互撤退を確實にするさ共に、日本軍から支那警察への撤退地域引渡協力し、支那警察は日本軍撤着してからだ、會議は決して決裂した譯でないから開かうさ思へば何時でも開ける、ジユネーヴの總會の委員會で修正案が採擇されたやうだが未だ正式報告に接しないか

（以下本文判讀困難）實行を監視すべしとの事實により滿足を以てこれを認めるよりも協定案第一、二、三條の履行に關し全會一致を缺く場合には附帶條項四により議決の裁決投票權による多數決によつて有效となる

督の委員會の權能は附帶條項に規定された權能に等しきこと、且つ該協定は本委員會が當事國一方の請求により日本軍の適當なる撤退時期を宣言し得る

滿蒙の天地
今後は益々多事
同胞に一層の緊張を望む
けふ赴任の大谷中將語る

今回陸軍歩兵學校長に榮轉の旅順要塞司令官大谷一男中將は家族を纏め廿日出帆うすりい丸にて新任地へ向け出發、埠頭には旅大各方面知名士並に軍部方面より多數の見送りがあり滿鐵よりは内田總裁夫妻も船内まで見送つたが、大谷中將はサロンにおいて語る

自分は昨年の十月丁度事變の最中に來任した、その後約半歳だが、今や滿洲には黎明が訪づれ春陽と共に滿洲の天地は明くなつた、しかも日本の生命線たらしむるには前途まだ〳〵遼遠の感が深い、新しい樂土を建設するには、どうしても官民一致をもつて將來ますます努力すべきだと思ふ、當地を去るに臨み速かに樂土の建設されん事をのぞむ、日露役後廿七年の間事變前までは何等見るべきものを見なかつたが、これは國民の滿蒙に關する關心が今日の如く眞劍でなかつた爲と思ふ、さにかく日本人の國民性は熱し易く冷め易いがこの機會に更に緊張すべきだ、一段落を見たさはいへこれからます〳〵多事多端と思ふがこの際去る事は殘念で堪らぬ、皆樣によろしく（寫眞は船中の大谷中將（左）と内田總裁）

米長官活動
決議案訂正の裏面

【ジユネーヴ十九日發】スチムソン、サイモン、イーマンス三巨頭は本日の起草委員會を前に午後一時事務局廊下で密かに立話をして注目を惹いたが確聞するにこの簡單な立話が決議案中に日本軍撤收に關する字句を強める結果となつた、卽ち草案原文には日本軍撤收は出來るだけ速かになる字句ありしもスチムソン氏の意見により

平常狀態問題は承諾し難い
郭泰祺代表の意見

【上海二十日發】郭泰祺代表語る

停戰會議續開の期日は未だ決らない、國際聯盟の決議案の詳報が到着してからだ、會議は決して決裂した譯でないから開かうさ思へば何時でも開ける、ジユネーヴの總會の委員會で修正案が採擇されたやうだが未だ正式報告に接しないから批評は出來無い、若し傳へらるゝやうに決議案中に上海が平常狀態に回復したらとあるなら之は政治問題に亘るから我國としては絶對に承諾し難い、この點は既に南京から顏代表に通じてある政府の方針は決定して居り極めて明白だ

日本側の受諾は困難
長岡大使本國政府に請訓

【ジユネーヴ十九日發】長岡大使は總續委員會終了後、十九日午後六時半事務局でイーマンス議長から決議案を手交された、イーマンス議長は本案は未定稿なるを以て日支兩國側の意見により幾分の修正は差支なき旨を附言し、**尚兩國の承認あれば大體二十一日頃公開會議で正式に決議案を採擇したしと希望**した、日本側では意見を添へ直に政府へ請訓の手續を執つたが、決議文は日本としてはその儘受諾し難き事明白で就中日本軍撤收時期の認定方法を**混合委員會の多數決を以て足れりとせるは、**日本が時期尚早と認めてもなほ撤收を強要さるべき場合があり、その他數所に**完全撤收といふ字句を反覆使用**し又現地交渉にて困難の生ぜる場合之を十九國委員會に持込む事を明記せるなど全體として**イーマンス案がベネシユ案に押えられた**との印象が一般に深く外人間にも日本の硬化を憂慮する向が尠くない

委員會の撤收時期決定には絶對反對
重光公使の强硬意見

【上海十九日發】重光公使、植田中將、田代、島田兩參謀長等は十九日午後三時から日本總領事館公使室に會合、再開會議に臨む我方針につき協議したが、南京に歸つた郭泰祺は國民政府首腦部と打合せの上、二十日正午頃來滬の筈であるから會議は一兩日中再開、まづ軍事小委員會を開き停戰交渉本會議となる模樣であるから、我方としてはそれ迄に終了すべき十九國委員會の結果を待つて具體的方針を建てるに決し午後五時半會議を終つた、重光公使は語る

支那が日本及び中立國側に一言の相談もなく停戰交渉問題を聯盟に持出した事は不信極まる行爲で、停頓の責が支那側にある事を立證するものである、十九國委員會の決議が停戰會議に持出されるか否かは其時にならねば解らぬ、我方としては右決議がどうあらうと既定方針で主張を貫く事に決してゐる、我最終撤退期を混合委員會に委す事は絶對反對だ

るここ、而して**現地の混合委員會の決定は總て委員の全會一致の投票により決せらるべきこと**を希望し、蓋し若し全會一致を缺く場合には附帶條項四により議決の裁決投票權による多數決によつて有效となるここ

一、兩國に停頓中の交渉再開を督促し且つ上海に特殊利害關係を有する列國政府に對し右目的のため引續き援助を與へられんことを懇請す

一、總會決議によつて規定された**協定不成立の場合には事件は再び總會の問題となる**ことを特に指摘す

一、上海に特殊の利害關係を有する列國に對してはそれ等列國の**現地混合委員會代表から接受する情報を聯盟に移牒すべき**ことを懇請す

郭泰祺歸滬

【上海十九日發】郭泰祺は午後密かに上海に歸還したが、二十日中に重光公使に會見し交渉再開の提議をするか又はイギリス總領事館で四國代表重光公使と非公式會見をなするものと見られてゐる

現在のところ三時までに開かれるか否か未だ決定しない

長岡日本代表
イ議長と會見

【ジユネーヴ十九日發】長岡代表は十九日午前十一時二十分ポンクール氏と議長室において會見し、十九國委員會に對する日本の態度を説明し諒解を求め、次でイーマンス議長と會見し停戰交渉現地主義と撤兵問題につき諒解を求めた

イーマンス氏は之を「近き將來において」と訂正したものである、右の訂正は唯一の大なる變更でスチムソン氏のジユネーヴ着以來最初の具體的行動の結果である

小委員會けふ開催未定

【上海二十日發】停戰會議小委員會は本日午後三時から開催の豫定であつたが、今朝支那委員は本日浦東に保安委員會が開かれ出席の要があるから小委員會は明日にして呉れと申し込んで來た、英武官は支那側通知に憤慨し浦東の保安委員會と停戰小委員會と何れが貴國に重大なりやとその使者を叱りつけ本日の開催に努力してゐるが

上海工部局
抗日彈壓

【上海二十日發】日華紡績工三千は同工場の操業開始を通告したに拘らず日本軍の完全撤退前は就業せずと頑張つてゐたが工部局は上海市長の名により十九日午後突然職工組合本部を封鎖し反日運動に彈壓を加へた、これは上海當局が今後執らうとする抗日運動對策を反映するものか否か判明しないが、その眞意並びに今後の態度は頗る注目さる

河南省南部の共產軍跳梁
被害民三百萬に上る

【漢口十九日發】最近河南省南部における共產軍の總兵力は約八千の跳梁甚だしく被害地の窮民は三百餘萬に上つてゐるがこれ等窮民は食を求めて平漢線沿線各地に掠奪暴動を起しつゝあるいはれてゐる

軍費二百萬元の支給を要求したさ

共產軍漳州を占領

【香港二十日發】漳州は十六日共產軍に占領され張貞軍は海澄に退却した

共產軍に備ふ

【厦門十九日發】近來頓に跳梁甚だしき共產軍に備ふべく福州からの一個大隊及び各地より召集せる各部隊は十九日厦門に到着したが目下厦門には英巡洋艦一隻米驅逐艦一隻日本驅逐艦三隻が碇泊中である、支那當局は外人に對し漳州に歸る事を當分延期されたいさいふてゐる當地共產軍は實は採運仲の部下で給料不渡りのため騷ぎを起したものであるが採は省政府に

滿鐵新社員の配屬決定

滿鐵の本年度新規採用社員の各部への配屬は人事課と各關係箇所さ協議の結果左の如く決定し二十日附社報にて發表した

▲總務部六名▲監理部三名▲經理部四名▲鐵道部四十一名▲地方部十二名▲商事部四名▲技術局四名▲撫順炭礦十八名

市委員新任

大連市役所では常設委員及び臨時委員中の恩田、關、岡野、津久井、二村、横田、山中各委員が死亡、轉出等により消滅または辭任したのでこれが補缺として關東州市制施行規則第五十條第二項により十九日左記の者を推薦任命した

▲學務委員相川米太郎、邵慎亭、品田直知、重松與八▲社會事業委員牛島滋▲特別事業委員入江正太郎▲臨時市場委員大和田鋼一

獨も滿洲國承認か
奉獨無電開始を申込む

獨米無線電話開始の報にドイツも亦奉天無電局に對し奉獨無電を開始せんとドイツ領事を通じ協議方申込んで來たが、之が成立せばドイツも滿洲國を承認すると觀られてゐる【奉天發】

八田副總裁
廿六日東京發

【東京二十日發】八田滿鐵副總裁は來る二十六日午前九時東京驛發列車で赴任の途につくことゝなつた

八田滿鐵新副總裁は廿五日東京發廿七日神戸出帆うすりい丸にて來任の途に就くことに決定せる旨二十日本社に入電があつた

松山本社長微恙

松山本社長は去る十二日内地より歸連したが爾來中耳炎の氣味で引籠り中の處經過極めて良好でこゝ一週間後には全快出社する筈

人事

▲阿久津國造氏（北海道帝大教授）廿日入港ばいかる丸で大連に
▲河合務氏（旅順工大教授）同上
▲山口喜久一郎氏（和歌山縣會議員）同上
▲山田紹之助氏（北海道帝大教授）同上
▲近藤孝太郎氏（海外移住組合聯合會主事）同上
▲小野猛氏（遞信省管船監理課長）同上
▲勝矢信司氏（長崎醫大教授）同上
▲土肥顯氏（滿鐵人事課長）同上
▲山口啓三氏（郵船大連支店長）同上
▲栗原鑑司氏（中央試驗所長）同上
▲佐賀房吉氏（獨立守備隊歩兵中尉）同上
▲大谷一男氏（歩兵學校長陸軍中將）廿日出帆うすりい丸で内地へ
▲新城新藏氏（京都帝大總長）同上
▲富田啓吉氏（前大連民政署庶務課長）同上
▲富田啓吉氏（前大連民政署庶務課長）家族同伴郷里に一時歸省したが約一ケ月の豫定で歸連するさ
▲山崎元幹氏（滿鐵總務部次長）十九日夜奉天より歸任
▲佐堂早雄氏（滿鐵理事）廿日廿時着列車で歸連の筈

東京で出したくさいはれる内田伯の慰留電報がこちらには一向來ぬ、はてな？

◇

北平に立往中であつた聯盟調査團一行、愈々來滿の途に上る。

◇

顧維鈞果して來るか？顧は狐にその音通ず、誰かされまいぞ。

◇

而も彼はたゞの狐（顧）ぢやない、虎の威を藉る狐だ、油斷あるべからず、と、但しこれは此處（滿洲）の人達の言分。

◇

調査團が滿洲國を閑却するさて滿洲國側は不滿、リットン卿だけが顧と共に支那軍艦に乘るので一層不滿。

◇

この感情の惡化を一體何う裁く、顧は來るは來ても虎尾を踏む思ひだらう。

◇

社民黨の分裂、各種新黨樹立の機運、ファッシズ的傾向等々、わが政界も今や一大轉機に際會す。

◇

この際における政民兩大政黨の協力說は、取りもなほさず、既成政黨の防波運動である。

空翔る勇士と 陸馳る鐵道隊來る
けふ瑞光丸から上陸

新たに選ばれて滿蒙の守りに就くべく滿洲駐劄を命ぜられた飛行隊鐵道隊の○○○名は御用船瑞光丸にて二十日早朝來連、直に甲埠頭九番バースに繋留、午前八時より上陸を開始したが、この日は絶好の春日和、二つのブリッヂから續々上陸する勇士は緊張しきつて頼もしい、篠原直夫中尉に引率された飛行隊は廣場右側に、左側には○○長内田壯一大佐の引率する鐵道隊の兵員がキチンと整列するこれに對し熱誠な出迎への市民の群はグンぐ増え學生團の軍歌のコーラス大太鼓の響き盛んな歡迎ぶり、先づ小川市長はこの頼もしい勇士上陸に對し心から歡迎する旨を述べ邦家の爲一入盡されんと切望してこれに對し輸送の任に當つた内田大佐はハッキリした語調で

多忙の折柄かゝる盛大な出迎を深謝する、幸ひ選ばれこの名譽ある滿洲駐劄を命ぜられたが粉骨碎身邦家のため努力をいたし我國の生命線の確保に努力するつもりで居るよろしく

と答辭を述べ終るや怒濤の如き萬歲のさゞろき、さしもに廣い甲埠頭廣場を壓するの感がある、かくて上陸萬端終了と共に准士官以上は埠頭待合所内の貴賓室において市主催の冷酒にカチ栗、するめの接待を受け市有志と乾盃を交す

なほ兩部隊は關東倉庫に一泊の上鐵道部隊は二十一日午後六時飛行部隊は同日午後八時半列車にてそれぐ任地に向け北上する

鐵道隊出身者が 幟を立て、歡迎
曾つて滿鐵囑託將校だった 内田大佐と佐藤少佐

廿日御用船瑞光丸にて上陸した鐵道部隊の隊長内田壯一大佐並に○隊長佐藤貫少佐は共に曾て滿鐵囑託將校として在任したことがあるので各方面とも朋友知己が多く上陸と共に「お目出度う」「御苦勞です」と感謝と感激の言葉を浴びせられてゐるが同時に滿鐵現業の人達の中には鐵道隊出身者多く從つてこの部隊を出迎への連中はのぼり迄立て歡迎するところあつた

吉林省の兵匪 近く大討伐
滿洲國軍一萬餘出動

吉林省西北方地區に蟠居せる十餘の匪賊團討伐のため唐玉衛剿匪司令の下に約一萬二千名の討伐軍を編成し近く徹底的に是を剿滅する事になつた

現在の情勢では五家站、扶餘、長春嶺に夫々二千五百、青山に三百、新站に七百、洮巴站に七百、大孤家子に三百、于家站に五百、集廠に五百、增盛永に四百、社甲站に三百、南江口に百五十、西江口に二百、伯都訥に四百等約八千なり

なほ反吉林軍の敗殘兵にして魏兆江、王祿の率ゆる第八旅、李振生の第二十八旅、蓋谷祥の第二十一旅、王中秋の舊吉林軍訓練署所屬の各旅、鄭煥緑の獨立第二十二旅張計發の獨立第十三旅、要長存の第二十四旅、郝德の第一旅及び劉清黨の部隊之れに合流し勢力伸り

難きもの有るため滿洲國の討伐軍に於ても精兵を選つて之に當る事になつて居る

大刀會匪移動

【吉林特電十九日發】敦化東方約四邦里の孤山子、黃土腰子、大名と敦化南方黃泥家子を根據とする大刀會匪約百名は合流して吉敦沿線二道河南方一邦里の大青背に向ひ前進中であるが吉敦線を襲ふもの、如くである

扶餘縣城占領の 李海靑軍を討伐
滿洲國軍徒步で進擊

扶餘縣城は遂に李海靑一派の占領する處となつたので吉長警備司令部は農安駐屯の騎兵第一旅長劉王混に討伐命令を下し同軍の步騎砲混成約三千は既に鄰門より陶賴昭に軍用列車で到着それより徒步で進軍中である【長春發】

王德林軍討伐

【吉林特電十九日發】大荒溝を根據とする王德林の部下約四百橫行して往來のもの、金品强奪を盛に敢行しつゝありとの情報に接した呉營長は二個連を率ゐて討伐のため出動の準備中である

戰車隊吉林へ

過般農安における李海靑匪軍の討伐に際し多大の機能を發揮した關東軍戰車隊はその後長春において待機中であつたが、二十日午前八時發列車にて白武大尉ほか○○名は吉林に向け出發した【長春電話】

視察を終へて 京大總長歸る

京都帝國大學總長新城新藏博士は陸路朝鮮經由來滿新滿洲國各方面を視察中であつたが二十日出帆うすりい丸にて歸國の途に就いた、離滿にのぞみ語る

朝鮮を廻つて七日に滿洲に入り奧はハルビン、チチハル迄廻り長春、奉天では新國家の首腦者とも面會し執政にも面接の機會を得て非常に效果的な旅行をした、元來京大は滿洲國の建設と共に各專門々々で教授連を入滿させ色々研究調査させてゐるが何等かの形になつて現はれる事と思ふ、まだ新國家も建設當初の事で色んな意味で研究し調査しなくてはならない事が多い樣に思つたが一つには在滿邦人の努力によつて隣邦滿洲國の健全なる發展に力を添へる事が必要だと考へる

博士はサロンで内田滿鐵總裁夫妻の見送りを受けたのち岸壁からあがる同校卒業生等のさかんな別辭を浴び甲板上から帽子を振りく離滿した

旅大一流選手 廿九名出場
フル・マラソン締切り

本社主催の本社前然大嶺間往復フル、マラソンは愈々廿四日午後一時より開始されるが、十九日申込みを締切つた結果、左記旅大一流選手二十九名の參加を見た前年に比し參加の減少を見たが、今回は特に來るべき世界オリンピック大會日本豫選會の滿洲豫選とも見做されて居るのでその質に於ては前年より優つて居り滿洲新記錄が期待されて居る

(1)渡邊逸(滿鐵大連驛)(2)久保田清(國際運輸)(3)初瀨美吉(滿鐵埠頭)(4)德本永義(大連)(5)志水政市(遞信局)(6)近藤庄作(滿鐵埠頭)(7)金龍甘(大連二中)(8)市村要三(大連二中)(9)濱田常盛(滿鐵鐵道部)(10)大島井直人(關東廳)(11)中村茂作(關東廳)(12)三越賀美一(關東廳)(13)大塚久雄(遞信局)(14)中江一男(大連)(15)川村文雄(旅順一中)(16)福永健三(旅順一中)(17)米岡律(旅順一中)(18)内野眞(旅順一中)(19)橫佩紋勝(旅順一中)(20)東力正夫(旅順一中)(21)橋本壽一(旅順一中)(22)立石義鐘(旅順一中)(23)關戸年男(大連)(24)加藤恐兒(ヤマトホテル)(25)浮田京一(大連一中)(26)木村信次(大連商業)(27)泉潔(大連一中)(28)岡崎藤男(大連一中)(29)佐藤俊司(大連)

事變以來奮戰した われらが凱旋勇士
第十六、二十九聯隊除隊兵來連

多門中將麾下の第二師團第十六聯隊(遼陽駐屯)第二十九聯隊(奉天駐屯)の滿期除隊兵約八百名の勇士は輸送指揮官市川基三郎大尉引率の下に二十日午前十一時三十分大連驛前臨時列車で凱旋來連した、今次の事變突發以來最近の東支東部線の匪賊討伐まで轉戰實に七ケ月餘胡風吼ゆる北滿の曠野に銃をとり惡戰苦鬪したその面しは日に燒け雪燒けのした面に雄々しくも輝いてゐる、列車が驛ホームに入るや出迎への市民數千は一齊に日の丸の小旗を打ち振り萬雷の如き萬歲の聲を浴せかけたが出迎へる者、迎へられる勇士共に感激の涙を流さずにはおられなかつた停車と同時に凱旋勇士はホームに整列、市川大尉の指揮で行進を開始關東倉庫に入つたが市川輸送指揮官は語る

事變突發當時十六、二十九兩聯隊は各々駐屯地たる遼陽、奉天にゐましたが直ちに戰鬪に參加して以來殆んど數へ切れぬ程の戰鬪に參加してゐます、この度滿期除隊の兵こそ眞に千軍萬馬往來の勇士であります、この間或る時は身を切る如き寒氣と戰ひ或ひは兇暴飽くなき匪賊と戰ひ、幾多の上官戰友を失つたのでありますが幸ひにして天皇陛下の御稜威と同胞の火の如き後援とを以て帝國陸軍の名を中外に發揚するを得まして今日皆樣の華々しいお出迎へを受けて凱旋するもの八百餘人であります熱誠あるお出迎へには何とも感謝にたへません、どうぞ貴紙を通じてよろしくお傳へ下さい

なほ本日到着の勇士は二十一日午後三時出帆の瑞光丸で母國へ歸還

寢込を襲ひ 偉い人の紹介狀
新社員採用試驗から 土肥滿鐵人事課長歸る

專門學校以上卒業新入社員採用試驗のため約一ケ月間上京中であつた滿鐵人事課長土肥顯氏は廿日入港はいかる丸で歸連したが肥大濕容の氏も流石に永い試驗苦の氣疲れを多分に見せながら語る

いや着いた日から訪問客が寢込を襲ふものだから歸るまでには四度も宿屋を變つたが實際閉口した、それが皆偉い人の紹介狀を持つてゐるのだ、僕と大淵支社長は恐らく惡まれ者になつてゐるだらう、一體に今年の受驗者は氣が弱くて何とかして採用されたいといふことに一生懸命のやうだつた、然し皆非常に正直だし採用者は少なく共恥かしくないのを揃へた心算だ、そして僕は全部の採用方針を二つに別け半分は成績本位、半分は成績は第二段として身體と精神の好いのを採用して來たから採られて意外に思つてゐる者もあるやうだ、身體の好いのは現場に出すことになつてゐる、運動選手は鶴田をはじめ大體新聞に出た通りで他に相撲の大將や渡瀨といふ東北帝大出の五段などがゐる、滿鐵は身體の好いのを採るといふ噂があつたので運動の大將ばかりが集まつた、受驗者の滿洲知識は割合確だつた、歸ればまた中等學校の試驗だが自分が採用したものが成績が好いやうにとそればかりが氣懸りだとにかく試驗官は皆んな忙しい日を送つたので僕は櫻など東京を發つ最後の日にやつと一日見ただけだつた

寫眞說明
（上右）けふ午前十一時半大連驛着列車で來連した凱旋の除隊兵（上左）瑞光丸で來連した篠原飛行隊長（下）鐵道聯隊出身者に迎へられて上陸した内田鐵道隊長

工業化學會の 滿洲支部を設立
發會式には關係者を招待 栗原中央試驗所長の土產

滿鐵中央試驗所と内地各研究所、試驗所との研究の連絡その他の要務を帶びて内地に赴いてゐた栗原滿鐵中央試驗所長は家族同伴二十日入港はいかる丸で歸連したが語る

内地の研究所や試驗所で滿洲の資源を研究材料にしてゐるものが隨分あるのでそれ等と將來研究の連絡をはかるため各大學、大都市、鐵道省などの研究所、試驗所を實地視察打合せして來ましたが、大體圓滿打合せを終りました、お土產としましては今度の工業化學會總會で滿洲支部を作ることに決定しましたことで私もその支部長に選ばれました、そして發會式は七月の二十三、四日ごろにやりますが同時に同會の地方講演會も開きその機會に先程の滿洲の資源を以て研究してゐる内地研究者に出來るだけ多く滿洲に來て戴き實地視察をしてもらふほか座談會を開いて滿洲の研究者との連絡をはからうと思つてゐます、幸ひ關係方面の了解は得て來ました、工業化學會員は約三千名内地の同工業方面に關係する實業家、學者を全部網羅してゐます硫安問題も仲々内地業者との協定が容易でないやうです、オイルシエールの擴張や石炭液化の工業化は海軍では希望してゐるやうですがまだ具體案は出來てゐません、然し勿論研究は相當好成績をあげてゐます、中央試驗所の無機化學科長の人選は大體決めて來ましたが未だ發表は出來ません

北海道大學から二教授來る

北海道帝大工學部長山田紹之助博士は同校教授阿久津國造博士と共に二十日入港はいかる丸で來連したが、兩博士は來滿について交々語る

工學部の方はまだ五回位しか卒業生を出してゐないので餘り澤山校友は居ないと思ふが、大抵のところに一人二人は居るからそれ等の者とも面會し更に今後學校の卒業生の發展について色々話し度いと思つてゐる、長春ハルビン邊まで行くが新國家の人達とも會つて研究の材料を提供して貰ふ

東支の罷業 未然に防止
引續き嚴重に警戒

東支鐵道從業員の總罷業は日滿兩官憲の機敏なる活動で事前防止に努めた結果幸ひ事なきを得てゐるが何時爆發するやも計られ難き不穩の兆あるに鑑み引き續き嚴戒中である【長春發】

反吉林軍 方正占領

【ハルビン特電十九日發】方正における吉林軍は反吉林軍との停戰交涉成立してゐたが、十八日反吉林軍は俄に攻勢に出で方正は完全に占領された、反吉林軍の首領丁超は十九日朝在哈擁護軍本部に左の如き人を喰つた電報を寄せた

方正の占領は我部下が命令を過つて行つたものであるから直に撤退する、速かに接收され度い

橫道河子以東 列車運行停止

確報によれば東支鐵道東部線橫道河子以東は叛亂軍の跳梁で十八日夜より列車運行を停止してゐると

太平洋橫斷の 練習耐空飛行

【東京十九日發】ワンストップによる太平洋橫斷を計畫し目下霞ケ浦航空隊に於て猛練習中の本間清、馬場英一、石田義智の三氏は使用機第三日米號により十九日午後三時四分霞ケ浦飛行場を離陸し天候に異常なき限り二十日午後四時過ぎまで立川、狹田、下志津、霞ケ浦等の上空を旋回飛行し續け二十五時間以上の無給油耐空の本邦新記錄を作ることゝなり目下飛行中である

ショート葬儀
廿四日虹橋で

【上海十九日發】エリザベス夫人到着によりショートの葬儀は二十四日虹橋に於て擧行するに決定した、ロバート葬儀準備委員長の手により近來稀なる盛大な支那式葬儀が擧行される筈で當日は米支人操縦の飛行機が同飛行場上空から花環を投じボーイスカウトも參加の豫定である

沙河口も華 娼を俳優に

貸座敷業及び抱娼妓名義を廢止し料理店、俳優と制度を變更し、去る四月一日より實施した小崗子署と同樣沙河口署でも管内王陽街四町方面の支那料理店廿四軒の抱酌婦を俳優に改むべく十九日それぞれ樓主に對し命令書を發したが現在同署管内料理店二十四軒には酌婦五十餘名であるが右實施されれば二百餘名に達する見込である

高橋元辯護 士告訴さる

元關東州辯護士會辯護士市内若狹町百十九番地高橋源市氏は貔子窩西町田仲關男氏から詐欺橫領の告訴を二十日大連署に提出された訴面によると高橋氏が辯護士開業中の昭和五年十一月十九日同氏に訴訟事件を依頼し印紙代、辯護手數料として百五十圓を渡した、然るに一度も訴訟の手續を取らず其後住所すら明さず逃げ廻つてゐるといふにある

總裁、昌光硝 子工場を視察

内田滿鐵總裁は廿日午前十一時大谷中將、新城京大總長を埠頭に見送つた後、政子夫人同件で沙河口の昌光硝子工場を視察した

遼陽驛前小火

十九日午後五時三十五分遼陽驛前滿鐵地方事務所の二階保線區事務室から出火、警察署、滿鐵消防隊、衛戍病院消防班、警防組などが驅けつけ消防につとめたる結果大事にいたらず六時五分鎭火した、原因は目下取調べ中【遼陽電話】

多門○團長 遼陽凱旋
けさ哈市出發

【ハルビン特電二十日發】ハルビン入城以來、賓安、方正方面に轉戰、幾多の武功を樹てた第○團司令部は姫路○團に引つぎを終り二十日朝五時多門○團長以下司令部員は在哈各部隊および在留民の萬歲に送られてハルビン驛を出發遼陽に歸還した

遼陽聯隊出發

遼陽駐劄步兵第○○聯隊の滿期兵○○○名は十九日午後十時二十分發臨時列車で市川大尉に引率され歸還の途についたが驛頭には官民多數の見送りがあつた【遼陽電話】

大阪商船 (天氣豫報)
二十一日 西の風 晴れ一時曇

各地溫度

	二十日午前十一時	十九日最低
大連	一二、七	五、一
旅順	一三、九	四、二
營口	一三、二	二、五
奉天	一〇、七	二、七
長春	一〇、八	零下〇、八

けふの小相場（十一時）
金百圓は一七一圓丁度

武門血笑記（121）

下村悦夫作　布施長春挿畫

昭筆（一）

白井作樂は、端然と机の前に座つて、夜の更けるのも知らぬげに書面を認めてゐた。

行燈の灯に照らされたその横顔は、何時になく蒼ざめて、きつと引寄せた眉のあたりにも、一文字に結んだ口許にも、何事か深い決意の様子が見えてゐた。

柳原川岸で駿五郎からお梨花の話を聞いて以來、作樂の頭を惱ませてゐたのは、お梨花を助けねばならぬといふ氣持と、そのために萬一の事があつた場合を豫想して自分の公の使命を放擲しなければならぬ事に對しての深い苦みであつた。

作樂は十二の時から手をとつて自分を導いて呉れた師匠の恩を思ふと、どうしてもお梨花を見殺しにする氣持になれなかつた。穪馬が居て呉れたら……が、その肝心の穪馬の行衛は知れない。然もお梨花の命と貞操は、かうしてゐる間にも刻々に危険に瀕してゐる。さうだ、自分の公の仕事には、それに代る多くの同志がある、が、お梨花を救ふのは今の場合自分獨りしかない。それに充分の用意をして行けば、必ずしも命を失ふと決つた事ではない。

作樂はかう決心を定めると、ある重要な使命を帯びて牛込の尾張屋敷に住込んでゐる照枝の許へ、自分の胸中を書面で書き送る事にした。

作樂が今認めたゐるのは、その手紙であつた。

それには委しい事情を書いた後で――

（……若し明朝迄に小生の消息が不明の節は、最早この世に無き者として、その旨同志諸君に御傳へ下され度く、亦他日前記駿野穪馬なる者にお會ひの節は、この總き御傳へ下さる樣、右勝手乍ら日頃の御親情に免じて御願申上候早々頓首）

と、綴んでゐた。

作樂は手紙を書き終へると、我知らず眼頭が潤んで來るのを覺えた。

そこには照枝に對する何の愛の表現もなかつたが、作樂の心の底には、地の下に埋もれて春を待つ種子のやうに脈々として秘められてゐる深い愛が宿つてゐるのであつた。

作樂は店の若い者を呼んで、明朝それを照枝の許に屆けるやうに頼んで置くと、靜かに立ち上つて押入れの中から脇差しと、短銃を取り出した。

脇差は研味に於て當代隨一と云はれてゐる大和守安定一尺五寸、部屋の中で使ふには、その寸の詰つたのが、却つて重寶と、作樂の周到な用意。短銃は善右衛門から讓り受けた新式の連發。作樂は支度が調ふと、脇差しを腰に、短銃を懷中深く潜ませて、庭先に入りて、何時も自由に出入りの出來るやうになつてゐる裏木戸を押し明けて外へ出た。

空は星影一つ見えない荒れ模樣、墨を流したやうな暗闇である。

眼指す左内坂の主殿の屋敷へ着くのは、眞夜半時と、作樂は心の中で決めて、川向ふで戻り駕籠でも拾はふと、屋敷町の並んだ緑町の裏通りを、はやる心を押し沈めながら、兩國橋の方へ靜かな足どりで歩いて行つた。

河合ダンス　檢番總見　廿六日晝間に

來る廿五日から常盤座に出演する大阪名物の河合ダンスは全く舞踊藝術に生きる本格的舞踊團として河合ダンスを知る人々の間には素晴らしい期待と人氣を以て迎へられつゝあるが、近來ダンス熱の盛な大連檢番でも來る廿六日の春季運動會を利用して同日晝間河合ダンスの特別公開を三業組合で總見することになつた

月形プロは新興と提携

新興キネマに入社するとの噂のあつた月形龍之助は其後種々交涉の結果新興キネマ内に阪妻、寛壽郎等と同じ形式の月形龍之助プロダクションを設置し製作された映畫は新興キネマにて配給するとからしい。

……の契約がほゞ成立した行動を共にする俳優は高松錦之助他數名で助演者の大多數は新興キネマの後援を受ける事になつてゐると言ふ、即ち第一回作品は相手女優に新興より鈴木澄子の來援を得て吉川英治原作になる「神變麝香猫」を新興側の監督にて製作する事に内定した

サキ舞踊研究所童謡舞踊會

西部大連唯一の舞踊團體である田中佐々市氏のサキ舞踊研究所では創立一周年を記念する童謡舞踊會を來る廿四日（日曜日）午後一時より本社三階講堂に於て開催することになつた

嘆話

檢番の幇間、平公が請元となつて久し振りで色物が遊樂館にかゝるが▲東西落語音曲萬歳女道樂と並べ立て、春の笑ひと許り大切に座員一同のインデヤンダンスを持つて來て季節らしい寄席氣分を出してゐる▲また今夜から大連劇場も女歌舞伎の花柳春幸一座で蓋をあけるが▲映畫街はこの頃スッカリ意氣悄沈の態で、春の大掃除はやつて來るし▲競馬は近づくし頭痛の種が增える許りのところへ早く花が綻びそめた▲氣の早い連中今年の夏枯れが思ひやられるといへば、それだから早くトラストをデッチあげやうと掛合つてゐる

本社特選　新棋戰【其二】

平手　先四段△志澤春吉　四段▲建部和歌夫

【圖は三二金迄の局面】▼建部氏「持駒」ナシ

△志澤氏「持駒」ナシ

△七六歩　▲三四歩
△二六歩　▲八四歩
△二五歩　▲八五歩
△七八金　▲三二金
△二四歩　▲同　歩
△同　飛　▲二三歩
△二六飛　▲六二銀

【土居八段講評】▲建部君は後手番と雖も飛車を他方面に移したり或は角道を留めて指したりしては手損でしかも守勢に偏するから諸の如く居飛車の方針の下に合法的の意味に指し、そして直に飛先の歩を交換しては飛車の態度を極めなくてはならずそれでは作戰上味がないから六二銀と上つて對時敵の形勢を窺ふ意味に指したのは一策であらう。

【萩原六段解說】志澤氏の七六歩に對し建部氏三四歩と應じ以下七八金三二金は所謂相懸模樣になつたのである最も八四歩で四四歩と角道を留めて二二飛と向飛車又は四二飛と四間飛車等色々の作戰もある又四四歩の處五四歩と突き敵が二五歩なら五五歩と位を張り又二五歩で五六歩と應ずるも八八角成と交換して五七角と打込み力指とする趣向もあつてこの八四歩の處で後手は作戰を選ぶ所となるのである志澤氏の二六歩は先手の利を發揮せんとする常套手段である。建部氏の六二銀は比處では八六歩と指すのが普通であるが之れは同歩、同飛、八七歩と打たれたときに飛車を八二飛、八四飛又は三四歩と橫歩取とか更に角飛車の位置を定めその趣向が敵に明かになるので六二銀と模樣を見たらしい。

滿洲日報

調査團は山海關から三班に分れ入滿
十九日十時、北平を出發

【北平特電十九日發】聯盟委員並びに日本支那參與員一行の旅程は漸く決定し十九日午後十時北平出發山海關に向ひ、山海關にて三つに分れ左の如き行程をとることゝなつた

海路入滿の部

一、クローデル將軍(委員フランス)シユネー博士(委員ドイツ)パステユホフ氏(隨員)ジユブレエ氏(クローデル將軍の軍醫)の四氏は日本參與員並びに隨員一行と共に秦皇島より日本驅逐艦芙蓉または朝顏(何れも七五〇噸速力二〇節)にて大連へ

二、リツトン卿(委員長)ベルト氏(隨員)アスター氏(リツトン卿の秘書)吳某氏(聯盟協會支那支局員)リーヂヤー氏(タイピスト)ロバーツ氏(タイピスト)等は支那參與員と共に支那巡洋艦海圻(速力八節)にて大連へ

陸路入滿の部

マレスコツテイ伯(委員イタリー)マツコイ將軍(委員アメリカ)ハース氏(書記長)ヤング氏(法律專門家)アンヂエリノ氏、シヤレール氏(隨員)ブレイクスリー氏(マツコイ將軍顧問)ビツテイル氏(同副官)ノツクス氏、レイパービス女史、メイナード女史其他書記局全部は普通列車にて奉天に向ふ筈なほ日本驅逐艦で來連する一行は二十日は凪の豫定であるため大體午後二時か三時ごろ着連するものと見られてゐる

海路班昨夜大連到着

聯盟調査員一行搭乘の日本驅逐艦芙蓉、朝顏は二十日午後六時大連港着、支那軍艦海圻は午後十時大連港着の豫定、尚芙蓉、朝顏搭乘は聯盟側四名、日本側十五名、海圻には聯盟側六名、支那側二十八名搭乘すると

海路班の動靜
けさ九時頃奉天着豫定

來滿の途についた聯盟調査團一行の中、日本軍艦芙蓉、朝顏の二隻に分乘し秦皇島を出發したクローデル將軍(フランス委員)シユネー博士(ドイツ委員)及びその隨員、吉田大使(日本參與員)及び隨員等の一行は二十日午後五時二十分大連港外着、同六時半入港第二埠頭十番バースに横づけし直に上陸し關東廳、滿鐵、大連市役所その他代表者の出迎へを受け自動車にて星ケ浦ヤマトホテルに到り晩餐後休憩した、一方支那巡洋艦海圻に搭乘したリツトン卿(委員長)及びその隨員、顧維鈞(支那參與員)及びその隨員等の一行は午後十時頃入港の豫定であるが、この豫定通り入港出來るとすれば直に調査團一行全部大連ヤマトホテルに集合、打合をなした上、同十時半大連發の特別列車で北行し途中瓦房店、大石橋、遼陽、蘇家屯等に停車する外停車せず奉天に直行し二十一日午前九時ごろ奉天到着の豫定であるが、若しこれに間に合はぬ場合は當夜はヤマトホテルに一泊二十一日午前九時ごろ

一行到着豫定

大連發北行の豫定となつてゐる

總領事館に達した情報によれば

一、聯盟側四名、日本側十五名は朝顏、芙蓉にて二十日午後五時頃大連入港の豫定

二、聯盟側六名、支那側二十八名は支那軍艦海圻にて二十日午後六時大連着の豫定

三、聯盟側全部十二名は廿日山海關に一泊の後、廿一日早朝特別列車にて奉天に向ふ

四、第一、第二項の一行は廿日夜特別列車で直ちに奉天へ向ふ

五、支那軍艦海圻の入港遅れたる場合は大連に一泊

六、リツトン卿の希望としては出來る限り廿日中に奉天に向ふ

陸路班昨夜山海關着
けふ滿洲國列車にて入滿

【溝幇子特電二十日發】聯盟調査員マツコイ氏、マレスコツテイ氏等陸路組の一行は二十日午前十一時山海關に到着した、出迎へ列車は二十日午後七時山海關着の筈で、一行は山海關で滿洲國の出迎へ列車を待つて二十一日午前九時山海關發の筈

けふ錦州視察
奉天到着はあす夜八時

【錦州にて藤井特派員二十日發】二十日午前十一時山海關に着いた聯盟員米マツコイ、伊マレスコツテイ兩氏等一行より、天津より乘車せる支那側列車をそのまゝ奉山線へ乘り入れたき旨山海關守備隊を通じて奉山鐵路宛申し込んで來たが、出迎へ途中の奉山鐵路幹部はこれを拒絕、出迎へ列車の山海關着まで待たれたしと返電した、出迎へ列車は二十日午後七時山海關着、直に支那側と引繼ぎをなして調査員一行は列車内に一泊二十一日午前九時一行を乘せて山海關發午後五時五十分錦州着、一行は觀察後、車中に一泊して二十二日正午錦州發途中大凌河に下車視察の上、奉天着は二十二日午後八時の筈

陸路班の一行
長城を見物

【北平特電十九日發至急報】聯盟調査團リツトン卿一行は本日午後奉山線を陸路入滿する一行十二氏は二十一日朝山海關到着、小憩の後長城を見物して錦州に向ひ一泊二十二日夜奉天に到着豫定【奉天電話】

奉山沿線に歡迎のポスター
調査員を迎へる喜び

【錦州にて藤井特派員二十日發】聯盟調査員を迎へる奉山線一帶は既に歡迎氣分横溢してゐる、二十日午前奉天を出た迎へ列車が日本側案内役木内奉天領事、滿洲國民政部外事課長等を乘せ山海關へ赴く途中驛々には警戒嚴重なる滿洲國警察隊の佇立する中に滿洲國官民の貼り出した歡迎ポスターが色鮮かに春光を浴びてゐるは和やかである、曰くウエルカム、エンボイス、オブ・ピース(平和の使徒歡迎)ドーン、フロム、イースト、ピース、フロム、ジエネバ(曉は東より、平和はジエネバより)等々滿洲の眞相を世界に披瀝することによつて東洋の平和を齎らす重大な使命を持つ調査員一行を迎へる喜びはポスターの一字一句にも溢れてゐる

十時張學良以下多數の内外官民に送られて出發した、なほ南京政府より任命せられた支那側隨員全部張學良等により取替へられた

聯盟調査團を迎へて吾人の所懷を述ぶ

國際聯盟から派遣された調査員の一行は愈々我が滿洲の地にその第一歩を印することゝなつた吾人は玆に諸卿を歡び迎へて豫て久しく藏したる滿腔の期待を披瀝するの機を得たことを欣懷とする

吾人は國際聯盟が世界の平和に對する深憂と努力とに對して豫て共鳴し且つ感謝してゐる者である。併し乍ら聯盟が極東の事情に對して昏かつたといふことは吾人の最も遺憾とする所であつた。從つて滿洲事變に對する解釋乃至態度の如きも常に必ずしも正當であつたとは云ひ得ない。我等は或時はそれに對して義憤に似たものをさへ感じたことがある。

吾人の調査員一行に對する第一の期待はそれによつて極東の事情が初めて國際聯盟に明になるであらうといふことである。從つて我日本の心事、東洋平和の確立を計り民族共存の實績を擧げ以て人類文化の進歩發展に貢獻せんとする公明正大なる態度が初めて諒解されるであらうといふことである。滿洲に於ける日本の行動が其生存權の主張に基くものであり何人によつても些かも批難さるべきものにあらずといふことが承認されるであらうといふことである。それに依つて今後東洋に對する國際聯盟の態度がより適切となりより有効となり聯盟それ自身の權威をして更に重からしめその世界平和に對する貢獻をして更に大ならしめるであらうといふことである。

惟ふに調査員の報告は國際聯盟が今後滿洲に對する場合の經となるであらう。或はテキストとなるであらう。世界も亦これに基いて滿洲を見るであらう。これに基いて輿論は導き出されるであらう。從つて報告の結果は直に滿洲三千萬民衆の休戚に關し東亞の平和に關し世界人類の幸福に關するのである。若し一行にして其認識を誤るならば其禍の及ぶところ蓋し測知すべからざるものがあるのである。調査員の使命と責任とは實に重且大なりと云はればならぬ。

一行の使命遂行に就て最も必要なことは滿洲の地位及び實狀に對する正確なる認識を把握することであり、そのためには先づ先入主を清算することである。客觀的事實を直視することである。より根本的に云へば客觀的事實を通してその背後に横たはる實體を洞察することである。固より滿洲事件と云ふ如き事件の經緯を精細に調べるといふ丈けでは足りない。民族的に、經濟的に、地理的に、歷史的にといふ風に各方面から徹底的に硏究せられることが必要である。それでなくては永遠の平和を約束するといふ聯盟の大目的を達成することは不可能である。從つて萬一一行が表面化した事態の一時的收拾を急ぎ事務的技術的に手際よく之を解決しようとする如きことがあるならば、それは極めて悲しむべきことである。

聞く所によれば一行の在滿豫定は三週間であるといふ。その短期間を以て滿洲の實體を把握することは困難である。併し吾人は諸卿の高邁なる識見に安んじて依賴しようと思ふ。また日滿各機關は全力を擧げて諸卿に協力することゝ信ずる。願はくは諸卿が平和の使節としての名譽ある貴務を愉快になし終へて去られんことを

(寫眞右より、シユネー博士、マツコイ將軍、リツトン卿、クローデル將軍、マレスコツテイ伯、英文記事譯文)

A Few Words in Welcome of the League's Commission of Enquiry

The Commission of Enquiry and party from the League of Nations have set their first step on the soil of Manchuria to-day. In tendering our cordial welcome, let us avail ourselves of the present opportunity to give expression to our cherished convictions.

We highly appreciate, and are profoundly thankful for, the League of Nations' concern about, and endeavours for, world peace. However, it has been a source of deep regret on our part that the League of Nations is not thoroughly acquainted with Far Eastern problems. Naturally, the League's attitude to, and its interpretation of, the Manchurian Issue might be considered as not quite fair. It is admitted that, at one time, we felt something like righteous indignation.

What we expect of the Commission Members above all is that the naked truth of conditions obtaining in the Far East will be made clear to the League of Nations for the first time as the result of their inspection on the ground. At the same time, we believe that Japan's true intentions for securing peace in the Far East and consolidating the friendly relations among the different races, in order to contribute something to the promotion of welfare of mankind, in other words, her righteous and fair attitude will be reproduced in the right light. We believe that the fact that Japan's military operations are but the exercise of her right to exist and admit of no room for criticism by any party, will come to be fully appreciated. Then, the League's attitude towards the Far East will be more effectual, and the League itself will thus enhance its own prestige and do much more in the cause of world peace.

Here, we should like to point out that the report that the Enquiry Commission is going to prepare for presentation to the League of Nations will be made the basis, by means of which the League will handle Manchuria hereafter. The world, too, will look upon the district from the angle of the report. Naturally, the contents of the report have a grave bearing on the fate of the 30,000,000 Manchus, the peace in the Far East, and lastly the welfare of mankind. Should the Enquiry Commission be wrong in their grasp of truths, the consequences would be far-reaching. If we are allowed to speak our mind honestly, the Enquiry Commission's mission and responsibility will be of great moment.

The first requisite for the fulfilment of the mission is to have a clear understanding of Manchuria's position and its actual status. For this purpose, all prepossessions must be eliminated. Speaking more fundamentally, it is to have an insight into the essence lying veiled behind through objective facts. Needless to add, a minute and precise inquiry into the Manchurian Issue alone will be insufficient. A thorough study of the subject from racial, economical, geographical and historical angles is indispensable. Otherwise, it will be impossible for the League to accomplish its lofty aim to guarantee a permanent peace. Accordingly, should the Commission attempt, allow us to say, to judge the situation as it appears on the surface merely in a business-like and technical manner, nothing would be more deplorable.

We learn that the Commission's itinerary in Manchuria will extend over only three weeks. We might say that it will be hardly possible for the Commission to grasp the question of Manchuria in so brief a span of time. We leave everything open to the inspection of the Members and party of the Commission, in whose lofty ideas we repose full trust. In the Commission's work in Manchuria, the Japanese and Manchu Government institutions will heartily cooperate. We hope that the Commission Members and party, whom we look upon as Peace Envoys, will carry on their honourable mission with pleasure and profit.

調査團に歡迎文
滿鐵社員會から手交

國際聯盟調査團一行の來滿を迎へて滿鐵社員會では今回左の如き歡迎文(原文英文)を起草し郡幹事長より一行に手交することゝなつた

國際聯盟調査員諸卿を迎ふ

國際聯盟調査員來滿せらる八萬の家族を擁する二萬社員の結合團體たる我滿鐵社員會は、熱誠を以て諸卿を歡迎し、併せて玆に率直にその所見と希望とを披瀝せんとす

今回の事變に對する聯盟の態度には極東に關する認識不足甚だしく吾人をして問題の解決は到底聯盟に期待する能はざるの感を懷かしむるものありたり、然りと雖も卿等此度の實地踏査は問題の解決に對する聯盟の態度が一進境を示現したるものと認め卿等の任務に唯一の期待を掛くるものなり

吾等は滿鐵社員として、交通其他各般の文化事業の實際的方面に從事し、滿洲今日の隆昌に資する傍三千萬民衆と均しく生活の基礎を築かんとして、過去二十五年間原始未開にして政情又野蠻なる此の地に於て營々努力し來りたるものなるが、如斯我等が國際平和と住民の福祉とを基調とする滿洲國の出現を欣喜し且之が隆昌を冀ふこと切なる事實を充分認識あらんことを希望す

修正考慮の餘地無く重大決意表明か
請訓と外務當局の態度

【東京二十日發】外務省は長岡大使の請訓に對して愼重考究の結果、一兩日中回訓を發する筈で、外務省首腦者間では十九國委員會の決議案なるものは、最早修正提議等の生優しき方法をとるに値せず、日本當初の主張通り十九國委員會が如何なる決議をなすも、それは合法的に日本を拘束し得るものに非ずとの立場より、全然之を無視せんとする態度をとらんとする強硬意見有力である、卽ちその理由とする所は決議案四項目に對する反對のみならず、決議案全體がその根本的立場から支那側の主張のみを顧慮すると共に、小國の立場を尊重して作成されたもので、かゝる決議案により停戰交渉を繼續するといふが如きは到底日本の受諾し得る所ではないといふにある、よつて聯盟側が依然かゝる態度を繼續する限り日本としては愈々對聯盟重大態度を表明すべきではないかと觀られてゐる

聯盟側は受諾を期待

【ジユネーヴ十九日發】聯盟筋では十九國委員會決議には支那は無論應諾すべく、日本政府も大綱において大なる反對なかるべしと見、問題の撤兵時期の多數決認定に對しては實際問題として英、米、佛、伊四國が撤兵時期の熟せぬ中に、日本軍隊に撤收を強要しその後の事態に關する責任を日本に負はす如き意思を有せぬ事はサイモン英外相の言明によつて明白であるから、實際上には日本軍の行動を束縛する結果になる事は絕對に無いと解釋し、日本が大局から觀察して之を受諾するものと期待してゐる

日本軍撤收時期聯盟總會が決定
壽府委員會多數の意見

【ジユネーヴ十八日發】本日午後の委員會では上海に於ける今後の委員會が日本軍撤收決定を自己の責任に於てなすべきか否かが問題となつたが委員會多數の意見は今後委員會は撤收期日を提示すべきも最後的決定は聯盟總會がこれを行ひ斯くて聯盟總會が責任を執ると云ふに傾いてゐる

米國務長官聯盟會議に出席

【ジユネーヴ十九日發】風邪全快したスチムソン米國務長官は、本日正午聯會中の軍縮一般委員會の議場に到着、スペイン代表マダリアガ氏の長演說終るを待つてギブソン氏と同道議場に入る、アメリカ國務長官が聯盟會議に出席するのは之が初めてで議場の全注目を一身に集め、各國全權から握手攻

責任分擔に反對
米國務長官意見表明

【ジユネーヴ十九日發】廊下における立話の際、スチムソン米國務卿はアメリカ政府は聯盟が上海交渉の解決に關し、アメリカを含む混合委員會の報告を基礎とし、何等かの行動を執る場合に、アメリカ迄その責任分擔になる事は喜ばぬ旨述べたと傳へられてゐる

外相海相招待

【東京二十日發】芳澤外相は二十日午後五時四十五分海軍省に大角海相を訪ひ、日支停戰會議に關する聯盟十九國會議決議案の内容を報告し之に對する帝國政府の態度に就き種々協議を遂げために遣ひ午後四時四十五分議場を退出した

長岡大使奔走

【ジユネーヴ十九日發】午前中ボンクール理事會議長イーマンス委員會議長を訪問した長岡大使は正午更にチエツコ代表ベネシユ氏及びドラモンド事務總長と會見し、上海問題に關し日本の説明を反覆説明し決議案の緩和につき最後の努力をなした

米海軍委員會の豫算

【ワシントン十九日發】下院海軍委員會は本日下院に總計三億二千六百三十四萬弗の海軍々縮豫算案を提出した、軍令部長プラツト提督は語る

右案により米海軍の活動力は危險な範圍迄縮減された、之以上經費を縮小する事は不利である主力艦近代化の經費は百萬弗の削減を見た

小委員會開催期日
未だ決定せず

【上海二十日發】停戰會議小委員會の再開を極力斡旋中だつたイギリス武官は午後零時半遂に本日の開催を支那側が應ぜざる旨電話を以て我總領事館に通じて來た、支那側の再開を應ぜざるはジユネーヴの空氣が未だ決定ざるに一縷の望みかけてゐるためで、小委員會開催期日は未だ決定に至らない

スチムソン氏各國代表と會談

【ジユネーヴ十九日發】スチムソン氏は正午グランヂ氏と午餐を共にしヨーロツパ問題につき密談し午後にはニユージーランド代表ウオルフオード氏、南アフリカ代表ウオター氏と會見したが、共に極東問題につきスチムソン氏に懇請する處あつたものと見らる

ジユネーヴ軍縮會議場の一望

對佛戰備に新犠牲
伊政府海軍豫算

【ローマ十九日發】イタリー政府は下院に左の說明を附して海軍豫算七億二千五百萬リラを提出した、フランスは威脅的態度を以て海軍力の增加を行つてゐる、從つてイタリーは國家的威嚴と安全を保障するため新たなる犠牲を拂ふを餘儀なくされた

荒木陸相の時局談

【東京十九日發】荒木陸相は十九日午後九時四十五分東京發飛行第三聯隊及び第四師團その他を視察のため西下したが車中語る

内田總裁は國家多事の際留任されると自分は確信するが、その期間は總裁の自由意思によつて決せらるべきものである、滿洲國も順調に建設事業が進んでゐるやうだが、之が對策には十分注意してゐる、上海方面の支那軍も最早軍事的敵對行爲には出でまい、上海派遣軍も既に半數を内地に撤退したが、邦人の安全が確保されると觀れば圓卓會議の結果等に拘泥せず派遣軍全部撤收を斷行する考へである、しかし具體案は未だ出來てゐない、北滿方面の情勢如何によつては更に若干兵員を增加せねばならぬので研究中である

厦門排日戰備着々進む

【厦門十九日發】當地にても排日戰備を着々進め海岸の丘陵を利用して頑強な壁壕を構築してゐるがこれは外人の監督下に行はれてゐるといはれてゐる、飛行機三臺を購入し高射砲六門を香港に註文した、又一萬枚の麻袋をも買入れ李揚敬は近く廣東に赴き對日戰備の打合せを行ふ筈

國際勞働總會

【東京十九日發】目下ジユネーヴにて開會中の第十六回國際勞働總會日本政府代表より十九日内務省社會局に達した入電に依ると同會議は現下世界各國共通の惱みたる經濟不況打開策並に失業者救濟の根本策如何である

衆議院の慰問使

【東京十九日發】衆議院の滿洲、上海出征軍人、在滿軍人、邦人慰問使は二十二日午後九時四十五分東京發朝鮮經由滿洲に入り五月九日上海着、二十五日頃歸京の豫定顏觸れは政友内野辰次郎、飯村五郎、大野伴睦外七名、民政小山谷藏、菊池良一、栗原彥三郎、第一控室鈴木正吾の諸氏である

邦人上海復歸
四千三百五十名

【上海十九日發】事件終結五十七日目迄に當地に歸還した避難民は四千三百五十名で現在の居留民總數一萬七八千である

昨日の爲替市況

【大阪二十日發】本日の對外爲替はクロス二仙半安、米日六仙四分の一安に內地市場は軟調に寄り付き賣手の接近と共に一齊に縮合みとなつたが、午後半休に賣買双方共氣乘り薄く見送り勝にて對英九片、對米三十三弗と辛うじて關門を維持し中旬頁易入超の巨額な入れたが案外反響薄く却つて東京市場の三十三弗十六分の一乃至八分の一の賣手出現に入電待の市況で[illegible]る見頭の[illegible]

家庭

春へかけての家庭衛生（乙）

大自然に親しみ 心をおだやかに保て

滿鐵公醫 脇屋次郎氏談

★…私が精神神經科の看板を掲げてゐてもこの方面で相談に來られる方は殆ど稀ですが、實際には變質さかヒステリーさかいふ精神神經系の患者は到る所にあります、醫者には連れて來られないが私共が専門的に見てこれはあぶないと思ふやうな人もザラにあります、男の人はよく「うちの家内はヒステリーだから」とごく簡單に片附けてゐますがこれは餘程氣をつければなりません、婦人は月經中或は月經前後になるといちぢるしく精神狀態に異狀を來すのが常です、これなどもたゞヒステリーだと簡單に取扱ふのは間違ひです。

★…男が女の月經時の生理的變化をよく理解し同情すれば女も所謂ヒステリーを起さずにすむのですが現在日本の大方の男は女はいつも男の御機嫌をとつてくれるものだといふ舊い觀念で月經時の女にもこれをあてはめやうとする所から家庭の不和を招く場合が屢々あります、一方女自身も月經時に無暗に腹が立つたり感情が鋭くなつりする自分の異常を自覺してある程度まで自制することが大切です、夫のよき理解と妻の自制を缺くところにおそろしい夫婦生活の倦怠の根が巣喰ふのです、現代人に多い神經衰弱は不攝生な生活に原因する場合が多いやうです。

★…神經衰弱といひますが決して神經だけが衰弱するのでなく心身衰弱ともよぶべきものです、暴飲暴食は胃腸をそこね胃腸が弱れば氣分までわるくなります、夜ふかしから來る睡眠不足もまた神經衰弱のもとです、何時も明朗なすがすがしい頭腦をもつためには攝生と同時に平穩な生活が要ります、一日一日を平穩に暮せる事は何より幸福でそのためには毎日の仕事の豫定を拵へて豫定の仕事を豫定の時間内に片附け多少の時間の餘裕をつけておく事です。

★…さうしますさ何時臨時の仕事が突發してもあはてる事がなく始終仕事に追かけられるやうなあくせくした氣持でゐなくてもすみます、力めて大自然に親むことも心をおだやかに保つ上に大切で「戸外へ戸外へ」の標語はこの點でも大變よい標語です（をはり）

素人園藝家の 花壇を賑はす ダリアとカンナ 立派に咲かせるには

植込のシーズンが來ました

花の華麗なのと花期の永いのとで毎年素人園藝家の花壇を賑はしてゐるダリアと、あの見るからに威勢のいゝカンナの植込時がまゐりました、中央公園の一隅に毎年美しい花を咲かせてゐる平岡奥平治氏はその長い體驗からダリアとカンナの上手な仕立方を敎へて下さいました

＝ダリア＝は實生のもありますが球根から仕立てた方が好結果を見るやうです、店で買つたものも貯藏して置いたものもそろそろ發芽する時分ですが本植をする前に一度假植をして發芽の具合を試します、普通の肥料氣のない土に球根を並べて塊がかくれる程度に土をかけて毎日一回づゝ灌水すれば五月中旬には大概芽が出揃つて早いのは四五寸にも伸びますから豫定地へ本植えをいたします、

＝間隔を＝ 三尺乃至四尺の間を置いて直徑一尺二寸深さ一尺位の穴を掘りその穴へ一穴に對し油粕一合、藁灰又は木灰を移植鏝二杯、その上[illegible]いへば骨粉五勺、過燐酸石灰五勺、鷄糞土又は馬糞を乾して粉にしたものを一升を混ぜ合はせてこれを畠土に混ぜて拵へた肥料土を四寸敷くのです、その上に普通の畠土を一寸かぶせ、穴の中央にステッキ大の長さ五尺位の支柱を眞直に立て、この支柱にそへて發芽した芽を支柱から五分ほど離して塊を横植ゑにします、その上に畠土を二寸ほどかぶせて中の芽が成長する從つて土を少しづゝかけてやります、これは球根や芽に太陽光線のあたゝか味を充分受けさせてその成長を速かにするためです

＝素人は＝ 支柱をあさで立てますが、あさで立てますさ必ず根を切つたり塊を傷けたりしてダリアの成長を害しますから必ず最初に立てることを忘れてはなりません、灌水は芽が一尺にのびる迄は始終土に濕氣がある程度にし、一尺以上になりましたら上の土を少し掘つて見て中に濕氣がある程度にやれば十分で、あまり水をやりすぎますと根を枯らしたり葉ばかり茂つてよい花がつかなくなつたりします、かうして花が咲くやうになりましたら一週に一回位づゝ追肥をやります、追肥は油粕一升を一斗の水に溶いて腐熟さしたものを

＝最初は＝ 二十倍に薄めて一株に五勺位、段々大きくなるにつれて四杯五杯と増してやります、八月頃にもなつて花が澤山つきましたら十倍位に薄めた稍濃いものをやります、蕾が出る時には必ず一ケ所から三つづゝ出ますから小さいうちに眞ん中一つだけ殘して他はかぎとり、一ケ所からは一つしか咲かせてはいけません、枝は必ず對生に交互に四方に出ますから枝が五六本も出ましたら枝の向つてゐる方角に支柱から一尺二三寸のところにはじめの支柱より幾分長い

＝支柱を＝ 四本立てこれを上の方で眞ん中の支柱に全部一まとめにします、ひろがつた枝もそれぞれ支柱に結びつけて置きますとどんなに風が吹いても饒されたり枝が折れたりするうれひがありません、咲き終つてきたなくなりましたら片はしから枝のつけ根の上から鋏で切ります、これをそのまゝ放つて置きますと實を結ぶために養分がそちらにとられて後の花がわるくなります、カンナはダリアのやうに支柱や摘心もいらず肥料も少くてよいのですから大變樂です、はじめやはり假植をして芽が出ましたら適宜に根莖を切り分けて植こめばよいのです、他の手入はダリアと同樣にすれば見事な花や葉が見られます

＝肥料は＝ ダリアの半分位もやればよいのですが、同樣にやつたらなほ見事なものが出來ます

晴雨勝手次第 今年のパラソルの變り種

▼▼…去年は二重張全盛でしたが今年は更に三重張レースをあしらつた四重張などが現れた一方には、すつきりした一重ものがかなり見受けられます、骨數は十二本、十四本、十六本、それに細かい十八本ものもあります、これは勿論のこと、あまりあくどい色や、けば〱しい色をお避けにならなければいけません、何故つて、陽の光がパラソルをとほしてお顏へ映る影の色彩が折角のお化粧を臺なしに見せる場合がよくありますから、パラソルだけの色調よりも、おさしになつてからの效果を考へなければいけません。

▼▼…今年の新しい傾向としてはスタンドパラソルと稱する一呎位の短いものが文字通り野球見物用として東京で賣出されたり三段におりたゝめる晴雨兼用の傘が、ドイツから輸入された事などでせう、今まで骨と生地がパラパラになつて小さくおりたゝめるパラパラ・パラソルがありましたが、今度のは、そんな手數がなく、柄と先を引出しさへすれば、普通のものになります、そしてサックに入れると、ハンドバッグへ入るといふ便利さです、夜まで外出なさる時や天候のあぶない時にはもつてこいです

滿日婦人團茶話會 けふ午後一時から本社講堂で 奮つてご參集下さい

今廿一日午後一時から本社三階講堂に於て昨紙報にお知らせした通り滿日婦人團の總會を開き映畫を見、懇親の茶話會をいたすことにしました、團員諸姉は萬障お繰合せ御參集下さい

少年よみもの 父と子（三）

政本いさむ

それから又いつとはなしに月日が過ぎました。玉明は一度お父さんに會つた事が却て苦みの種でありました。それから晝となく夜となくお父さんを忘れる折とてはなかつたのです。お母さんも玉明にまさる思ひでありました。二人は何度もお父さんを訪れて行かうと思ひましたが、お父さんの言葉を思ひ出すと、さう無暗には會はれないやうな氣がして、つひそのまゝになりました。

×　×

ある日の夕方でありました。一人の病人が玉明のうちに擔ぎ込まれました。それはお父さんでありました。お父さんは長い間妻や子に會ひ度いために堪へ〱て、それでも佛道の修行によつて一時でもそれをまぎらさうとしてゐたのでありましたが、一度玉明の姿を見てからはもう毎日のお勤めさへおろそかになる程苦みました。何といふ因果な身の上だらう。すぐ目の前にゐながら親と子が會はれないといふことは。とう〱李明は病の床に就きました。病がだん〱重なるにつれて夢のやうに現のやうに玉明の名を呼びつゞけました。坊さん達は何か事情でもあるのだらう、早くあの玉明醫院に連れて行かう、と相談して四五人の坊んで、やつと玉明のうちへ擔ぎ込んだのでありました。然しお父さんはもう助からなかつたのです。嬉しい親子の對面が永久の別れでありました。二人は固くお父さんの手を握つたまゝ別れて行きました。李明のお墓はお祖父さんの李[illegible]のお墓のそばに埋めて、玉明母子は其後もとの李家のあつた場所に歸つてお父さんを弔ひました（終り）

滿日各地版

『昭和の鹽原多助』
愛馬の負傷を聞き戰傷の一等兵
母國から人參代を送る

【鞍山】目下通遼駐屯中の獨立守備隊第○隊羽山支隊長と第二中隊長、長岡大尉を陣中に泣かした部下一等兵と軍馬「武關」にからまる聞く人の涙を絞るエピソード……第二中隊一等兵渡邊幸太郎君は愛馬「武關」と共に四洮沿線に死なば諸共と愛馬の鬣を撫でながら鐵道警備の重任と匪賊の掃蕩に幾多の戰場に疾驅して居るうち不幸にも渡邊一等兵は

名譽の 戰傷を蒙り衞戍病院に收容される身となつた、愛馬と盡きぬ名殘を惜みて「武關」の鬣に頰ずりよせ何時までも泣いて居た傷つける渡邊一等兵のいたくしい姿は「昭和の鹽原多助」であつたと戰友は語つて居る、渡邊一等兵の傷は意外に重く內地に還送される事となり今では廣島衞戍病院十三號室にやがて現役免除と云ふ軍人にとつて何と悲しい宣告を受け第一線に在る戰友達をうらやましく淋しい日を送つて居る君の病床を慰むるものは愛馬「武關」の面影とわれに代つて兇暴匪賊を蹴散らす勇姿を描いた繪のみであつた、渡邊一等兵と別れて戰場に殘つた「武關」も人の誠が通じたか天晴れ軍馬の働きを盡すためこれまた主人渡邊一等兵を追ふて

賊彈の ために名譽の負傷を受けた、病床にあつて愛馬の重傷に接した渡邊一等兵はその奮戰を喜び且負傷を悲しみせめて好きな人參でも買つてやりたいと不自由な小遣ひのうちから若干を小替替にして去る四日附次の手紙を添へ金一封を長岡中隊長に送つたのであつた【原文のまゝ】

謹啓中隊長殿には其の後邦家の爲益々御奮闘の事と存じます突然乍ら先日友士よりの御便りにて承はりますれば小生の愛馬武關が此の度の馬賊討伐の際名譽の負傷を知つて誠に驚きました小生は病氣となり長く

滿洲の 病院にて養生致し其の上內地還送までなり自分は面目なく誠に殘念に堪へません、此の度小生の愛馬が名譽の負傷と聞き自分の身體りさなりました樣に思はれ誠に氣の毒に存じて居ります、小生も今の境遇では如何共爲し難く只內地の病院より武關の一日も早く全快の日を祈つて居ります、同封の小爲替は小生の心づくしにて少々乍ら愛馬武關の好きな

人參を 買つて上げて下され度存じます、先は折角御加療のほど御願ひ申上げます

四月四日 渡邊幸太郎
中隊長殿

てならぬ、この○隊で事變以來失つた部下は栗原少佐以下四十名で除隊となるものでは九名であつた

又營內に一除隊兵を訪へば語る事變の夜は眞に突然であつたので驚いた、スワといふので夢中となつて北大營戰に加つたのであるがそれから或は北滿に遼西に兵匪と戰つて來り今はなき戰友を滿洲に殘して生殘つた吾々のみ內地に歸還するのは殘念である、國に待つてゐる家人のことを思へば陣歿した戰友は誠に氣の毒でなつかしいこの地を離れても永久に滿洲事變のさきがけた記念として歸ることが出來る

偉勳は高し
奉天駐剳部隊の除隊兵
歸還の途へ

【奉天】昨秋滿洲事變勃發當初奉天城一番乘りの武勳を轟かして以來北は通遼、チチハル、ハルビン方正、西は双陽甸方面に轉戰し酷寒と戰つて奮闘した駐奉歩兵第○隊の滿期除隊兵は十九日を名殘として午後七時半發の臨時列車で久世大尉に引率され官民多數の見送りを受け萬歲聲裡に離奉大連經由歸還の途に就いたが除隊兵を送るに先立ち平田○隊長は左の如く語つた

何れも東北人の意氣を充分發揮して呉れて自分ながら喜ばしく思つてゐる除隊兵中にはまだ十分落着しない中に滿洲を去るに忍びないといふものも多數あるやうで又この事變で各地に轉戰奮闘しただけに滿洲にはかなり理解を持ち除隊後も滿洲に踏み留り仕事に從事するものもあるといふやうな譯で非常に心强く思つてゐる、昨秋九月十八日事變勃發してから滿洲各地に轉戰し奉天に歸つたのは昨年の十二月と一月の二回だけで殆ど第一線にあつて我同胞の保護に任じたそして奉天に歸つて來ても休養といふものは一日もなく直に奉天の警備につくといふ有樣で隨分多忙であつたしかし各部下とも身を忘れ働いて呉れたのには只管感謝してゐるが、これとも別れるのも何だか惜しい感がし

慘害を輕くした
勇士の活躍
軍用列車顚覆事件

【ハルビン】成高子に於けるわが軍用列車顚覆事件は今次の滿洲事變に於ける最も悲慘なる出來事の一つであるが事件發生と共に勇敢にして沈着なるわが兵士の働きは最も賞讚に値するもので之が爲め犧牲者を少くし重要武器をとり出し得たもので軍部では永くその功勞を記錄に殘してゐる、今特に殊勳者のみを摘記すれば左の通り

◇第○野戰自動車隊
輜重兵上等兵 前田獺一郎

外三氏は顚覆と共に氏も車中にて七輛目が顚覆したが氣をとり直し自分は車內に殘つて兵器、被服等を窓から外に投け出した、火焰は見る／＼內に延燒し同車內にまで火が移り危險この上もないが尙も車內に踏み止まり全部を投げ出し終つて今將に外に出やうとした刹那燒けた木材が落下し腰部を打ち重傷を負つたが之にも屈せず車外にはひ出し安全地帶に來て倒れた

◇同上輜重兵
一等兵 山田 甚一
同 富田 政一

兩氏は第三輛にゐたが顚覆するや先づ車外に飛び出し分隊長と共に機關車に到り蹈人機關手を促して消火用ホースを汽罐に接續し消火に努めんとしたがホースが短くて思ふやうにならず勇敢な兩氏は猛々たる火焰ひ餘の所に立つてホースを捧げ偶々ホースの口に近い個所が破れて熱湯がふき出し四方に飛んだので兩氏の苦痛は察するに餘りあつたが兩氏は之に屈せずやゝ鎭火するや直に他方面の消火に努めた、之がため自動車搭載の貨車は引火を免れた

◇同上輜重兵
一等兵 岡田 俊夫
同 田中 嘉雄

哈市事件に
關係か
綏芬の赤系有力者

【奉天】綏芬の赤系有力者中左記のものはハルビン事件に關係あるものゝ如く最近城內に逃走した東支鐵技師ケーメン、東支鐵中學校長リブルンイク、同敎授ボドロウイロフ外二名、車掌リローニンその他稅關員二名

建國運動會
撫順は延期
月末頃開催

【撫順】建國記念聯合大運動會は二十三日開催の豫定であつたが、主催者滿洲國側の希望により三四日間延期することゝなつた、當日の運動競技は日滿對抗の連鎖競爭を初め各校別四百米リレー、百

愛國朝鮮號
全鮮に挨拶飛行
二十二日奉天へ歸る

【安東】赤心の結晶愛國機朝鮮號(第一號)は十四日晴れの京城入をなし十七日京城飛行場汝矣島で盛大なる命名式を了し十八日京城發、忠州、鳥致院、大田、大邱等全鮮に亘る挨拶飛行を行ひ廿日再び京城に於て點檢の上廿一日京城發、平壤に赴き一泊の後翌廿二日午前八時同地發午前九時十五分頃新義州にその勇姿を現はし着陸後佐藤航空兵大佐より挨拶及び說明を爲し同十時半離陸し愈々滿蒙の曠野に活躍すべく奉天に向ふ筈である

滿洲問題調査
と國際聯盟側

【奉天】國際聯盟調査員の一行の談によれば委員は滿洲問題を直接日滿支の各個人より聽取し臨時隨所で徹底的に調査を行はんがため目下日本語及び支那語に通ずる外人を物色中であるさ

鞍山の聯合運動會
五月二日に

米突、マスゲーム等に限られてゐるが、その順序は午前十時日滿各十校同五千五百名の全生徒入場式に次いで國旗掲揚、兩會長開會の辭、旗の分配、全生徒大行進、それより永安校の四百米リレーを皮切りに各校別のリレー、日滿、滿鮮、日鮮の對抗連鎖競爭、コスゲーム、ダンス等約三十回にわたる運動競技が演ぜられ終つて一同日滿兩國旗を持つて集合兩會長閉會の辭、國旗降下、萬歲三唱を以つて午後三時散會の豫定

旗掲揚式を行ひ午前九時三十分より競技開始するが當日は日本人側二十名滿洲人側二十名及び縣知事村長十八ケ村長を招待し普通學校生徒六十名公學校生徒三百八十名小學校生徒一千八十名、中學校生徒三百八十名、合計一千九百名の生徒出場し左のプログラムにより競技されるが會長は鞍山地方事務所長小野寺清雄、副會長は農商聯合會長高知九氏にして顧問は吉人氏外十名である、役員は左の如し

庶務長宮地一元、鄕德福外七名賞品係宮地元次、設備係桑原政次、競技係三宅欣吾、審判中村博外七、出發係池田豐水外二名進行係土倉增平外三、競技準備係中學五年、救護係松島茂外二名、記錄係有松義雄外四名、時計係竹田克治外二名、遊行係三宅欣吾、原在設

△公學校 綱引 旗取 バスケツトボール 徒步競走 リレー
△普通學校 團體競技 其他五回
△小學校 マスゲーム 球拾ヒ 二人三脚 遊戲 體操 級別リレー スプーン
△中學校 團體競技 機械體操 百米 ラグビー スプリングボード
△滿洲側學校二十數回(未定)

○○方面へ
守備隊出動

【大石橋】當地獨步三大隊第○中隊以下本部共○○は○○○○○○○○○○を帶び十九日午前六時十分發臨時列車にて多數官市民及び小學生徒に見送られつゝ軍歌勇ましく出發した

滿洲國軍政部
陸海軍條例

【長春】滿洲國軍政部に於ては左の如き陸海軍條例を發布した

第一條 陸海軍は國內の治安維持及び警備の任に當らしむ
第二條 陸海軍は執政是れを統率す
第三條 執政は各警備司令官の擔任區域を定め且つ所要の軍隊を以て該區域の治安に當らしむ
第四條 執政は各艦隊司令官の擔任區域を定め所要の軍艦を以て該區域港の警備に當らしむ
第五條 艦隊司令官は海軍の將官を以て任じ執政是れを直轄す
第六條 陸軍司令官は大將中將を以て任じ執政是れを直轄す
第七條 警備司令官は須く擔任區域內に臨時に密偵を派して不逞の輩につき情勢を探り以て區域內の安全を期すべし
第八條 警備司令官は隣接の警備司令官より時に軍隊の派遣方を請願されたる場合これを派遣し若し危急を要する場合は自ら軍隊を引率して救援に行く可し但し軍政部總長の許可を受け尙ほ狀態を報告す
第九條 警備司令官は治安維持のため兵力を使用する時に限り該管轄內の地方縣警察隊の指揮を爲し得べし
第十條 艦隊司令官は臨時擔任區域港を巡邏し尙ほ該港の漁業船に對し保護を加ふべし而して密漁密輸入の取締方を監察警備すべし
第十一條 警備司令官及艦隊司令官は軍政用兵に關しては須く軍政部總長の裁可を受くべし

日朝來の惡天候は午後に入り益々激しく猛烈な颶風の中に快技を續けられたが七回表に於て大雨となり遂に白軍七、紅軍三でドローンとなつた、なほ午後五時から社員倶樂部で選手及び幹事その他有志のすき燒會があつた、當日の軍のメンバー次の通り

紅軍 瀨馬部條塚田井村富 僑有服上平牛安田橋 七六一三二五四八九
白軍 野田兄岡弟葉房邊野 百井 八山酒吉酒千安田上 六五一二七三四九八

大局に着眼して
密輸入を止めよ
奉天の協議會から歸つて
米澤安東領事語る

【安東】十六日午後一時から奉天軍司令部に於て開催の協議會に出席した米澤安東領事は十七日午後九時歸安したが左の如く語つた

密輸取締りに關して種々討議されたがこれは大局から見た取締りであつてコセ／＼した小さな取締りではない……

ることだ然し今日までは舊軍閥の爲め附屬地と云ふ小範圍內に押し込められ且つ種々な壓迫を加へられてゐた關係上與す事業も限られて振はなかつたが今後はそうした障壁は全然取り除かれたので自由に濶步が出來るのだから三千萬の滿洲人を相手とした邦人の發展がある譯である

徐文海
大いに活躍

【奉天】歸順義勇軍首領徐文海は最近鳳城縣薬馬集附近において振東配下の大刀會數百名を討伐し死傷十二名の損害を與へ之を撃退し小銃五十挺その他を鹵獲し之を我鳳城守備隊に提出した

蓋平縣の
海防計畫

【大石橋】蓋平縣では愈々解氷と共に海賊の跳梁する時季となるのでこれが被害を未然に防ぐ爲汽船を一隻購入し海上沿岸警備を乘組ましめ兵營海防の嚴重を期すると共に沿岸見張所と警務局は各々直通電話を架設し非常の際完璧を期す事となつた、尙關東州營口縣復縣と連絡協力のうへ之が連絡の必須性に鑑み近く開催する指導委員協議事項を具申すべく準備中である

營口に海賊
警備兵出動

【營口】十八日夜西砲臺附近海上に約百五十名の海賊數隻の船にて往來し船舶を襲はんとするとの風評があつたので漁業局の……

中野英治一行來奉

安東野球團の紅白試合

奉天の招魂祭
忠靈塔前で盛大に執行

安東へお花見列車を運轉
奉天驛で準備を急ぐ

阿片栽培を申出づ
生活に窮して

鞍山の競馬大會

鞍山附屬地の發達

今年は播種不能
豫定地手に入らぬ水田組合

營口河北間に聯絡船就航

新義州の天然痘
ますます蔓延

煙臺炭坑附近靜穩

鞍山製鐵所で熔鑛爐大修理

遼陽縣訓練所修了式

安東
御眞影拜賀式
視察團來安
刀劍鑑賞會

撫順
體育協會長
金融組合總會
巡査に見舞金
校長團の招宴

鞍山
日語夜學校を開設

沿線往來

炭礦華語試驗

旅順
旅順視察團

遼陽
課金審査會
衞戍病院祝賀
玉家の移轉

營口
河北に派出所
少女レビュー
神社遷座式
烈風の損害
給水栓を設け 井戶を閉鎖

婦人倶樂部

二大附錄つき　五月號

第一附錄　和食・洋食・支那食　家庭一品料理カード

萬人が美味い！と舌鼓打つ料理法―

▲魚介類の料理四十六種（應用料理百八十六種）
▲肉卵類の料理十八種（應用料理七十五種）
▲野菜類の料理五十二種（應用料理百三十七種）

―三錢から二十錢までで出來て榮養美味經濟三拍子完備！どなたにも手輕に出來て來客用によし家庭用によし！

第二附錄　家庭按摩術急所圖解

素人に出來る繪入寫眞入説明　姑に仕へる嫁女の寶典です

◇神經衰弱◇ヒステリイ◇神經痛◇ロイマチス◇つかれ◇頭痛◇耳鳴◇肩こり◇齒痛◇不眠症◇脚氣◇冷え性◇腰痛◇消化不良◇便祕◇身體の弱い人◇運動不足◇貧血症◇夜尿症◇めまひ◇咽喉カタル◇水腫◇ニキビ◇うちみ◇顔面筋痙れん等此外數種素人でも不思議に効果ある按摩法の急所發表

▲新婚の旦那樣ばかりの座談會
數名の新婚男子は語る…結婚第一に語つた事は何か、女の氣持をどう知つたか、奥樣への注文と感謝、其他蔵敷包まぬ打明け話面白くて有益！

▲中村福助氏と花柳壽美さん　訪問接客應對實演画報
障子やふすまの開け方から茶菓の作法お辭儀の仕方等一切實演！之を見れば忽ち立派な作法がわかる。婦人には特に値打ある畫報です

▲お子樣を良くする急所秘訣（十三名家）
神經過敏を直した秘訣、投げやりの癖を直した話、嘘を云はせぬ秘訣、子供が伸び〱育つコツ等育兒熱心の名家が體驗發表見逃せぬ名記事

髮からはき物迄　初夏の新流行画報
全巻目も覺める美しい色刷。着物から髮形、帶の新柄、装身具、洋裝の色々、パラソルや草履の新型等々、一面に行楽日常の御参考、買物の御参考になり又見るだけでも實によい氣分の畫報です。流行と同時に經濟的な新案物も取入れてあります

▲噂の婦人その後物語（佐藤千夜子さん・芥川ふみ子夫人・御子柴初子さん・濱口伯母さん―）
▲栗島すみ子さん實演の單衣の上手な着こなし方
▲毛の色澤をよくする家庭手入法
▲色黑の人も斯うすると早く垢拔ける（實驗發表）
▲貴女の月經にはこんな異狀はありませんか？（緒方博士・羽生博士）

▲良人の破倫に泣く婦人へ……米田和歌
▲嫁入準備學問二十ケ條
▲女中さんの心得二十ケ條
▲御飯蒸して出來る柏餅と粽作り方
▲煎茶番茶の美味しい入れ方
▲たやすく出來るレース手藝三種

母になる頃の心得帖
よい赤ちゃんを生んで下さい。様々な妊婦心得が繪ときでよくわかります、ぜヒ御覽下さい

▲女手で出來る小商賣座談會
◇ツエツペリン菓子店◇おでん屋◇喫茶店◇文房具店◇子供洋服店◇食料品店◇小間物店◇洋品店◇雜貨店◇玩具店
―現在上記の小商賣で親兄弟を養ひ、或は良人なきあとの子女を教養し、又は失業した良人への手助けとして立派に成功してゐる方々の實驗談で、場所の選び方、客足を繁くする方法、資本の額、宣傳法、客扱ひ品拔ひ、儲かるコツ等一讀非常な參考となる名記事

新考案男子用手藝七種
口細を喜ばせ或は愛する方へ心をこめた贈物が出來ます◇ポケット用櫛ケース◇ビーズ應用のカフス釦◇携帶用の洗面用具入◇簡單な縁形ネクタイ―◇輕やかなナイトキャップ―◇便利な椅子カバー―◇布製ポケット靴ブラシー等々手藝大家の新考案

▲人柄に合はせ化粧と着附（川崎弘子）
▲姿よく働きよい婦人仕事着
▲子供の喜ぶ軍服式上っぱり
▲お料理物しり帖
▲家庭料理の食膳手帖
▲讀切小說―實用手藝グラフ（田河水泡）
▲產前產後一切を病氣の手當法
▲子供の爲の母親醫學（竹内薫兵博士）
◎傳記「德富蘇峰先生」……澤田謙

父性愛小說　父と子　池田宣政
死をも怖れぬ父親の愛の純情には何人も泣かされる世界的名譯ある傑作の日本發表權を獲得せる

▲戀愛小說　良人ある人々　菊池寛
▲戀愛小說　悲しみの天使　中村武羅夫
▲戀愛小說　不滅の像　加藤武雄
▲諧謔小說　僕の結婚　澁川哲朗
▲時代小說　いざよひ砧　子母澤寛
▲傳奇小說　美しき獸人　福田正夫

新柄夏帶二千本の大懸賞
（ハガキ一本で誰方も出せます、詳細は五月號に御覽下さい）

定價五十錢　送料五錢◆全國書店にあり　東京本郷　大日本雄辯會講談社（振替東京三九二三〇）

蜂ブドー酒

血を增し肉を肥す
美味と滋養の此一杯

發賣元　近藤利兵衛商店

補血强壯增進劑　アルトーゼ

活力ある榮養素
アルトーゼは實に我醫學界待望の的たりし消化蛋白と有機鐵の結合體である故に胃腸を勞せず吸收同化せらるゝや消化液の分泌を昂めて食慾を增進し榮養を佳良にし精力を旺盛ならしむ亦有機鐵は容易に骨髓を刺戟して造血機能を亢進し、補血作用を營み虚弱體質を變じて强健なる體軀に改善する活力ある强壯劑である

適應症
貧血諸症の人
胃腸の弱い人
小兒虚弱の人
病中病後の衰弱

價
單味（半ケ月分一・二〇）（一ケ月分二・〇〇）
アルゼン（半ケ月分一・二〇）（一ケ月分二・〇〇）
キヨーナ（半ケ月分一・二〇）（一ケ月分二・〇〇）
グアヤコール（半ケ月分一・二〇）（一ケ月分二・〇〇）

活動の源泉（小冊子）
申込次第無料進呈

大阪道修町　株式會社　藤澤友吉商店

滿日案內

◎三行一回　金九拾錢
◎被雇傭　金六拾錢
◎五行一回　金壹圓五拾錢
◎十行一回　金參圓
◎十五行一回　金四圓五拾錢
◎二十行一回　金六圓
◎姓名在社は一回　金三拾錢增

廣告部電話は三六九五　四四九一　番です

雇人

寫眞 新天地を開拓せんと欲する青年技師二名招聘要履歷書奉山線打虎山　原寫眞館
見習 入用十四五歳迄市內要確實保證人但馬町六　木村時計店　電二二六三四
外交 に手腕のある方を募集します、詳細は面談の上　姓名在社
女中 入用十七八歳より三十五歳迄本人來談
女中 連鎖街電車通備後商會電四六一四
女中 急用十五六歳ヨリ二十八歳迄吉林食道樂淡月本人來談　但馬町五番地　多田洋行
外勤 招聘經驗有無不問年二五以上地方住居者可履歷書持參又郵送大連山縣通安田生命
弟子 入用和洋結髮　大山通二丁目三三　末廣美粧院
女子 二名入用　春日町四五番地　理髮美容院
女給 さん數名入用住込み希望本人來談あれ　三河町　日ノ出カフエー電二一二三四〇
和服 裁縫仕込見習募集本人來談十五、六歳より廿歳迄　磐城町二六　富田裁縫所

教授

園碁 會費月二圓初心者歡迎　清水三段指導　三河町　日本棋院大連支部電話八六七五
習字 速成教授　三河町　池內　電八六七五番
琴古 流　尺八指南　大連二葉町一五　奉天浪速町一六　名和榮次郎
ピア ノ聲樂教授　能登町十一　中川　電五〇四四
ミシ ン子供服學生服婦人服ミシン刺繡出張、自宅教授　但馬町六九能勢
邦文 タイピスト短期養成　大連大山通　小林又七支店
邦文 タイピスト養成午前・午後・夜間　山縣通日本タイプライター會社
タイ ピスト英文及邦文短期養成速成的英語教授並印書　近江町映樂館横電四三〇八英學會

貸家

住宅 向貸家楓町一八番地賞百廿圓御希望の方は山縣通二一五濱崎商店電五五一八
貸家 山城町二南向スチーム水便電話等設備完全　賃四十二圓　電六四七七
大勉 强二三階寢室事務室朝夕賄附一月廿三圓認室同上一室十八圓賄付數室有電三六九〇
貸家 信濃町三五番アパート六、四牛其他種々スチーム永便完備　電七〇八七
貸家 平和臺停留所前二、六、八湯殿、本床付、日當良　賃廿二圓　電三三八七番
貸家 二階建高級外賃十圓以上平家數戶　詳細は電話五八二一番郊外土地
貸家 八幡町四一八幡アパート各種水便瓦斯風呂スチーム設備　電五十三〇
南向 櫻花臺一五一番八、六、六賃二七圓　電二二四四三番電二一八八五
住宅 老虎灘電車終點北入約一丁日當良浴室水便溫水暖房付　電五〇〇九
貸家 文化臺七一洋八、七、二和八、八、六地下室物置三室溫水水便　電五二七六

貸間

貸間 滿鐵本社に近く閑靜なり六疊、八疊を會社員の方にお貸し致します薩摩町九五久保
貸室 室料四圓以上各種食料八圓以上應需電話六六五〇番　嶺前莊

讓店

讓店 場所能登町飲食店希望の分は電話二一四五三番へ問合乞
讓店 西廣場附近目拔の場所目下盛業中カフエー新國につき至急讓りたし電話四七四八
讓店 商品なし、希望者は至急來談を乞ふ　連鎖街銀座通　カンノ家具店迄
工場 設備完全な仕事最新式タイヤ修繕機器希望の方は春日町四五番地　中島電器研究所

賣買

賣土 地轉安電車停留所一丁場坪五〇、七五坪所用の方は電七七八〇へ

裝飾 提灯が參りました最新式櫻花飾入ボンボリ　電話七七一四番　膨脹堂
ミシ ン賣買格安品有ます　常盤橋河島ミシン店電六六八四
塵紙 懷中に家庭向德用の生漉改良の三山島紙發賣元　拓茂洋行紙店
白帆 高級お化粧紙は此印に限る
天帆 高級紙生漉お使紙は此印に限る
算盤 の御用は　拓茂洋行　電話五四三九番
古本 高價買入、御報參上　市內但馬町二〇　文光堂
債券 來月籤債券多數有り四千圓ひろひもの新聞月三錢　大連市西通三五番池大連案內社
商券 勸業債券賣買並に金融三越商品券五分引買入電通三三五電車通四階　大連案內社
刀劍 研白鞘鑑定賣買自家製止打粉油有　大連市磐城町五八南海堂研磨所

貸衣裳

貸衣 裳　日隆町　三浦屋　電話22645番
貸衣 裳　婚禮用葬儀用　日隆町　さかひや電五四三七番

不用品賣買

古着 其他御不用品は他店より特別高價買受けます　日隆町　エベスヤ電話二二五九五
古着 古道具高價買入御一報參上　日隆町　たじまや電六六〇一番

電話と金融

質貸 出し勉强します　電話二一六〇四番　西公園町越後町入紀ノ國屋質店
貸電 話　小川洋行　電六七三〇
金融 小口貸出西通三八、東京カフエー横入　大同社
金融 小切手割引郵便貯金通帳拂出殘高買入若狹町交番一つ西辻北入電六〇二三東陽商會
簡易 保險即時立替前借失効其他御相談に應ず二葉町六紀ノ國屋質店横　大洋社電三二三六一
金融 信用貸社員公官吏電話立替手輕に御相談に應じます　聖德街一丁目二一四　田中
電話 金融賣買は何と云つても確實だ名義變更せずとも貸出す　電話五五五七番
恩給 御安く最も永く立替致升　大連市淡路町三番地ノ五　永島　電二一六七八
金融 信用貸◎恩給西通り一七交番裏入り來記號　電七六九一番
恩給 電話債券賣買金融　西通三五電六六三大連案內社
電ワ 無斷で名義變更する不正商屋有り恩給電話の金融賣買は大連案內社に限る

醫院

日野 齒科醫院　信濃町市場正門前（木村屋隣）
鶴見 齒科醫院　西公園町六九　電話八二〇三番

治療

ホネ ツギ　若狹町二三三一（ミドリ溫泉下車）山田行正（電三七八九）
家傳 お灸家傳　ハリ灸專門療院　浪速町二〇一番電車停留所西

名藥

中風 腦溢血の妙藥順氣湯病前の一服は病後の百服に勝る　大連沙河口大正通　三共商會
淋病 讀合藥、特製大博士あり不思議に良効くお試しあれ　大連沙河口大正通八五　三共商會
クサ 及胎毒の特効藥有ます　大連劇場隣根本藥局電七八六二

印刷と寫眞

寫眞 大連寫眞館晝夜撮影男女支那服の準備有日本橋際　電話三五八四番
實印 の御用命は　吉野町一萬堂　電話七八五九番
邦文 タイプライター印書應需　大連市大山通り　小林又七支店

旅館

一圓 トマリ、ベットの設備あり大勉强は名古屋旅館　大連市吉野町六電六三一一

下宿

宿料 食事夜具共月廿七圓の割合百事吟撰水道在商勉强美濃町停車場前館電三六六

食料品

下宿 を求索人下宿八疊以上家族的御世話を望む　朝鮮銀行村山電八一〇〇番
下宿 徹底的值下大連一大勉强二食風呂付金二十…　山城町二　自修寮
下宿 閑靜淸潔住宅內改裝住心地良宿所格安懇相談西公園町二〇七　紅葉館電六三九七
低價 高等下宿食事モットーとして自二十圓至四十圓迄　丹後町四　光明館電五五一五
牛乳 バタークリーム　大連牛乳株式會社電四五三七番
牛乳 バタークリーム　滿洲牧場　電話六一三四番

諸營業

麻雀 設備、高尚、閑靜、理想的麻雀倶樂部　土佐町五四（公學堂北側）銀雀電二二六四九
古服 の修繕を始めました袖裏の取換ワイシャツ等致します　連鎖街丸金アパート高野キクエ
ピア ノ調律修繕致します　大連福音洋行電三八一二　調律師　大越勇喜
門札 瀨戶物へ彫り込み　三河町池內電話八六七五番

雜件

防彈 一具ピストル實彈試驗濟一具十五圓特約店募集　發賣元名古屋市南外堀町鈴木商行

教授

實生流謠曲 懇切に手ほどき致します　西通九三滿電クラブ前　五貫會

家畜

犬 デステムパー狂犬病豫防注射施行入院實費其他家畜類診療　石井家畜病院　近江町電停前電話二一〇四七番
犬 賣る番犬、警察犬、獵犬、愛玩犬、各種仔犬並に種付仲介　籾田畜犬商會　大連大江町四電話呼出八六七九番
犬 狂犬病。デステンパー。豫防注射。入院實費。　太田家畜病院　春日町（大タク前）電呼四七〇六番

家政婦

家政婦（通勤入込）派遣　料金最低廉御相談　西公園町二一一五　電二二四九〇　岡部紹介所
家政婦 家事一切病人附添即刻派遣　一日泊込一圓より　藥所炊事　西公園町五七　共濟寮　電三六六三番
家政婦附添婦派遣 派遣多忙會員募集中　大連市乃木町六角堂前　ミツワ附添婦會　電話三九九三番
通勤家政婦 一日一圓也　家事一切病人附添妊婦實費にて御預り致します　產婆　淺野靜子　安信會主　美濃町五七番地電話二一八六六

印刷と寫眞

謄寫版及美術印刷 不二　大連市榮町二番地榮町ビル二五（恵比須町停留所前）　大氣堂　電話四二二四九番

食料品

おいしくあま酒 値下一升卅錢　二十餘年の經驗と獨特の製法に依る美味と滋養に富む好飲料迅速配達致します　製造元　大連市二葉町一〇四　片岡糀店　電話三六六一番　沙河口販賣所　電話九七五五番

醫院

早川齒科醫院 大連市西通九三常盤橋附近　電話三九七一番　診療朝八時―夜八時迄

名藥

醫學士福原正義先生創製　強力治淋新藥　得利格諾賓　トリゴノピン Torigonobin
藥價　三十球壹圓五拾錢　六千球參圓
發賣元　日本橋藥局　大連市信濃町四四　電話八三六二　振替大連四四九七

惡性感冒流行　油斷大敵倒れぬ先きに　四ツ目印にんにく葡萄酒を
常に召せ萬病撃滅、健胃整腸、貧血、冷症、腺病質、神經痛、婦人病に効果偉大
發賣元　大連市山縣通　鈴木商會　電話五八四九番　著名藥店食料品店にあり

特價販賣　特製豆入大福餅　祝餅赤飯　明治軒　磐城町六七電話三四四九番

治療

家傳お灸 淋病、睾丸、關節、痔、ロイマチ婦人病、內膜、喇叭管、卵巢炎、胃腸、ゼンソク、神經痛、脚氣、健康は國家興隆の基本なり　大連市浪速町五丁目二百一番
家傳ハリ灸專門療院 信濃町通浪速町電車停留所
電氣・一般マッサージ 乳もみ、鍼灸、熱氣、光線療法●適應症●顔面神經痲痺、小兒痲痺、脚氣、中風症、關節炎、直腸神經痛、ロイマチス、胃腸病、乳はれ、乳ふそく　專賣特許◆東京理學療院◆創製
ラヂウム温灸器 販賣と治療　滿洲總販賣元　大連市西公園町百五十三番地　玉橋保健治療院　電話三四四四番　振替大連三三二二

雜件

易斷 通信　御心配事？　通信易斷料一件金一圓也　申込用件及生年月日明記の事　旅順市大津町二九白雲室易斷所

電氣器具 舶來オスラム瓦斯入球　米國エバレデー電球　電熱器及スタンド類　浪速町　山形洋行　電三〇一五・八六八八番

建築並小修繕 請負　御一報次第參上致します　改工舍　大連市壹岐町三丁目六九　電話呼出二二五一三番

蓄音器の修繕は專門のヤナギヤへ 電話七九〇三番に

吉川式 洋食竈ストーブ　冷藏庫鐵板製　風呂釜巡罐式　銅鐵、鐵力、鑄物細工　御注文に應ず　大連市信濃町一二四　製造販賣　吉川商店

質 寫眞機＝レンズ＝　小型活動寫眞機　交流ラヂオ　ミシン機蓄音機　絕對的多額貸出速金買入も致升　一般質物何でも特別勉强　大山通宅の店裏小路　マスヤ　萬壽屋質店　電話八四九八番

吉光金庫 御一報次第現品供覽　大連市伊勢町　佐井田洋行　電話四五五二番

婦女界 五月号 未亡人相談号

大每東日特派記者 茅野未亡人の手記

血染の鐵筆――と映畫に演劇に謳はれた茅野榮氏未亡人の血涙記！

無慘にも匪賊に虐殺された夫の遺骸を訪ねて、夫人ははるばる滿洲の曠野に行き、變り果てた夫の屍を抱きしめ、震ふ手で心盡しの死出の晴着を着せられました。悲しみの涙未だ乾かぬ夫人が、特に本誌に送られた五十枚廿一頁の手記です。

（結婚式當日の茅野氏夫妻）

こんな場合未亡人はどうするか

未亡人必讀 迷ひと惱みを一切解決

1 未亡人に戀心の起つた場合（千葉龜雄）
2 子供と感情に罅の入つた場合（千葉龜雄）
3 負債のある未亡人の場合（金原省吾）
4 遺産のある場合（豐原清作）
5 職業的經驗のある場合（大妻コタカ）
6 未亡人に遺産のない場合（大妻コタカ）
7 扶助料のある場合（水嶋爾保布）
8 寄寓か獨立かに迷ふ場合（町田とみ子）
9 子供のない若い未亡人の場合（太田菊子）
▼利用次第で便利な託兒所案内記

不意に夫を失つた實話

（會社員の妻、船員の妻、鐵道員の妻等の書いた悲しき手記五篇發表）

子持未亡人に出來る職業八種

（菓子屋、玩具店、書籍店、煙草店、文房具店、派出婦、外交員、保險勸誘員等）

職業に成功した未亡人訪問

（夫の死後、職業や内職で成功し立派に一家を支へる三未亡人の家庭訪問）

愈々連載 新長篇小說
青い仕事着
細田民樹

生活線ABCや愛人以上に面白い作者自慢の新長篇小說!! 生きるために、職業線戰に飛び出した並子、道樂半分に働く資本家の娘上枝。すでに最初から、問題を投げつけた名作。青い仕事着を着たデパートガールの秘めたる哀愁と、生きる悲哀をしみじみ作者獨特の麗筆で描いた近來の力作。

愈々佳境に入つた名小說!!
新女人粧（菊池寛）
處女刑（群司次郎正）
太陽の娘（三上於菟吉）
愛は何所まで（寺尾幸夫）

新女人粧の配役を大懸賞付で募集
短篇小說募集――一等三百圓（詳細は本誌に發表）

叛かれし者の手記

父に叛かれ子に叛かれ、戀人や夫に叛かれ痛手に泣く手記五篇！

鬪病十年若き人妻の肺病征服記（川島安代）
赤ちやんを丈夫に育てる秘訣七ヶ條（原朝一）
異國の空で母となりて（藤原あき）（久しぶりの異國通信、福な二人の近況！）
時の問題を聞く座談會（外務省上層部の方から伺つた滿洲事變の有益な話を本號で）

初夏の美容秘訣

1 顏や頸足を美しくする美顏法
2 スマートな和服向の化粧法
3 アイシヤドーの巧みな使ひ方
4 美しい手・足の持主になるには
5 洋裝には個性美を發揮して
6 髮の手入れと洗髮の仕方
7 和服の上手な着付け方秘訣
8 姿をよく見せる洋裝着付秘訣

東京大阪 百貨店美容室（評判の記）
初夏の流行界便り（瑠璃子）
初夏の手藝十五種發表
季節の料理廿四種發表

別封附錄 家族全員重寶型紙八種

キツト一家中が重寶なさいます!!

婦女界の型紙は贅澤に片面だけ印刷してあるので、線の通りに裁ち布の上におけば、どんな素人にも自由自在に縫へます。殊に今度の家族全員重寶型紙は、素晴しく着心地のよい男女兒用下着三種、女學生用サロンエプロン三種、それから男子用和洋兼用の下着です。この男物の和洋兼用の下着の着心地よさはまた格別です。以上は何れも市價の半値以下で出來ます、是非、お試し下さい。

定價五十錢（送料四錢）半年稅共三圓 一年稅共六圓 東京丸ビル・三階 振替東京一二九二七 婦女界社

一致

味の素（登錄商標）

使つては經費と時間の節約
食しては美味く健康の增進
是非を論ずる時代既に去る・
家毎に洩なき御愛用を祈る・

宮內省御用達 味の素本舖 鈴木商店

奇ッ怪な新事實取調べにつれ續出
わが軍用列車妨害事件の嫌疑者 王長春探偵局長

【ハルピン特電二十日發】わが軍用列車妨害事件に關する嫌疑者として引致された路警署探偵局長王長春は引續き取調べを受けてゐるが同人の行動については續々奇怪な新事實が發覺取調べの進むにつれて意外な進展を見ぬとも限らぬ去る十六日東支東部線よりの列車中においてトランクに手擲彈百三十一個を詰めて密送した東支印刷所勤務員ザナコフを當時路警署員が拘引したところ王は當方にて取調べると稱して一旦同人を引取りそのまゝ逃がした件、わが列車妨害の嫌疑者として引致した某ロシヤ人をこれまた取調べると稱して逃亡させた件、官職を利用して盛に收賄し且某方面から買收され巨萬の富を藏してゐたなど札つきの强か者である

士氣彌よ高し凱旋の多門〇團
長春通過、遼陽へ向ふ

多門〇團司令部及び第〇隊主力は二十日午後三時着臨時列車でハルピンより長春市内各學校生徒その他萬歳裡に意氣揚々と晴れの凱旋をなして來た、多門中將は希像と共に驛の貴賓室で白井鐵道事務所長、橋岡地方事務所長、濱淵郵便局長、田中民會長その他の挨拶を受けてのち滿洲屋旅館に入つたが八ケ月餘に亘る各方面の轉戰にも拘らず些の疲勞の色をも見せず頗る元氣である、因に〇團司令部は二十日十時發の列車にて又〇隊主力は十二時二十分發列車にて原隊地遼陽に向け出發した【長春電話】

廿日凱旋の多門〇團の精鋭
一昨夜大連で最後の夢

事變突發以來各地に轉戰武勳輝く多門〇團の中堅部隊の歸還兵約八百名は十九日午後一時半大連驛着列車で到着愈々二十日午後二時埠頭解纜の御用船あいだ丸にて懷しの故郷仙臺の原隊へ歸還する事となつたが何れも色褪せし軍服に朧ろ黄塵と辛苦に陽やけした雄々しい姿は市民の感謝の的である一行は大連着と共に市中を巡り忠靈塔に最後の別れを告げ午後四時關東倉庫に入り滿洲最後の夢を結んだ、同歸還兵輸送指揮官小原大尉は語る

今度の歸還兵は〇師團最初の歸還で何れも師團の中堅となつて働いた忠勇の士です、事變發生以來直ちに司令部と共に行を共にし東奔西走邦家のため寧日なく奮鬪に奮鬪を重ね常に皇軍の威力を發揮したもので嫩江の戰鬪ハルビン、チチハルの攻擊近くは方正、農安の戰鬪に各主力部隊と共に奮戰した古强者揃ひです、何れも各地の戰鬪に從軍してゐる際速かに歸還を命ぜられたので戰場に殘る戰友と別れを惜しんでゐましたがまた久方振りに歸へる故郷も懷かしいでせう

滿洲國の建國運動
上級班先づ大連に向ふ

滿洲國施政局で計畫の第二回建國宣傳運動と協調し民間においても民族融和、樂土建設をスローガンに大々的に宣傳を開始することゝなり奉天においては高子明氏が中心となり民間委員二十餘名をあげ元交通委員會跡に事務所を置き半月前より宣傳員訓練中であつたが二十日迄に訓練を終つたのでこれを上、中、下の三班に分ち上級委員は智識階級を、中級委員は男女中等學校生徒を、下級委員は無學農民の勞働者等を相手に二十一日より宣傳を開始する筈で上、中二班は演說、講演、下級は大同藝人覗き眼鏡、講談等にて民衆に王道善政の建國精神を鼓吹徹底せしむべく上級班は先づ大連より宣傳を始める筈で二十日夜奉天發大連に向つた【奉天電話】

馬郡青年正使節
目的を達し一昨夜來連

舊軍閥を完全に排除し崇高なる更生への目的を達せんとする溌剌たる滿洲國の躍進に滿腔の敬意を表する東京各大學々生校友有志聯合會滿洲國建國祝賀青年使節の一行十名(學生代表五名校友代表五名)は正使節早大出身馬郡健次郎氏とともに過般朝鮮經由で鐵路滿洲に入り去る十六日長春着翌十七日執政府に於て溥儀執政に面會建國の祝詞を述べ記念品として正宗名刀一口を贈呈して後滿洲國要人にも夫々挨拶をなし渡滿の目的を達したが同學生一行は十九日午後五時來連引續き正使節馬郡健次郎氏も同八時大連着の列車で到着ヤマトホテルに入つたが正使節馬郡氏を車中に訪問すれば「建國祝賀使節」の胸飾りも輝かしく左の如く語つた

吾々は青年學徒の純眞なる誠意を以て滿洲國建國の祝意を表するため來滿したが溥儀執政は實に聰明で吾々が祝詞を述べ日本刀を贈ると直ちに約半時間に亘り答辭と歡迎のお言葉を聞いたが殊に日本青年諸君の御聲援に感激してゐる、益々將來を期して友邦青年諸氏に悦つこと多し宜しく御傳へを乞ふと日本青年の援助を熱望された、終つて別室で記念撮影をしたが執政はどうしても椅子にかけ樣とせず一緒に起つて撮られる等吾等の感激した處であつた

我々が滿洲國の觀察は將來を期して世界民族の理想鄕が現出する事を信ずるが今徒らに內地からの移民は些か早計で新國家としても迷惑だらうと思つた

なほ同氏等一行は來る二十三日大連に於て日滿親善演說會を開き二十五日頃の定期船で大阪へ向ひ同地で報告演說會を行つた上東京へは五月初め歸京の豫定である(寫眞は馬郡正使節)

第八師團の後續部隊、北上
大連驛頭盛んな見送

滿蒙におけるわが生命線を双肩に擔つて十八日滿洲の第一歩を大連に印した東北の健兒第八師團後續部隊たる林〇團は、十九日午後六時發臨時列車にて奧地に向つて出發した、驛頭にはこの勇士を見送るべく手に手に日の丸の國旗をふりかざす市內各學校生徒及び官民多數がホームを埋め學生團の合唱する軍歌、滿洲行進曲や萬歲の聲は重き任務を負ふて首途に上るわが勇士の心をいやが上にも高潮せしめた

鐵道部隊の北上延期

二十八日大連に上陸する鐵道部隊その他の派遣部隊は同日午後六時八時半の二回に亘つて北上する豫定のところ二十一日に變更となつた

明糖事件新疑問發覺
流通總額は百五十萬圓

【東京十九日發】明治製糖事件に關し例の百六十萬圓といふ莫大の使途不明の金額に對し徹底的糾明を行つた結果先づ問題となつた十五萬三千圓の一口は株主總會で承認されて居るが更に他の數口に就て調べた結果不明の點多々あるので十八日正午川崎の精製糖工場の工場長佐々木淸吉を召喚嚴重訊問を行つた結果原糖輸送量、精製糖の積出量並に移出高の關係に就き多大の疑問發覺し午後七時半佐々木を檢束留置し深更迄取調を續行した

【東京十九日發】明治製糖の相馬社長有島專務に關する背任罪は今日迄の取調べで百五十餘萬圓が流用されてゐる事判明したので一兩日中に兩氏を檢事局に送局起訴處分の決定をなす事になつた同事件はこれにより背任事件より本格的な脫稅事件の取調べに入る事となつた

三好前代議士收容

【東京十九日發】前代議士三好榮次郎氏は十九日午後五時すぎ市ケ谷刑務所に收容された、右は明糖恐喝事件に就き動かぬ罪證が上つて居るためである

勞農商業機關滿洲を引揚げか
在庫品片端から處分

北滿在住の勞農商業機關が東支從業員その他赤露人の本國引揚げと共に五月中旬までストック全部を整理して閉鎖し全部引揚げに決したとのハルピン特電が赤色テロの策動などと關連し時節柄世人の注意をひいて居る折から在奉天ソウエート商代表は十八日木材のストック六百車を營口において一時に處分したとの情報あり、これが信ぜられるものとすれば北滿在住の赤露人に呼應し西滿在住の赤露人もいよ〳〵近く本國へ引揚げを開始する準備とも想像され彼等の動靜は大いに注目されてゐる、尙在大連のソウエート商業機關も石油大量のストックを既に全部處分したと【奉天電話】

春・はる・カメラの春
春に生きる乙女の脚・瞳よ

◇……やわらかい春の陽を浴び、ドライバー持つて新綠さざすスロープに立てば足下の大地は春を大きく呼吸

◇……希望にもえてファースト、コースに立つ、すーッと延びたスロープの彼方にはナンバー・ワンの標旗が

◇……スイング——輕く圓形を描いて大空に舞ひ上るボール、延びる!延びる!遙か彼方へ……希望を乘せた

ボールの行方は?……再び大きく呼吸した乙女の瞳は、じつと球の後を追つてゐる……春、春に生きる女性の姿ははち切れさうだ……

ゆるくはためいてゐる、力强く踏みしめた兩脚、思ひ切り延びた若さに生きる乙女は胸一ぱい大氣な吸ひ込んだ、用意ツ!

してかげらふはゆらゆらと燃え上る様だ、無心にひたすらめざめた心地よい朝だ……

ヌルミ選手を拒めば
オリムピックに芬蘭不出場

【ヘルシングフオルス十九日發】フインランド陸上競技聯盟主事は今日左の如く聲明した

國際陸上競技聯盟がヌルミ選手のアマチュア資格を認めず國際競技會出場を拒むならばフインランドは恐らく今回のオリンピック大會には參加しないであらう

東支退職者なほ騷ぐ
滿洲國に嘆願

【ハルピン特電二十日發】十八日東支本社を襲つて暴行を働いた東支退職社員は引續き毎日本社前に集まつて騷ぎ立てゐるがその數は益々增加し代表者は新京政府に嘆願することゝなり一方特區警察及び露警察署に了解運動をなしなほ一週間待つて解決せねば考へがあるといきまいてゐるが右退職社員の運動は漸次政治的白系運動の傾向を帶び來るので當局は注意して居るが彼等が政治的又は暴力的行動に出れば徹底的に取締ると

白系露人が反勞農宣傳

【ハルピン特電二十日發】二十日東支從業員一齊罷業が行はれるとの噂が傳はつたので、當地官憲は非常警戒をしたが何事もなく終つた、然し列車の運行は依然不圓滑である、管理局の如きも缺席者續出の有樣で事務は澁滞し社員は不安にかられてゐるが、この虛に乘じて白系露人は盛に反勞農宣傳を飛ばしルディ局長秘書が拘引されたとか赤系從業員何百名引致されたとか根も葉もなき宣傳に憂身をやつしてゐる

旅順聯隊の除隊兵
大連へ出發

昨秋の事變以來遠く北滿の野に轉戰武勳赫々たる功名を擔ふた步兵第〇〇聯隊除隊兵四百二十餘名は鈴木大尉に引率され十九日午後四時三十五分發列車にて出發、驛頭は官民山を築き國旗の波萬歲の聲天地を轟かす盛大さで、發車に先だち永山市長は市民を代表し感謝の辭を述べ鈴木輸送指揮官の答辭再び起る萬歲裡に出發した

熱誠なる旅順官民の萬歲に送られて名殘惜い旅順を立つた步兵第〇〇聯隊除隊兵は同六時十分大連驛に到着した、驛頭にはこれよりさき大連を出發奧地に向つた林〇團を見送つた大連市民がそのまゝ居殘り同列車着驛前から軍歌、凱旋の歌を合唱し萬歲の聲は驛頭を壓した、下車後ホームに整列し輸送指揮官鈴木大尉が一行を代表して感謝の辭を述べ再び起る萬歲の聲に送られて宿泊所たる關東倉庫に入つた

舞踏場の出現で營業方針の轉向
凋落を憂ふカフヱ界

さきに許可された四軒のダンスホール……に早くもダンサーの爭奪前哨戰が演ぜられ、時局柄打擊を受けてゐる上海方面から優秀なダンサーを引拔くべく二、三經營者間では競爭が始まつてゐる、ホール……は遲くとも本年中に蓋を開けやうと準備を急いでゐるので八、九月頃には續々大連に種々雜多なダンサーが現れるものと見られてゐる

べく嚴選主義をもつて臨み身元調査の結果いかゞはしい者は全部オミツトする方針であると語つてゐる

なほダンスホールの出現によつて打擊を豫想されてゐるのは市中のカフエーで、これを一轉機としてカフエー凋落の原因となるのではないかと考へられ營業者間では早くも方向轉換を企てステージ附カフエーを計畫するものが多數あり……

新滿洲國の視察に
小野遞信局監理課長來連

遞信省管理局監理課長小野猛氏が廿日入港はいかる丸で來連したが同氏は新滿洲國の視察を主として、命令航路たる大阪商船の北鮮に對する諸種の調査、大汽その他內地各汽船會社の滿洲航路の飛躍に對する考察等多忙な旅程であるが船中語る

約廿日

の豫定でハルピン邊まで行つてくる、何分當地は初めてなのだから出來るだけ廣く深く見聞して行くつもりだ、大阪商船の定期船の獨占航路に對する興論はさうか知らないが獨占航路は何處へ行つても惡いものだといはれてゐる、大阪商船では四月からうすりい丸、おめりか丸を……

電線と空氣銃

最近雨天となると電話の混線が……しく、市中一部區域では通話困難となる場合があるので電話局で故障個所を調べたところ、市山王町ところの電話線ケイブに空氣銃の穴があいてをり、ここから雨水が流れ込んで通話の妨害となつてゐる事實が判明した

右は空氣銃射ちが電線にとまつてゐる小鳥を射つ際過つてケイブを射貫いたためで電話局では十九日大連署に空氣銃の取締方を依賴して來た、よつて同署では電線に向けて發射するものは今後嚴重取締ることゝなり各派出所にこの旨を通達するところあつた

指揮刀を授與

新民縣第六區自衛團副團長芝之玉書は、この程匪賊の襲擊に際し奮戰大に努めこれを擊退し殊勳を樹てたかどにより新民縣公署より賞狀に添へ指揮刀一口を授與した【奉天電話】

辯士爭議解決

【東京十九日發】映畫從業員のゼネスト迄進展する形勢にあつた淺草活動館の說明者の爭議は十九日朝來某氏がSP側と爭議團との間に立つて調停の結果急轉解決する事となり十九日午後一時勞資代表の會見により取極めらるゝ筈である

補助金

も今までは十八萬圓位出してゐたが自然增額せねばならないだらう、この問題は商船の方から話があつたが緊縮豫算のため沙汰止みとなつてゐるが、いづれ實現するだらう、大汽の割込、そんな話は聞いたが實現はむづかしいだらう、どうも大汽が內地で船腹のダンピングをやるので內地船舶業者は恨んでゐる

岡本海務局長その他船舶關係者多數に出迎へられ上陸した

五月祭の初練習
けふ社會館

うららの五月、咲きみだれた百花さめざめる新綠の天地に春のよろこびを歌ひ舞ふ女のまつり恆例の五月祭は既報の通り來る五月廿二日午前十時から大連運動場に於て華々しく擧行されるが、その皮切りとして二十日午後零時から一般婦人の五月祭舞踊の第一回の練習が大連市社會館講堂に開始された會する者百五十餘名、吉井正子女史指導の下に一年ぶりに若やいだ氣分にかへつて一時間熱心にその講習を受けた、二十一日は正午から一時まで滿日講堂にて柳木龜二郎氏指揮にて一般婦人の舞踊講習がある筈【寫眞は社會館の初練習】

食客の惡事

市內山城町二番地自修寮西內市松方の食客谷村信夫(二三)は十六日午後六時ごろ西內の現金四十八圓と先拂下宿料三十圓を引出し姿を晦した竊盜犯人として大連署司法係で搜查中

本社見學

寺井謹治氏引率滿電新入社員十五名は二十日午後本社を訪問工場その他を見學した

安樂椅子

滿洲土木建築請負業者の集りである土建協會は以前は事毎に策謀が行はれ醜い紛糾したものだが、先ごろの總會は和氣藹々、會長が座をつづして知らぬうちに互選され理事の就任をお互譲りあふといふ風に至極圓滿振りを發揮した。

……◇……

事實最近の協會は久しい間懸案された土事時代から滿洲國の生誕と共に忽ち救はれて前途に洋々たる光明を認め得るやうになつたせいもあらうが一段と協會員の結束を固めてゐるのは結構なことだ、先日朝鮮の土建協會長が來連した際、大連のやうに人の和を得た立派な協會は全國に類を見ないといつてゐたのは頗ちお世辭ばかりでもなささうだつた。

……◇……

かくて營業者が滿洲建設の魁をして奧へ入込むのはこれから續々行はれやうが、既に牡丹江近では轉谷組の鮮人二人が匪賊のため命をおとし日本人も一名行方不明ださうな、時節柄文化建設のかげに犧牲でゆく尊い人たちではないか。

曙の鐘（262）

倉田潮　河野想多畫

凱旋（二）

よもぎは公判の日から、仕事に[illegible]がはいらなかつた。いろいろな方法を考へて、春木と晦太郎とを救ひ出さうと、毎晩床の中で思ひ悶えてゐた。時には天から落ちて來たやうに妙想が心に浮んで、その方法によれば忽ち二人の無罪が證明されると我知らず跳び起きることなぞもあつたが、冷靜に昨夜の思ひつきを取出して見ると、到底實行の出來ない空想であつたりした。

幕があく前にはまた毎日必ず平津の家を訪れて、探査の模様をきかなくては落ちついてゐられなかつた。が、平津はこの頃殆ど苦心が報いられないので、失望しきつてゐるやうだつた。

或る日午後の一時頃によもぎが平津の家から歸つて來ると、マリアが扮裝のまゝ走りよつて、

「今あけみさんが見物に來てゐるわ」

と驚きに眼を輝かした。

「あけみさん？何うしてなの」

「何う云ふ譯かよく解らないのよ。でも、仲居のお夏さんやお露さんと今棧敷に來てゐるわ」

「あいさつに行つたの」

「鳥渡行つて來たのよ」

マリアはあけみが今日小舍に來たことに別に不審も持つてゐないやうだつたが、よもぎにはそれが痛々しい皮肉に思はれるのだつた。勝つた者が負けた者の家に來るのは、勝つたことを誇るより外には解釋出來なかつた。にがにがしく思ひながらも、職業意識から彼女も手すきの折りを見はからつてあけみの棧敷に顏を出すことにした。

あけみは孔雀のやうに美しく着飾つて、うづらのはしに坐つてゐた。その側にはお夏が奥樣風の黑つぽい着附けで薄笑ひを浮べながら舞臺を眺めてゐる。よもぎは話には聞いたがまだ逢つたことのないお夏を、あけみと比較してみた。誰の眼にも二人は母と娘より外には映らないだらうと思はれるほど、お夏の年増姿は立派だつた。二人に比べるとお露は柄も顏も劣つて、全く仲居としか見えなかつた。

「よくいらつしやいましたのね」

とよもぎはあけみと顏を合せると、[illegible]つて見せた。あけみも裁判のことは忘れたやうに、

「この人が」とお夏を指さして愛嬌のある笑ひ方をした「この人がマリアさんの顏を見たいと云ふものですから」

「もう御らんになつたのですか」

「ええ、見ましたの」とお夏が話を引きうけて「うまいわね。全く淺草のサンタ・マリアだわ」

「ほんとに」とあけみも言葉をそへて「おはこの坊主くさいお說教より何んなに增しだかしれないわ」

よもぎも調子を合せて、三人は一緒に笑つた。

それを機會によもぎは敵意をかくした會話を打ち切つて樂屋に戻らうとした。すると、あけみが呼びとめて、

「よもぎさん、たえ子さんがいよいよ壯三と結婚することになつたのよ」

「さう、何時ですの」

とよもぎは顏には出さないが、心の中では驚きあきれた。たえ子が春木をすてゝ壯三と結婚する――そんなことがあり得るだらうか。

「まだはつきり日はきめないのですわ。たゞ口約束だけしたのよ」

「さうですつてね」

とお夏が言葉をそへた。よもぎは驚きながらも、まだそれをそのまゝ信ずることが出來ないので、思ひ切つて疑ひの言葉を投げた。

「本當なの」

「嘘なんか云はないわよ。たえ子さんに訊いてごらんなさい」

とあけみはつひに露骨な敵意を言葉にあらはして答へた。

「何う云ふ譯だらう」

とよもぎは樂屋にかへりながら考へて、烈しい侮辱と共に、味方に裏切られた失望を感じた。

滿日俳壇

春の宵

島田青峰選

大連　高木　春蔭

點滅の廣告塔や春の宵
春宵や明るき街を行き戻り
春宵や頬紅濃き支那娼婦
春宵やネオンサインのなまめきて
あかあかと窓洩るゝ灯や春の宵
差ある娘一人や春の宵
春宵や風生ぬるく頬を撫づ
春宵や人だかりせる辻藝妓

大連　田中　九牛

灯の下に過る花種や春の宵
溫室や玻璃戸曇りて春の宵
佛壇の灯のかぼそさや春の宵
カナリヤの出し拔けに鳴き春の宵
春宵の溫泉宿色めき女客
春宵の霧立ちこめし汽笛かな

失名氏

春の宵黑々と月の山かたち
春宵の潮滿ち來し戎克かな
春の宵檣の音遠き汐路かな
他愛なく眠りし妻や宵の春

海城　島谷　鸚子

粧ひて灯火明き春の宵
春の宵小雨降り來て留守居かな
庭下駄をはけば月あり春の宵
琴の音に足はこびけり春の宵
春の宵セルの縞柄選びけり

大連　宇都宮　鳳翠

春の宵艫に笛吹く人のあり
春の宵笛吹いて舟下りけり
春の宵湯上りを吹かれ行く女
春宵や胡弓流るゝ戎克船

滿日俳壇　募集規定

次回課題「蝶」「蛙」「豆の花」▲句數無制限▲用紙半紙型のもの▲各題別紙に住所雅號を記入の事▲締切五月七日▲封筒に「滿日俳句」と明記▲投稿先、東京市牛込區若松町八二島田青峰宛

（建國祝賀）

春の宵町辻々の大[illegible]

大連　花崎　翠峰

屋臺船をつゝみて暮るゝ春の宵
川下にはひよる霧や春の宵
式臺に車寄せかり春の宵
高樓の電飾明く春の宵

東京府　小松　乙英

惱ましき淺草の灯や春の宵
野芝居に社頭賑ふ春の宵
春宵の溫泉靜かに溢れたり
町行けば笑ふ聲あり春の宵

大連　芳洲

春宵や机の花のほろと散る
食卓や皆頬ほてり春の宵
娘の唄に母も唄ふや春の宵

大連　一碧

伴奏の音もれ來るや春の宵
高殿の灯ほのかなり春の宵
支那街や店閉ざしたる春の暮

普蘭店　河本　寥夢

大川の水の流れや春の宵
春宵や舟ばた叩く水の音

周水子　古川　青蛾

谷川のせゝらぎ聞ゆ春の宵
郊外の鈴の音きこゆ春の宵

大連　北斗

春宵の灯の流れけり合歡大樹
春宵や潮ふくれくる星が浦

本溪湖　牛島　纖舟

春宵の障子に映る松の枝

大連　瀧藤　春海

公園の忠靈塔や春の宵

小倉　素子

新聞を拾ひ讀みすや春の宵

失名氏

春の宵[illegible]れし衣の袖だたみし

興安嶺　西　作句王

春の宵思ふ氣まゝに歩きけり

大連　岡藤　嵐雪

春の宵そこらも知らず月の下

けふの放送

大連　JQAK　四月二十一日

▲午前六時三十分　ラヂオ體操
▲午後六時十分　ニュース
▲滿洲工業講座「通信」日下部鉦一次郎
（以下内地中繼七時）
▲パイプオルガンと獨唱及合唱（東京市本郷區聖テモテ教會より）國産パイプオルガン完成披露會演奏場（一）オルガン獨奏イ、前奏曲と遁走曲、ヘンデル何曲、ロ、ベネデクタス、レーガー作曲（二）テナー獨唱、勝利のキリスト、ヨーン作曲（三）合唱、聖なる處女マリアの頌、ハリス作（四）アルト獨唱、主ありて憩へ、メンデルスゾーン作（五）オルガン獨奏、英雄詩フランク作、オルガン獨奏及伴奏木岡英三郎、テナー湯淺永年、アルト野田澄子、合唱聖公會神學院聖歌隊、オルガン伴奏赤間尚義
▲義太夫「廓文章」淨瑠璃豐竹巖司、三味線豐竹猿系
▲講演（奉天より）未定
（以下大連放送局より）
▲ラヂオ體操「初心者練習」柳本龜二郎
▲職業紹介事項
▲氣象通報
▲ニュース

滿洲日報

聯盟調査團海路班は今夜十時迄に大連着

けふ午後秦皇島を出發

確報によれば聯盟調査委員一行は二十日午後一時秦皇島より、一部は日本驅逐艦『刈萱』に一部は支那軍艦『海圻』に乘艦、刈萱は廿日午後六時に、海圻は同十時にそれぐ大連に入港し午後十時半大連發特別列車にて奉天に向け北行すると

陸路班に日支不參加

日本記者連同行を拒まる

【北平十九日發】本日午後十時廿五分發正陽門驛から張學良、張學銘、王以哲、萬福麟その他要人及び在北平外國外交團、日本記者連の同行を拒絶し……

調査團天津通過

滿鐵の接待役員

支那側隨員顔觸

關東廳の接待

事務開始

海路組着連

遲延事情

北平十九日午後十時廿五分發の調査團特別列車が天津を通過したのは廿日午前二時廿五分で非常な緩速力でありこの調子の速力を以てしては秦皇島に到着するのは早くとも廿日午前十時すぎになる、またその時刻に到着するとしても食事荷物の積卸等を加算すると出發は當然午後となる

もし一行の列車が山海關まで直行し同地で三班に別れるとすれば奉天から出迎への特別列車の到着時刻が廿日午後六時ごろになる豫定であるため海路班陸路班をホームに置き去りにして秦皇島に向ふとは想像されず出迎列車の到着を待つものとすれば依然海路組の出發は豫定より遲れることゝなる

米國公使南京へ赴き停戰會議續開を勸告

多分廿二日再開の運び

【上海二十日發】ジユネーヴの特別委員會の決議案に對し支那側ではなほ之に對し反對を表示する模樣であり、之がためランプソン公使等四國公使は會議續開の遲延を慮り協議の結果、ジヨンソン公使に對し南京に赴き、南京當局に勸說する事に決し、ジヨンソン公使は昨日非公式南京入りとなつた譯である、之がため二十日續開を豫想された本會議も尚一、二日の延期の已む無きに至つたと觀らる、而してジヨンソン公使は本日中歸滬するか否か不明である

【南京二十日發】米公使ジヨンソン氏は昨日午後當地着と同時に羅文幹を訪ひ停戰會議續開を勸告しランプソン公使より依囑されたと同樣勸告を取次いだが、羅文幹は之に答へ既に郭泰祺が上海に赴いたから近く續開されるものと思ふ、若し日本が國際聯盟の勧誡を遵守して撤兵の時期を明示さへすれば問題はない譯だ、之をランプソン公使にも申し傳へられたいと述べた

【南京十九日發】アメリカ公使ジヨンソン氏夫妻は飛行機で突如上海から當地に飛來し國民政府要人を訪問し停戰會議に關する南京政府の眞意を聽取し意見の交換をなした、同公使は明日か明後日上海に歸るが停戰會議再開は二十二日になるだらうと語つた

日本軍撤收時期混合委員會で決する

聯盟委員會決議案可決

【ジユネーヴ十九日發】十九國委員非公開會議は本日午後四時四十五分開會、本日の起草委員會で脫稿された決議案、即ち日本軍の撤兵時期は日支兩國代表を含む混合委員會にて多數決でこれを決する旨を滿場一致可決した

停戰問題決議案内容

コムミユニケ發表

【ジユネーヴ十九日發】非公開會議後委員會より左のコムミユニケが發表された

聯盟臨時總會によつて任命された特別委員會は起草委員によつて提出された決議案草案に同意しイーマンス委員長は右草案を紛爭國代表に通達するやう命令せられた、なほ右決議案草案は十九國委員會公開會議において檢討せらるべきものなり

一、特別委員會は日支停戰交渉は飽まで總會の決議に從つて行はるべく、常事國のいづれの一方もこれ等の決議と抵觸する條件を強ひるの權利を有せざることを考慮して停戰條項を審議することこれ等條項は總會決議の精神に則ることを思惟し、特に本委員會は日本政府が上海租界外に在る日本軍隊を事件發生前に占據した位置に撤退を實行することに同意せることを明記し、近き將來に撤退を行ふことを宣言す

一、三月四日總會決議は日本軍が完全に撤退を終つた時においてのみ初めて遵守せられたるものと認むることを宣言す

一、提案された協定は混合委員會の設定を條件とするもので混合委員會は日支兩國軍隊の相互撤退を確實にすると共に、日本軍から支那警察への撤退地域引渡に協力し、支那警察は日本軍撤退と共にこの地域の治安の責任を執るものなることを認める

一、混合委員會が適當と信ずる方法により協定案第一、二、三條の實行を監視すべしとの事實に對し滿足を以てこれを認める

一、協定案第一、二、三條の履行監督の委員會の權能は附帶條項四條に規定された權能に等しきこと、且つ該協定は本委員會が當事國一方の請求により日本軍の適當なる撤退時期を宣言し得ることゝ……

日本側の受諾は困難

長岡大使本國政府に請訓

【ジユネーヴ十九日發】長岡大使は總續委員會終了後、十九日午後六時半事務局でイーマンス議長から決議案を手交された、イーマンス議長は本案は未定稿なるを以て日支兩國側の意見により幾分の修正は差支なき旨を附言し、尚兩國の承認あれば大體二十一日頃公開會議で正式に決議案を採擇したしと希望した、日本側では意見を添へ直に政府へ請訓の手續を執つたが、決議文は日本としてはその儘受諾し難き事明白で就中日本軍撤收時期の認定方法を混合委員會の多數決を以て足れりとせるは、日本が時期尚早と認めてもなほ撤收を強要さるべき場合があり、その他隨所に完全撤收といふ字句を反覆使用し又現地交渉にて困難の生ぜる場合之を十九國委員會に持込む事を明記せるなど全體としてイーマンス案に押へられたとの印象が一般に深く外人間にも日本の硬化を憂慮する向が尠くない

委員會の決定は總て委員の全會一致の投票により決せらるべきこと

現地の混合委員會の決定は總て委員の全會一致の投票により決せらるべきことを希望し、蓋し若し全會一致を缺く場合には附帶條項四により議決の裁決投票權による多數決によつて有效となることゝ

一、兩國に停頓中の交渉再開を督促し且つ上海に特殊利害關係を有する列國政府に對し右目的のため引續き援助を與へられんことを懇請す

一、總會決議によつて規定された協定不成立の場合には事件は再び總會の問題となることを特に指摘す

一、上海に特殊の利害關係を有する列國に對してはそれ等列國の現地混合委員會代表から接受する情報を聯盟に移牒すべきことを懇請す

委員會の撤收時期決定には絕對反對

重光公使の强硬意見

【上海十九日發】重光公使、植田中將、田代、島田兩參謀長等は十九日午後三時から日本總領事館公使室に會合、再隊會議に臨む我方針につき協議したが、南京に歸つた郭泰祺は國民政府首腦部と打合せの上、二十日正午頃來滬の筈であるから會議は一兩日中再開、まづ軍事小委員會を開き停戰交渉本會議となる模樣であるから、我方としてはそれ迄に終了すべき十九國委員會の結果を待つて具體的方針を樹てるに決し午後五時半會見した、重光公使は語る

支那が日本及び中立國側に一言の相談もなく停戰交渉問題を聯盟に持出した事は不信極まる行爲で、停頓の責が支那側にある事を立證するものである、十九國委員會の決議が停戰會議に持出されるか否かは其時にならねば解らぬ、我方としては右決議がどうあらうと既定方針で主張を貫く事に決してゐる、我最終撤退期を混合委員會に委す事は絕對反對だ

イーマンス氏は之を「近き將來において」と訂正したものである、右の訂正は唯一の大なる變更でスチムソン氏のジユネーヴ着以來最初の具體的行動の結果である

平常狀態問題は承諾し難い

郭泰祺代表の意見

【上海二十日發】郭泰祺代表語る

停戰會議續開の斷は未だ決らない、國際聯盟の決議案の詳報が到着してからだ、會議は決して決裂した譯でないから開かうと思へば何時でも開ける、ジユネーヴの總續委員會で修正案が採擇されたやうだが未だ正式報告に接しないから批判は出來無い、若し傳へらるゝやうに決議案中に上海が平常狀態に回復したらとあるなら之は政治問題に亘るから我國としては絕對に承諾し難い、この點は旣に南京から顧代表に通じてある政府の方針は決定して居り極めて明白だ

米長官活動

決議案訂正の裏面

【ジユネーヴ十九日發】スチムソン、サイモン、イーマンス三巨頭は本日の起草委員會の前に午後一時事務局廊下で密に立話をして注目を惹いたが確聞するにこの會談な立話が決議案中に日本軍撤收に關する字句を強める結果となつたこと、即ち草案原文には日本軍撤收は出來るだけ速かになる字句ありしもスチムソン氏の意見により

小委員會けふ開催未定

【上海二十日發】停戰會議小委員會は本日午後三時から開催の豫定で英武官は支那側に頻りに斡旋してゐたが、今朝支那委員は本日浦東に保安委員會が開かれ出席の要があるから小委員會は明日にして呉れと申し込んで來た、英武官は支那側通知に憤慨し浦東の保安委員會と停戰小委員會と何れが貴國に重大なりやとその使者を叱りつけ本日の開催に努力してゐるが、

上海工部局抗日彈壓

【上海二十日發】日本……三千は同工場の操業開始たに拘らず日本軍の完全撤退……就業せずと頑張つてゐるは上海市長の名により突然職工組合本部を封……動に彈壓を加へた、こ局が今後執らうとする策を反映するものか否いが、その眞意並びに頗る注目さる

郭泰祺歸滬

【上海十九日發】郭泰祺は午後……かに上海に歸還したが、二十日中に重光公使に會見し交渉再開の提議をするか又はイギリス總領事館で四國代表重光公使と非公式會見をするものと見られてゐる現在のところ三時までに開かれるか否か未だ決定しない

長岡日本代表イ議長と會見

【ジユネーヴ十九日發】……は十九日午前十一時二十……ール氏と議長室において……十九國委員會に對する……た說明し諒解を求め、……ンス議長と會見し停戰……義と撤兵問題につき……

滿蒙の天地今後は益々多事

同胞に一層の緊張を望む

けふ赴任の大谷中將語る

今回陸軍步兵學校長に榮轉の旅順要塞司令官大谷一男中將は家族を纏め廿日出帆うすりい丸にて新任地へ向け出發、埠頭には旅大各方面知名士並に軍部方面より多數の見送りがあり滿鐵よりは内田總裁夫妻も船内まで見送つたが、大谷中將はサロンにおいて語る

自分は昨年の十月丁度事變の最中に來任した、その後約半歲だが、今や滿洲には黎明が訪づれ春陽と共に滿洲の天地は明くなつた、併し日本の生命線たらしむるには前途まだ〳〵多事多難ではないかと思ふ、本人の國民性は熱し易く冷め易いがこの機會に更に緊張すべきだ、一段落を見たとはいへこれからます〳〵多事多端と思ふ……

河南省南部の共產軍跳梁

被害民三百萬に上る

【漢口十九日發】最近河南省南部における共產軍賀龍部の總兵力約八千の跳梁甚だしく被害地の窮民は三百餘萬に上つてゐるがこれ等窮民は食を求めて平漢線沿線各地に掠奪暴動を起しつゝある

共產軍漳州を占領

【香港二十日發】漳州は十六日共產軍に占領され張貞軍は海澄に退却した

共產軍に備ふ

【廈門十九日發】近來頓に跳梁甚だしき共產軍に備ふべく福州からの一個大隊及び各地より召集せる各部隊は十九日廈門に到着したが目下廈門には英巡洋艦一隻米驅逐艦一隻日本驅逐艦三隻が碇泊中である、支那當局は外人に對し漳州に歸る事を當分延期されたいといふてゐる當地共產軍は實は採運仲の部下で給料不渡りのため騷ぎを起したものであるが孫は省政府に

滿鐵新社員配屬決定

滿鐵の本年度新規採用社員への配屬は人事課と各部局協議の結果左の如く決定し附社報にて發表した

市委員新任

大連市役所では常設委員中の恩田……

獨も滿洲國承認か

奉獨無電開始を申込む

八田副總裁

廿六日東京發

【東京二十日發】八田滿鐵副總裁は來る二十六日午前九時東京驛發列車で赴任の途につくこととなつた

八田滿鐵新副總裁は廿五日東京發廿七日神戶出帆うすりい丸にて來任の途に就くことに決定せる旨二十日本社に入電があつた

松山本社長微恙

松山本社長は去る十二日内地より歸連したが爾來中耳炎の氣味で引籠り中の處經過極めて良好でここ一週間後には全快出社する筈

人事

▲阿久津國造氏（北海道帝大敎授）廿日入港はいかる丸で大連に
▲河合榮治郞氏（旅順工大敎授）同上
▲山口喜久一郎氏（和歌山縣會議員）同上
▲山田紹之助氏（北海道帝大敎授）同上
▲近藤孝太郎氏（海外移住組合聯合會主事）同上

空翔る勇士と陸馳る鐵道隊來る
けふ瑞光丸から上陸

新たに選ばれて滿蒙の守りに就くべく滿洲駐箚を命ぜられた飛行隊鐵道隊の○○○名は御用船瑞光丸にて二十日早朝來連、直に甲埠頭九番バースに繋留、午前八時より上陸を開始したが、この日は絶好の春日和、二つのブリッヂから續々上陸する勇士は緊張しきつて頼もしい、篠原直夫中尉に引率された飛行隊は廣場右側に、左側には○○長内田壯一大佐の引率する鐵道隊の兵員がキチンと整列するこれに對し熱誠な出迎への市民の群はグン〳〵増え學生團の軍歌のコーラス大太鼓の響き盛んな歡迎ぶり、先づ小川市長はこの頼もしい勇士上陸に對し心から歡迎する旨を述べ邦家の爲一入盡されんと切望してこれに對し輸送の任に當つた内田大佐はハツキリした語調で多忙の折柄かゝる盛大な出迎を深謝する、幸ひ選ばれこの名譽ある滿洲駐箚を命ぜられたが粉骨碎身邦家のため努力をいたし我國の生命線の確保に努力するつもりで居るよろしく

と答辭を述べ終るや怒濤の如き萬歳のどよめき、さしもに廣い甲埠頭廣場を壓するの感がある、かくて上陸萬端終了と共に准士官以上は埠頭待合所内の貴賓室において市主催の冷酒にカチ栗、するめの接待を受け市有志と乾盃を交すなほ兩部隊は關東倉庫に一泊の上鐵道部隊は二十一日午後六時飛行部隊は同日午後八時半列車にてそれ〴〵任地に向け北上するさ

難きもの有るため滿洲國の討伐軍に於ても精兵を選つて之に當る事になつて居る

大刀會匪移動

【吉林特電十九日發】敦化東方約四邦里の孤山子、黄土腰子、大名と敦化南方黄泥家子を根據とする大刀會匪約百名は合流して吉敦沿線二道河南方一邦里の大青背に向ひ前進中であるが吉敦線を襲ふものゝ如くである

王德林軍討伐

【吉林特電十九日發】大荒溝を根據とする王德林の部下約四百横行して往來のもの、金品强奪を盛に敢行しつゝありとの情報に接した呉營長は二個連を率ゐて討伐のため出動の準備中である

扶餘縣城占領の李海青軍を討伐
滿洲國軍徒歩で進擊

扶餘縣城は遂に李海青一派の占領する處となつたので吉長警備司令部は農安駐屯の騎兵第一旅長劉王混に討伐命令を下し同軍の歩騎砲混成約三千は既に郊門より陶賴昭に軍用列車で到着それより徒歩で進軍中である【長春發】

戰車隊吉林へ

過般農安における李海青匪軍の討伐に際し多大の機能を發揮した關東軍戰車隊はその後長春において待機中であつたが、二十日午前八時發列車にて白武大尉ほか○○名は吉林に向け出發した【長春電話】

鐵道隊出身者が幟を立てゝ歡迎
曾つて滿鐵囑託將校だつた 内田大佐と佐藤少佐

廿日御用船瑞光丸にて上陸した鐵道部隊の隊長内田壯一大佐並に○隊長佐藤賀少佐は共に曾て滿鐵囑託將校として在任したこともあるので各方面とも朋友知己が多く上陸と共に「お目出度う」「御苦勞です」と感謝と感激の言葉を浴びせられてゐるが同時に滿鐵現業の人達の中には鐵道隊出身者多く從つてこの部隊を出迎への連中はのぼり迄立てゝ歡迎するところあつた

吉林省の兵匪近く大討伐
滿洲國軍一萬餘出動

吉林省西北方地區に蟠居せる十餘の匪賊團討伐のため唐玉衡剿匪司令の下に約一萬二千名の討伐軍を編成し近く徹底的に是を剿滅する事になつた

現在の情勢では五家站、扶餘、長春嶺に夫々二千五百、青山に三百、新站に七百、洮巴站に七百、大孤家子に三百、于家站に五百、集廠に五百、増盛永に四百、社里站に三百、南江口に百五十、西江口に二百、伯都訥に四百等約八千なり

なほ反吉林軍の敗殘兵にして魏兆江、王縁の率ゆる第八旅、李振生の第二十八旅、蓋谷祥の第二十一旅、王中秋の舊吉林軍訓練署所屬の各旅、鄭煥綵の獨立第二十二旅、張計發の獨立第十三旅、要長存の第二十四旅、鄒德の第一旅及び趙清黨の部隊之れと合流し勢力[illegible]

視察を終へて京大總長歸る

京都帝國大學總長新城新藏博士は陸路朝鮮經由來滿新滿洲國各方面を視察中であつたが二十日出帆うすりい丸にて歸國の途に就いた、離滿にのぞみ語る

朝鮮を廻つて七日に滿洲に入り奥はハルビン、チチハル迄廻り長春、奉天では新國家の首腦者とも面會し執政にも面接の機會を得て非常に効果的な旅行をした、元來京大は滿洲國の建設と共に各專門々々で教授連を入滿させ色々研究調査させてゐるが何等かの形になつて現はれる事と思ふ、まだ新國家も建設當初の事で色んな意味で研究し調査しなくてはならない事が多い樣に思つたが一つには在滿邦人の努力によつて隣邦滿洲國の健全なる發展に力を添へる事が必要だと考へる

博士はサロンで内田滿鐵總裁夫妻の見送りを受けたのち岸壁からあがる同校卒業生等のさかんな別離の聲を浴び甲板上から帽子を振りつゝ離滿した

旅大一流選手廿九名出場
フル・マラソン締切り

本社主催の本社前祭大旅間往復フル、マラソンは愈々廿四日午後一時より開始されるが、十九日申込みを締切つた結果、左記旅大一流選手二十九名の參加を見た前年に比し參加の減少を見たが、今回は特に來るべき世界オリンピック大會日本豫選會の滿洲豫選とも見做されて居るのでその實に於ては前年より優つて居り滿洲新記録が期待されて居る

(1)渡邊迅(滿鐵大連驛)(2)久保田清(國際運輸)(3)初鹿美吉(滿鐵埠頭)(4)德本永義(大連)(5)志水政市(遞信局)(6)近藤庄作(滿鐵埠頭)(7)金龍[illegible](大連二中)(8)市村要三(大連二中)(9)濱田常盛(滿鐵鐵道部)(10)大島井直人(關東廳)(11)中村茂作(關東廳)(12)三越賀美一(關東廳)(13)大塚久雄(遞信局)(14)中江一男(大連)(15)川村交雄(旅順一中)(16)福永健三(旅順一中)(17)米岡律(旅順一中)(18)内野眞一(旅順一中)(19)横佩敏勝(旅順一中)(20)東力正夫(旅順一中)(21)橋本壽一(旅順一中)(22)立石義輝(旅順一中)(23)關戸年男(大連)(24)加藤尚克(ヤマトホテル)(25)浮田京一(大連一中)(26)木村信次(大連商業)(27)泉潔(大連二中)(28)岡崎藤男(大連一中)(29)佐藤俊司(大連)

事變以來奮戰したわれらが凱旋勇士
第十六、二十九聯隊除隊兵來連

多門中將麾下の第二師團第十六聯隊(遼陽駐屯)第二十九聯隊(奉天駐屯)の滿期除隊兵約八百名の勇士は輸送指揮官市川壽三郎大尉引率の下に二十日午前十一時三十分大連驛前臨時列車で凱旋來連した、今次の事變突發以來最近の東支東部線の匪賊討伐まで轉戰實に七ケ月餘胡風咆ゆる北滿の曠野に銃をとり惡戰苦鬪したその勲しは日に燒け雪燒けのした面に雄々しくも輝いてゐる、列車が驛ホームに入るや出迎への市民數千は一齊に日の丸の小旗を打ち振り萬雷の如き萬歳の聲を浴せかけたが出迎へる者、迎へられる勇士共に感激の涙を流さずにはおられなかつた停車と同時に凱旋勇士はホームに整列、市川大尉の指揮で行進を開始關東倉庫に入つたが市川輸送指揮官は語る

事變突發當時十六、二十九兩聯隊は各々駐屯地たる遼陽、奉天にゐましたが直ちに戰鬪に參加して以來殆んど數へ切れぬ程の戰鬪に參加してゐます、この度滿期除隊の兵こそ眞に千軍萬馬往來の勇士であります、この間或る時は身を切る如き寒氣と戰ひ或ひは兇暴飽くなき匪賊と戰ひ、幾多の上官戰友を失つたのでありますが幸ひにして天皇陛下の御稜威と同胞の火の如き後援とを以て帝國陸軍の名を中外に發揚するを得まして今日皆樣の華々しいお出迎へを受けて凱旋するもの八百餘人であります熱誠あるお出迎へには何とも感謝にたへません、どうぞ貴紙を通じてよろしくお傳へ下さい

なほ本日到着の勇士は二十一日午後三時出帆の瑞光丸で母國へ歸還の豫定である

北海道大學から二教授來る

北海道帝大工學部長山田紹之助博士は同校教授阿久津國造博士と共に二十日入港はいかる丸で來連したが、兩博士は來滿について交々語る

工學部の方はまだ五回位しか卒業生を出してゐないので餘り澤山校友は居ないと思ふが、大抵のところに一人二人は居るからそれ等の者とも面會し更に今後學校の卒業生の發展について色々話し度いと思つてゐる、長春ハルビン邊まで行くが新國家の人達とも會つて研究の材料を提供して貰ふ

寢込を襲ひ偉い人の紹介狀
新社員採用試驗から 土肥滿鐵人事課長歸る

專門學校以上卒業新入社員採用試驗のため約一ケ月間上京中であつた滿鐵人事課長土肥顧氏は廿日入港ばいかる丸で歸連したが肥大漢容の氏も流石に永い試驗苦の氣疲れを多分に見せながら語る

いや着いた日から訪問客が寢込を襲ふものだから歸るまでには四度も宿屋を變つたが實際閉口した、それが皆偉い人の紹介狀を持つてゐるのだ、僕と大淵支社長は恐らく惡まれ者になつてゐるだらう、一體に今年の受驗者は氣が弱くて何とかして採用されたいといふことに一生懸命のやうだつた、然し皆非常に正直だし採用者は少なく共恥かしくないのを揃へた心算だ、そして僕は全部の採用方針を二つに別け半分は成績本位、半分は成績は第二段として身體と精神の好いのを採用して來たから採られて意外に思つてゐる者もあるやうだ、身體の好いのは現場に出すことになつてゐる、運動選手は鶴田をはじめ大體新聞に出た通りで他に相撲の大將や渡瀬といふ東北帝大出の五段などがゐる、滿鐵は身體の好いのを採るといふ噂があつたので運動の大將ばかりが集まつた、受驗者の滿洲知識は割合確だつた、歸ればまた中等學校の試驗だが自分が採用したものが成績が好いやうにとそればかりが氣懸りださにかく試驗官は皆んな忙しい一日を送つたので僕は櫻なども東京を發つ最後の日にやつと一日見ただけだつた

寫眞説明
(上右)けふ午前十一時半大連驛着列車で來連した凱旋の除隊兵(上左)瑞光丸で來連した篠原飛行隊長(下)鐵道隊出身者に迎へられて上陸した内田鐵道隊長

工業化學會の滿洲支部を設立
發會式には關係者を招待 栗原中央試驗所長の土産

滿鐵中央試驗所と内地各研究所、試驗所との研究の連絡その他の要務を帶びて内地に赴いてゐた栗原滿鐵中央試驗所長は家族同伴二十日入港はいかる丸で歸連したが語る

内地の研究所や試驗所で滿洲の資源を研究材料にしてゐるものが隨分あるのでそれ等と將來研究の連絡をはかるため各大學、大都市、鐵道省などの研究所、試驗所を實地視察打合せをして來ましたが、大體圓滿打合せを終りました、お土産としましては今度の工業化學會總會で滿洲支部を作ることに決定しましたことで私もその支部長に選ばれました、そして發會式は七月の二十三、四日ごろにやりますが同時に同會の地方講演會も開きその機會に先程の滿洲の資源を以て研究してゐる内地研究者に出來るだけ多く滿洲に來て戴き實地視察をしてもらふほか座談會を開いて滿洲の研究者との連絡をはからうと思つてゐます、幸ひ關係方面の了解は得て來ました、工業化學會員は約三千名内地の同工業方面に關係する實業家、學者を全部網羅してゐます硫安問題も仲々内地業者との協定が容易でないやうです、オイルシエールの擴張や石炭液化の工業化は海軍では希望してゐるやうですがまだ具體案は出來てゐません、然し勿論研究は相當好成績をあげてゐます、中央試驗所の無機化學科長の人選は大體決めて來ましたが未だ發表は出來ません

東支の罷業未然に防止
引續き嚴重に警戒

東支鐵道從業員の總罷業は日滿官憲の機敏なる活動で事前防止に努めた結果幸ひ事なきを得てゐるが何時爆發するやも計られ難き不穩の兆あるに鑑み引き續き嚴戒中である【長春發】

反吉林軍方正占領

【ハルビン特電十九日發】方正における吉林軍は反吉林軍との間に妥協成立してゐたが、十八日反吉林軍は俄に攻勢に出で方正は完全に占領された、反吉林軍の首領丁超は十九日朝在哈護路軍本部に左の如き人を喰つた電報を寄せた

方正の占領は我部下が命令を違つて行つたものであるから直に撤退する、速かに接收され度い

横道河子以東列車運行停止

確報によれば東支鐵道東部線横道河子以東は叛亂軍の跳梁で十八日夜より列車運行を停止してゐること

多門○團長、遼陽凱旋 けさ哈市出發

【ハルビン特電二十日發】ハルビン入城以來、賓安、方正方面に轉戰、幾多の武功を樹てた第○師團司令部は北路○團に引つぎを終り二十日朝五時多門○團長以下司令部員は在哈各部隊および在留民の萬歳に送られてハルビン驛を出發遼陽に歸還した

遼陽聯隊出發

遼陽駐箚歩兵第○○聯隊の滿期兵○○○名は十九日午後十時二十分發臨時列車で市川大尉に引率され歸還の途についたが驛頭には官民多數の見送りがあつた【遼陽電話】

太平洋横斷の練習耐空飛行

【東京十九日發】ワンストップによる太平洋横斷を計畫し目下霞ケ浦航空隊に於て猛練習中の本間清、馬場英一、石田義智の三氏は使用機第三日米號により十九日午後三時四分霞ケ浦飛行場を離陸し天候に異常なき限り二十日午後四時過ぎまで立川、羽田、下志津、霞ケ浦等の上空を旋回飛行し續け二十五時間以上の無給油耐空の本邦新記録を作ることとなり目下飛行中である

ショート葬儀 廿四日虹橋で

【上海十九日發】エリザベス夫人到着によりショートの葬儀は二十四日虹橋に於て擧行するに決定した、ロバート葬儀準備委員長の手により近來稀なる盛大な支那式葬儀が擧行される筈で當日は米支人操縱の飛行機が同飛行場上空から花環を投じボーイスカウトも參加の豫定である

沙河口も華娼を俳優に

貸座敷業及び抱娼妓名義を廢止し料理店、俳優と制度を變更した小崗子署四月一日より實施したと同樣沙河口署でも管内王家町方面の支那料理店廿四軒の抱酌婦を俳優に改むべく十九日それぞれ樓主に對し命令書を發したが現在同署管内料理店二十四軒には酌婦五十餘名であるが右實施されれば二百餘名に達する見込である

高橋元辯護士告訴さる

元關東州辯護士會辯護士市内若狹町百十九番地高橋滿市氏は沙河口西町田仲關男氏から詐欺横領の告訴を二十日大連署に提出された訴面によると高橋氏が辯護士開業中の昭和五年十一月十九日同氏に訴訟事件を依頼し印紙代、辯護手數料として百五十圓を渡した、然るに一度も訴訟の手續を取らず其後住所すら明さず逃げ廻つてゐるといふにある

總裁、昌光硝子工場を視察

内田滿鐵總裁は廿日午前十一時大谷中將、新城京大總長を埠頭に見送つた後、政子夫人同伴で沙河口の昌光硝子工場を視察した

遼陽驛前小火

十九日午後五時三十五分遼陽驛前滿鐵地方事務所の二階保線區事務室から出火、警察署、滿鐵消防隊、衛戍病院消防班、警防組などが馳けつけ消防につとめたる結果大事にいたらず六時五分鎭火した、原因は目下取調べ中【遼陽電話】

天氣豫報

西の風 晴れ一時曇

各地温度 二十日午前十一時

地名	温度
大連	一二、七
旅順	一三、九
營口	一三、二
奉天	一〇、七
長春	一〇、八

けふの小相場 金百圓は一七一圓丁度

武門血笑記 (121)

下村悅夫作　布施長春挿畫

陥穽（一）

白井作樂は、端然と机の前に座つて、夜の更けるのも知らぬげに書面を認めてゐた。

行燈の灯に照らされたその横顔は、何時になく蒼ざめて、きつと引寄せた眉のあたりにも、一文字に結んだ口許にも、何事か深い決意の樣子が見えてゐた。

柳原川岸で猿五郎からお梨花の話を聞いて以來、作樂の鬪志を憾ませてゐたのは、お梨花を助けねばならぬといふ氣持と、そのために萬一の事があつた場合を豫想して自分の公の使命を放擲しなければならぬ事に對しての深い苦みであつた。

作樂は十二の時から手をとつて自分を導いて呉れた師匠の恩を思ふと、どうしてもお梨花を見殺しにする氣持になれなかつた。福馬が居て呉れたら……が、その肝心の福馬の行衛は知れない。然もお梨花の命と貞操は、かうしてゐる間にも刻々に危險に瀕してゐる。

さうだ、自分の公の仕事には、それに代る多くの同志がある、が、お梨花を救ふのは今の場合自分獨りしかない。それに充分の用意をして行けば、必ずしも命を失ふと決つた事ではない。

作樂はかう決心を定めると、ある重要な使命を帶びて牛込の尾張屋敷に住込んでゐる照枝の許へ、自分の胸中を書面で書き送る事にした。

作樂が今認めたゐるのは、その手紙であつた。

それには委しい事情を書いた後で——

（……若し明朝迄に小生の消息が不明の節は、最早この世に無き者として、その旨同志諸君に御傳へ下され度く、亦他日前記陸野福馬なる者にお會ひの節は、この趣き御傳へ下さる樣、有勝手乍ら日頃の御親情に免じて御願申上候早々頓首）

と、結んでゐた。

作樂は手紙を書き終へると、我知らず眼頭が潤んで來るのを覺えた。

そこには照枝に對する何の戀の表現もなかつたが、作樂の心の底には、地の下に埋もれて春を待つ種子のやうに脈々として秘められてゐる深い愛が宿つてゐるのであつた。

作樂は店の若い者を呼んで、明朝それを照枝の許に屆けるやうに頼んで置くと、靜かに立ち上つて押入れの中から脇差しと、短銃を取り出した。

脇差は切味に於て當代隨一と云はれてゐる大和守安定一尺五寸、部屋の中で使ふには、その寸の詰つたのが、却つて重寶と、作樂の周到な用意。短銃は善右衛門から讓り受けた新式の連發。作樂は支度が調うと、脇差しを腰に、短銃を懷中深く潛ませて、庭先に入りて、何時も自由に出入りの出來るやうになつてゐる裏木戸を押し明けて外へ出た。

空は星影一つ見えない荒れ模樣、墨を流したやうな暗闇である。

眼指す左内坂の主殿の屋敷へ着くのは、眞夜半時と、作樂は心の中で決めて、川向ふで戻り駕籠でも拾はふと、屋敷町の並んだ横町の裏通りを、はやる心を押し沈めながら、兩國橋の方へ靜かな足どりで歩いて行つた。

……の契約がほゞ成立した行動を共にする俳優は高松錦之助他數名で助演者の大多數は新興キネマの後援を受ける事になつてゐると言ふ、即ち第一回作品は相手女優に新興より鈴本澄子の來援を得て吉川英治原作になる「神變麝香猫」を新興側の監督にて製作する事に内定した

サキ舞踊研究所童謡舞踊會

西部大連唯一の舞踊團體である田中佐々市氏のサキ舞踊研究所では創立一周年を記念する童謡舞踊會を來る廿四日（日曜日）午後一時より本社三階講堂に於て開催することになつた

噂話

檢番の幇間ゝ平が請元となつて久し振りで色物が遊樂館にかゝる▲東西落語音曲萬歳女道樂と並べ立てゝ春の笑ひと許り大切に座員一同のインデヤンダンスを持つて來て季節らしい寄席氣分を出してゐる▲また今夜から大連劇場も女歌舞伎の花柳春幸一座で蓋をあけるが▲映畫街はこの頃スッカリ意氣悄沈の態で、春の大掃除はやつて來るし▲競馬は近づくし頭痛の種が増える許りのところへ早く花が綻びそめた▲氣の早い連中今年の夏枯れが思ひやられるといへば、それだから早くトラストをデッチあげやうと掛合つてゐる

河合ダンス 檢番總見 廿六日晝間に

來る廿五日から常盤座に出演する大阪名物の河合ダンスは全く舞踊藝術に生きる本格的舞踊團として河合ダンスを知る人々の間には素晴らしい期待と人氣を以て迎へられつゝあるが、近來ダンス熱の盛な大連檢番でも來る廿六日の春季運動會を利用して同日晝間河合ダンスの特別公開を三業組合で總見することになつた

月形プロは新興と提携

噂で新興キネマに入社するとの噂のあつた月形龍之助は其後種々交渉の結果新興キネマ内に阪妻、寛壽郎等と同じ形式の月形龍之助プロダクションを設置し製作されたる作品は新興キネマにて配給すると

本社特選 新棋戰【其二】

先四段△志澤春吉　平手　四段▲建部和歌夫

【圖は三二金迄の局面】

▼建部氏「持駒」ナシ

△志澤氏「持駒」ナシ

△七六歩　▲三四歩
△二六歩　▲八四歩
△二五歩　▲八五歩
△七八金　▲三二金
△二四歩　▲同歩
△同飛　▲二三歩
△二六飛　▲六二銀

【土居八段講評】▲建部君は後手番と雖も飛車を他方面に移したり或は角道を留めて指したりしては手損でしかも守勢に偏するから諸の如く居飛車の方針の下に合法的の意味に指し、そして直に飛先の歩を交換しては飛車の態度を極めなくてはならずそれでは作戰上味がないから六二銀と上つて暫時敵の形勢を窺ふ意味に指したのは一策であらう。

【萩原六段解説】志澤氏の七六歩に對し建部氏三四歩と應じ以下七八金三二金は所謂相懸り模樣になつたのである最も八四歩で四四歩と角道を留めて二二飛と向飛車又は四二飛と四間飛車等色々の作戰もある又四四歩の處五四歩と突き敵が二五歩なら五五歩と位を張り又二五歩で五六歩と應ずると八八角成と交換して五七角と打込み力指さする趣向もあつてこの八四歩の處で後手は作戰を選ぶ所となるのである志澤氏の二六飛は先手の利を發揮せんとする常套手段である。建部氏の六二銀は此處で八六歩と指すのが普通であるが之れは同歩、同飛、八七歩と打たれたときに飛車を八二飛、八四飛又は三四歩と横歩取とか兎に角飛車の位置を定めその趣向が敵に明かになるので六二銀と頓狀を見たらしい。